

# 巻末資料

- 巻末資料 1 説明書・同意書・実験参加者のフェイスシート
- 巻末資料 2 記録用紙（実験 1）
- 巻末資料 3 記録用紙（実験 2）
- 巻末資料 4 走行コース（実験 1）
- 巻末資料 5 歩行コース（実験 2）
- 巻末資料 6 自動車運転者からの視認性等の検証（実験 1）の結果
- 巻末資料 7 歩行者からの視認性等の検証（実験 2）の結果
- 巻末資料 8 横断歩道標示の見え方の違い・  
走行する車両と横断歩道標示の位置関係
- 巻末資料 9 分かりやすい横断歩道標示の施工について
- 巻末資料 10 標示工事について
- 巻末資料 11 関連法令等



# 卷 末 資 料 1

説明書

同意書

実験参加者のフェイスシート

説明書(実験参加者に対する情報提供)

本調査の内容及び今回実施する実験について、以下のとおり説明します。  
実験への参加は、あなたの自由意志によります。参加に同意した後であっても、参加の中止を希望される場合は理由を問わず、その時点で中止いたします。この場合は、情報や解析結果などは廃棄され、それ以降は調査に使用しません。ただし、実験により得られたデータを統計処理して公表した後には、そのデータを削除できない場合があります。

1 本調査の目的と内容

本調査は、ドライバーとして道路を走行する場合、歩行者として道路を通行する場合のそれぞれの視点から道路標示等の視認性について聞き取り調査を行い、今後の道路の安全対策の参考とすることを目的としています。

2 実験の方法及び所要時間

まず、実験コースにおいて車両を運転していただき、ドライバーの視点からの道路標示等の視認性についての感想と意見を確認させていただきます。続いて、実験コースを歩行していただき、歩行者の視点からの道路標示等の視認性について感想と意見を確認させていただきます。見たまま、思ったまま正直にご回答ください。所要時間は2時間程度を予定しています。(後日の実験にも参加される方は、休憩を含め5時間程度を予定しています)。

3 実験参加者が被る可能性のある不利益の無無

調査結果については個人が特定されることがないよう統計的に処理しますので、実験に参加することによる不利益はないと考えています。なお、実験において負傷等された場合は、事前に加入している傷害保険で対応いたします。

4 調査結果の公表

調査結果は報告書として取りまとめ公表されます。また、交通安全の向上等の種々の取り組みに使用される可能性があります。ただし、個人が特定できるような情報や個人に関わる情報は一切公表しませんのでご安心ください。

5 調査終了後の実験データの処理

実験で収集したデータは、調査終了後に5年間保存した後に廃棄し、その間に報告書や論文等を発表した場合はその時点からさらに5年間保存した後に廃棄します。記入いただいた調査票等はシレッターで遮断処理します。

6 調査に関する連絡先及び調査責任者

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3番6号 紀尾井町パークビル2階  
自動車安全運転センター調査研究部 横関俊也  
電話 03-3264-8617

令和 5年 月 日

調査責任者 自動車安全運転センター調査研究部 横関 俊也

同意書

調査責任者  
自動車安全運転センター調査研究部 横関 俊也 殿

調査内容  
ドライバー及び歩行者の視点からの道路標示等の視認性に関する聞き取り調査

- 私は、上記の調査内容について、実験担当者から説明を受けました。
- 私は、説明を受けた事項について理解した上で、自らの意思で実験への参加に同意します。
- 加えて、私は自分の実験データが、調査責任者によって調査終了後5年間、または報告書や論文等を発表してから5年間保存され、報告書としての取りまとめ、交通安全の向上等の種々の取組みに使用されることに同意します。

令和 年 月 日

署名 \_\_\_\_\_

記

説明書の内容

1. 本調査の目的と内容
2. 実験の方法及び所要時間
3. 実験参加者が被る可能性のある不利益の有無
4. 調査結果の公表
5. 調査終了後の実験データの処理
6. 調査に関する連絡先及び調査責任者

実験参加者のフェイスシート

氏名	生年月日								
免許の条件等									
取得年月日	種類	二小原	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通
		他	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通
		二種	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通

● 普段の運転頻度

A. ほぼ毎日      B. 週に3～4回      C. 週に1～2回  
 D. 月に2～3回      E. 月に1回程度      F. それ以下

● 主な運転目的 (複数選択可)

A. 買い物に行くため      B. 家族・友人の送迎のため      C. レジャーのため  
 D. ドライブ (運転が主目的)      F. 仕事で運転が必要のため (通勤・通学以外)  
 G. その他 ( )

● 主に運転する車両のタイプ (複数選択可)

A. 軽自動車      B. セダン      C. ミニバン      D. SUV  
 F. 小型トラック      G. 中型トラック      H. 大型トラック  
 I. その他 ( )

● 過去1年間の走行距離

A. 100km 未満      B. 100km 以上500km 未満      C. 500km 以上1,000km 未満  
 D. 1,000km 以上1,500km 未満      F. 1,500km 以上2,000km 未満  
 G. 2,000km 以上2,500km 未満      H. 2,500km 以上

● 調査担当者記入欄

視力	身長	視点 (運転時)
	cm	cm



# 卷 末 資 料 2

記録用紙（実験1）

記録用紙：自動車ドライバーからの視認性等の検証(実験1)

参加者名	コース	1	天候	視点高さ	cm
区分	昼・夜(ハイビームで走行)	開始時刻	終了時刻	調査員	

●問1及び問2は、コース走行後ゴール地点で聞き取りを行ってください

問1 コース上の横断歩道の道路標示の認知について

通常とは白線設置間隔が異なる横断歩道があったことに気づきましたか？

1. 気づかなかった 2. 気づいた

問2 走行したコース上の道路標示等の認知について

●この設問は、以下の図を実験参加者に提示して聞き取りを行ってください

※問2の図を示したことで、問1の回答に変化が生じた場合でも、問1の回答結果は修正しないでください！

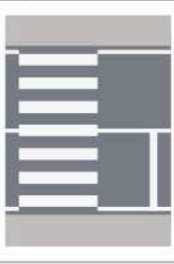
見た	見たような気がする	わからない	見ていない	見ていない	見ていない
1	2	3	4	5	5
一時停止					
見た	見たような気がする	わからない	見ていない	見ていない	見ていない
1	2	3	4	5	5
横断歩道又は自転車横断帯あり					
見た	見たような気がする	わからない	見ていない	見ていない	見ていない
1	2	3	4	5	5
横断歩道(白線設置間隔:45cm)					
見た	見たような気がする	わからない	見ていない	見ていない	見ていない
1	2	3	4	5	5
横断歩道(白線設置間隔:90cm)					
見た	見たような気がする	わからない	見ていない	見ていない	見ていない
1	2	3	4	5	5
横断歩道(白線設置間隔:135cm)					
見た	見たような気がする	わからない	見ていない	見ていない	見ていない
1	2	3	4	5	5
横断歩道の道路標識					
見た	見たような気がする	わからない	見ていない	見ていない	見ていない
1	2	3	4	5	5

●次ページの問1はタビタビの所定の位置に移動して聞き取りを行ってください

実験1-1

問3-1 横断歩道の道路標示等の視認性や感じ方

パターン1(白線設置間隔:45cm)



調査員備考欄

記録地点	50m 手前				
分かりやすさ	非常に分かりやすい	まあ分かりやすい	どちらともいえない	やや分かりにくい	非常に分かりにくい
感じ方	1	2	3	4	5
一目で横断歩道と分かる	まあ横断歩道と分かる	どちらともいえない	あまり横断歩道らしくない	全く横断歩道らしくない	
1	2	3	4	5	



記録地点	30m 手前				
分かりやすさ	非常に分かりやすい	まあ分かりやすい	どちらともいえない	やや分かりにくい	非常に分かりにくい
感じ方	1	2	3	4	5
一目で横断歩道と分かる	まあ横断歩道と分かる	どちらともいえない	あまり横断歩道らしくない	全く横断歩道らしくない	
1	2	3	4	5	

●1ページ目の問1・問2を補足し、該当する場合は以下についても聞き取りを行ってください

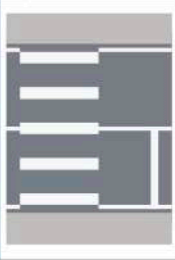
問1で白線間隔が異なる横断歩道があったことに「気づかなかった」、問2で白線設置間隔が45cmの横断歩道を「見ていない」「見えていないような気がする」との回答だった場合は、その理由を聞き取り

実験1-2



問3-2 横断歩道の道路標示等の視認性や感じ方

パターン3(白線設置間隔:90cm)



記録地点	50m 手前				
分かりやすさ	非常に分かりやすい	まあ分かりやすい	どちらともいえない	やや分かりにくい	非常に分かりにくい
感じ方	1	2	3	4	5
	一目で横断歩道と分かる	まあ横断歩道と分かる	どちらともいえない	あまり横断歩道らしくない	全く横断歩道らしくない
	1	2	3	4	5



30m 手前に移動

記録地点	30m 手前				
分かりやすさ	非常に分かりやすい	まあ分かりやすい	どちらともいえない	やや分かりにくい	非常に分かりにくい
感じ方	1	2	3	4	5
	一目で横断歩道と分かる	まあ横断歩道と分かる	どちらともいえない	あまり横断歩道らしくない	全く横断歩道らしくない
	1	2	3	4	5

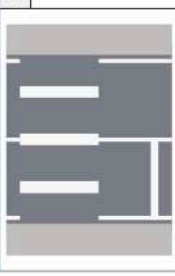
●1ページ目の問2を精読し、該当する場合は以下についても聞き取りを行ってください

問2で白線設置間隔が90cmの横断歩道を「見ている」、「見えていない」というような気がする」との回答だった場合は、その理由を聞き取り

実験1-3

問3-3 横断歩道の道路標示等の視認性や感じ方

パターン3(白線設置間隔:135cm)



記録地点	50m 手前				
分かりやすさ	非常に分かりやすい	まあ分かりやすい	どちらともいえない	やや分かりにくい	非常に分かりにくい
感じ方	1	2	3	4	5
	一目で横断歩道と分かる	まあ横断歩道と分かる	どちらともいえない	あまり横断歩道らしくない	全く横断歩道らしくない
	1	2	3	4	5



30m 手前に移動

記録地点	30m 手前				
分かりやすさ	非常に分かりやすい	まあ分かりやすい	どちらともいえない	やや分かりにくい	非常に分かりにくい
感じ方	1	2	3	4	5
	一目で横断歩道と分かる	まあ横断歩道と分かる	どちらともいえない	あまり横断歩道らしくない	全く横断歩道らしくない
	1	2	3	4	5

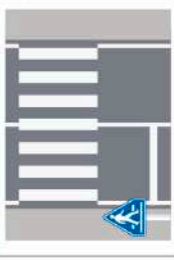
●1ページ目の問2を精読し、該当する場合は以下についても聞き取りを行ってください

問2で白線設置間隔が135cmの横断歩道を「見ている」、「見えていない」というような気がする」との回答だった場合は、その理由を聞き取り

実験1-4

問3-4 横断歩道の道路標示等の視認性や感じ方

パターン4(白線設置間隔:4.5cm+横断歩道の道路標識)



調査員備考欄

記録地点	50m 手前				
分かりやすさ	非常に分かりやすい	まあ分かりやすい	どちらともいえない	やや分かりにくい	非常に分かりにくい
感じ方	一目で横断歩道と分かる	まあ横断歩道と分かる	どちらともいえない	あまり横断歩道らしくない	全く横断歩道らしくない
	1	2	3	4	5

➡ 30m 手前に移動

記録地点	30m 手前				
分かりやすさ	非常に分かりやすい	まあ分かりやすい	どちらともいえない	やや分かりにくい	非常に分かりにくい
感じ方	一目で横断歩道と分かる	まあ横断歩道と分かる	どちらともいえない	あまり横断歩道らしくない	全く横断歩道らしくない
	1	2	3	4	5

●1ページ目の問2を精読し、該当する場合は以下についても聞き取りを行ってください

横断歩道の道路標識を「見えない」、「見えないような気がする」との回答だった場合は、その理由を聞き取り

●以降の質問は、コーナ地点に立つてから聞き取りを行ってください

実験1-5

問4 信号機のない横断歩道を通過するとき、横断歩道の存在をどのようにして認識していますか？

●この質問は、足を踏み上げて自由回答してもらった結果から判断し、下記の当てはまるものに○をつけてください

道路標示のみで認識	道路標示と道路標識の両方で認識	道路標識のみで認識
1	2	3

問5 信号機のない横断歩道には、必ず横断歩道の道路標識が設置されていることを知っていましたか？

●道路標識が何か分からない場合は、1ページ目の問2の順下段の図を提示してください

1. 知らなかった	2. 知っていた
-----------	----------

問6 横断歩道の道路標識の存在が、横断歩道の認知性に影響を与えていると感じますか？

与えていない	あまり与えていない	どちらともいえない	少し与えている	与えている
1	2	3	4	5

問7 あなたは車を運転しています。信号機のない交差点でこのような場合、あなたならどのようにしますか？

●この質問は以下の写真を提示し、自由に回答してもらってください



【回答記入欄】

実験1-6

問8 横断歩道の白線の幅と設置間隔が45cmと知っていましたか？

知っていた (45cmとは知らなかったが白線と設置間隔の幅が同程度であると思っていた) 知らなかった  
 間隔の幅が同程度であると思っていた 横断歩道が異なる間隔の幅が同程度であると思っていた

1 2 3 4

問9 白線設置間隔が異なる横断歩道が設置された場合、どのように感じますか？

横断歩道(白線設置間隔:90cm)



全く問題ない まあ問題ないと思う どちらともいえない あまり適当ではない 全く適当ではない

1 2 3 4 5

横断歩道(白線設置間隔:135cm)



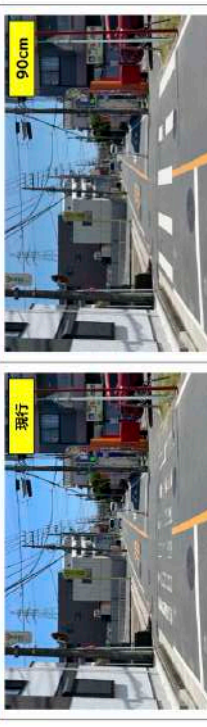
全く問題ない まあ問題ないと思う どちらともいえない あまり適当ではない 全く適当ではない

1 2 3 4 5

実験1-7

問10 現在の横断歩道で道路標示が消えかかっているものと、道路標示がはっきりと分かる白線間隔が広い横断歩道を比較した場合、どちらの方がより見やすいと思いますか？

横断歩道(白線設置間隔:90cm)



消えかかった方が見やすい 消えかかった方がやや見やすい どちらともいえない 間隔の広い方が見やすい 間隔の広い方が見やすい

1 2 3 4 5

横断歩道(白線設置間隔:135cm)



消えかかった方が見やすい 消えかかった方がやや見やすい どちらともいえない 間隔の広い方が見やすい 間隔の広い方が見やすい

1 2 3 4 5

問11 その他、走行してみた感想や意見があれば教えてください

Blank area for writing responses to Question 11.

実験1は以上で終了です

実験1-8



# 卷 末 資 料 3

記録用紙（実験2）

記録用紙：歩行者からの視認性等の検証(実験2)

参加者名	コース	天候	
区分	昼・夜	開始時刻	終了時刻
			調査員

●前回は、各バターンの指定の位置に移動して向き取りを行ってください

問1-1 横断歩道の道路標示の認知、視認性や渡りやすさ

パターン1(白線設置間隔:4.5cm)

調査員備考欄

垂直方向

記録地点		30m 手前	
分かりやすさ	非常に分かりやすい 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	まあ分かりやすい 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	非常に分かりにくい 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
感じ方	一目で横断歩道と分かる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	まあ横断歩道と分かる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	あまり横断歩道らしくない 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____

記録地点

記録地点		10m 手前	
分かりやすさ	非常に分かりやすい 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	まあ分かりやすい 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	非常に分かりにくい 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
感じ方	一目で横断歩道と分かる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	まあ横断歩道と分かる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	あまり横断歩道らしくない 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____

記録地点

記録地点		1m 手前	
分かりやすさ	非常に分かりやすい 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	まあ分かりやすい 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	非常に分かりにくい 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
感じ方	一目で横断歩道と分かる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	まあ横断歩道と分かる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	あまり横断歩道らしくない 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____

実験2-1

パターン1(白線設置間隔:4.5cm)

調査員備考欄

平行方向

記録地点		10m 手前	
分かりやすさ	非常に分かりやすい 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	まあ分かりやすい 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	非常に分かりにくい 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
感じ方	一目で横断歩道と分かる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	まあ横断歩道と分かる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	あまり横断歩道らしくない 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____

記録地点

記録地点		1m 手前	
分かりやすさ	非常に分かりやすい 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	まあ分かりやすい 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	非常に分かりにくい 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
感じ方	一目で横断歩道と分かる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	まあ横断歩道と分かる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	あまり横断歩道らしくない 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____

横断歩道の渡りやすさ

渡りやすさ	非常に渡りやすい 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	まあ渡りやすい 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	やや渡りにくい 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____	非常に渡りにくい 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
理由				

実験2-2

問1-2 横断歩道の道路標示の認知、視認性や渡りやすさ



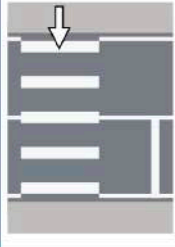
パターン2(白線設置間隔:90cm)

調査員備考欄

垂直方向		30m 手前				
記録地点						
分かりやすさ	非常に分かりやすい	まあ分かりやすい	どちらともいえない	やや分かりにくい	非常に分かりにくい	
	1	2	3	4	5	
感じ方	一目で横断歩道と分かる	まあ横断歩道と分かる	どちらともいえない	あまり横断歩道らしくない	全く横断歩道らしくない	
	1	2	3	4	5	
記録地点		10m 手前				
分かりやすさ	非常に分かりやすい	まあ分かりやすい	どちらともいえない	やや分かりにくい	非常に分かりにくい	
	1	2	3	4	5	
感じ方	一目で横断歩道と分かる	まあ横断歩道と分かる	どちらともいえない	あまり横断歩道らしくない	全く横断歩道らしくない	
	1	2	3	4	5	
記録地点		1m 手前				
分かりやすさ	非常に分かりやすい	まあ分かりやすい	どちらともいえない	やや分かりにくい	非常に分かりにくい	
	1	2	3	4	5	
感じ方	一目で横断歩道と分かる	まあ横断歩道と分かる	どちらともいえない	あまり横断歩道らしくない	全く横断歩道らしくない	
	1	2	3	4	5	

実験2-3

パターン2(白線設置間隔:90cm)



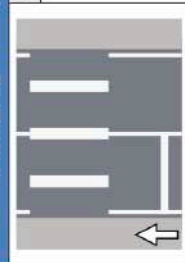
調査員備考欄

平行方向		10m 手前				
記録地点						
分かりやすさ	非常に分かりやすい	まあ分かりやすい	どちらともいえない	やや分かりにくい	非常に分かりにくい	
	1	2	3	4	5	
感じ方	一目で横断歩道と分かる	まあ横断歩道と分かる	どちらともいえない	あまり横断歩道らしくない	全く横断歩道らしくない	
	1	2	3	4	5	
記録地点		1m 手前				
分かりやすさ	非常に分かりやすい	まあ分かりやすい	どちらともいえない	やや分かりにくい	非常に分かりにくい	
	1	2	3	4	5	
感じ方	一目で横断歩道と分かる	まあ横断歩道と分かる	どちらともいえない	あまり横断歩道らしくない	全く横断歩道らしくない	
	1	2	3	4	5	
記録地点		横断歩道の渡りやすさ				
渡りやすさ	非常に渡りやすい	まあ渡りやすい	どちらともいえない	やや渡りにくい	非常に渡りにくい	
	1	2	3	4	5	
理由						

実験2-4

問1-3 横断歩道の道路標示の認知、視認性や渡りやすさ

パターン3(白線設置間隔:135cm)



調査員備考欄

垂直方向

記録地点	30m 手前				
分かりやすさ	非常に分かりやすい	まあ分かりやすい	どちらともいえない	やや分かりにくい	非常に分かりにくい
感じ方	1	2	3	4	5
	一目で横断歩道と分かる    まあ横断歩道と分かる    どちらともいえない    あまり横断歩道らしくない    全く横断歩道らしくない				
	1	2	3	4	5

記録地点

記録地点	10m 手前				
分かりやすさ	非常に分かりやすい	まあ分かりやすい	どちらともいえない	やや分かりにくい	非常に分かりにくい
感じ方	1	2	3	4	5
	一目で横断歩道と分かる    まあ横断歩道と分かる    どちらともいえない    あまり横断歩道らしくない    全く横断歩道らしくない				
	1	2	3	4	5

記録地点

記録地点	1m 手前				
分かりやすさ	非常に分かりやすい	まあ分かりやすい	どちらともいえない	やや分かりにくい	非常に分かりにくい
感じ方	1	2	3	4	5
	一目で横断歩道と分かる    まあ横断歩道と分かる    どちらともいえない    あまり横断歩道らしくない    全く横断歩道らしくない				
	1	2	3	4	5

実験2-5

パターン3(白線設置間隔:135cm)



調査員備考欄

平行方向

記録地点	10m 手前				
分かりやすさ	非常に分かりやすい	まあ分かりやすい	どちらともいえない	やや分かりにくい	非常に分かりにくい
感じ方	1	2	3	4	5
	一目で横断歩道と分かる    まあ横断歩道と分かる    どちらともいえない    あまり横断歩道らしくない    全く横断歩道らしくない				
	1	2	3	4	5

記録地点

記録地点	1m 手前				
分かりやすさ	非常に分かりやすい	まあ分かりやすい	どちらともいえない	やや分かりにくい	非常に分かりにくい
感じ方	1	2	3	4	5
	一目で横断歩道と分かる    まあ横断歩道と分かる    どちらともいえない    あまり横断歩道らしくない    全く横断歩道らしくない				
	1	2	3	4	5

記録地点

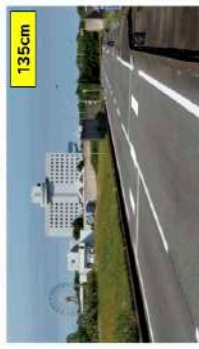
記録地点	横断歩道の渡りやすさ				
渡りやすさ	非常に渡りやすい	まあ渡りやすい	どちらともいえない	やや渡りにくい	非常に渡りにくい
理由	1	2	3	4	5

●以前の質問は「3」が頻りにあつてから問1を渡りやすさで

実験2-6



問2 白線設置間隔が異なる横断歩道が設置されるとした場合、どのように感じますか？



横断歩道(白線設置間隔:90cm)

全く問題ない 1  
 まお問題ないと思う 2  
 どちらともいえない 3  
 あまり適当ではない 4  
 全く適当ではない 5

横断歩道(白線設置間隔:135cm)

全く問題ない 1  
 まお問題ないと思う 2  
 どちらともいえない 3  
 あまり適当ではない 4  
 全く適当ではない 5

問3 その他、歩行してみた感想や意見があれば教えてください

実験2は以上で終了です

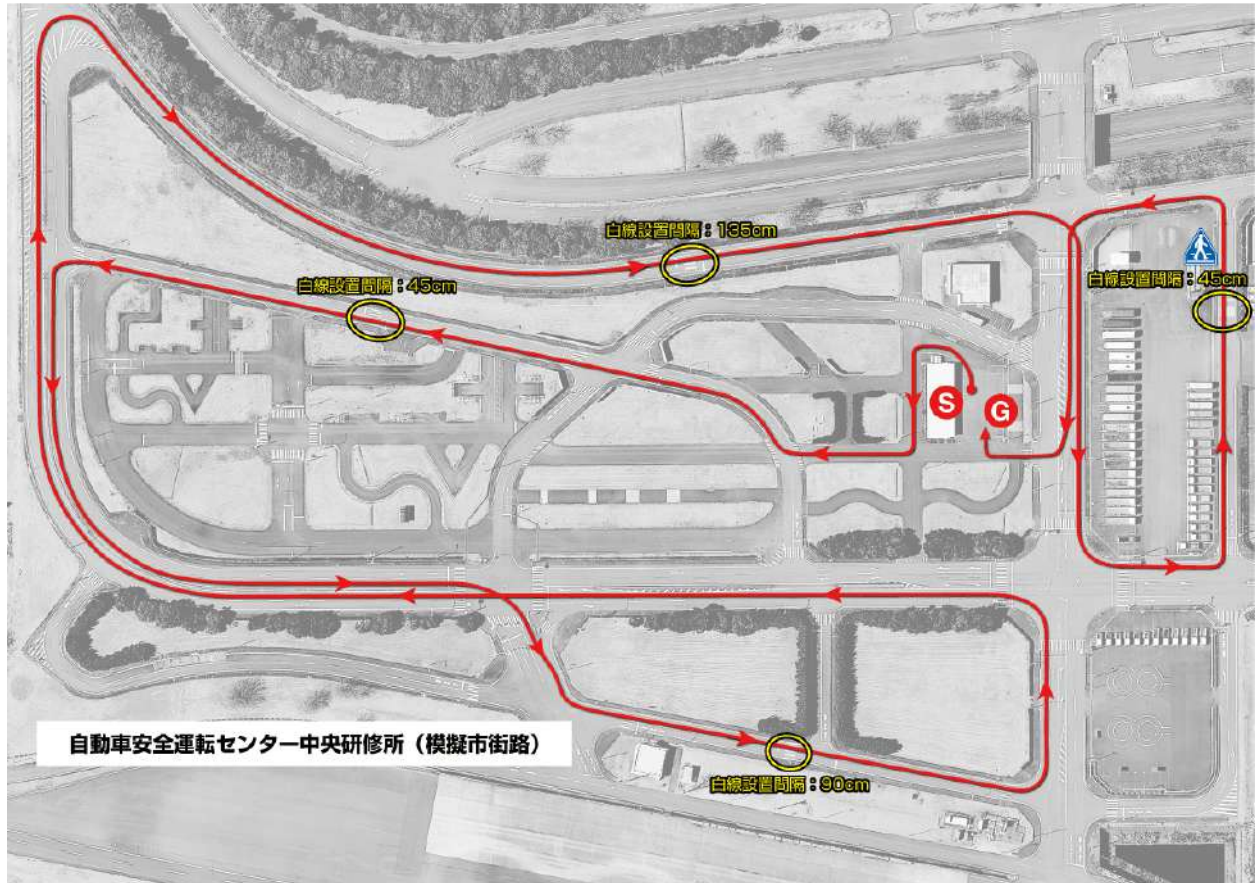
実験2-7



# 卷 末 資 料 4

走行コース（実験1）

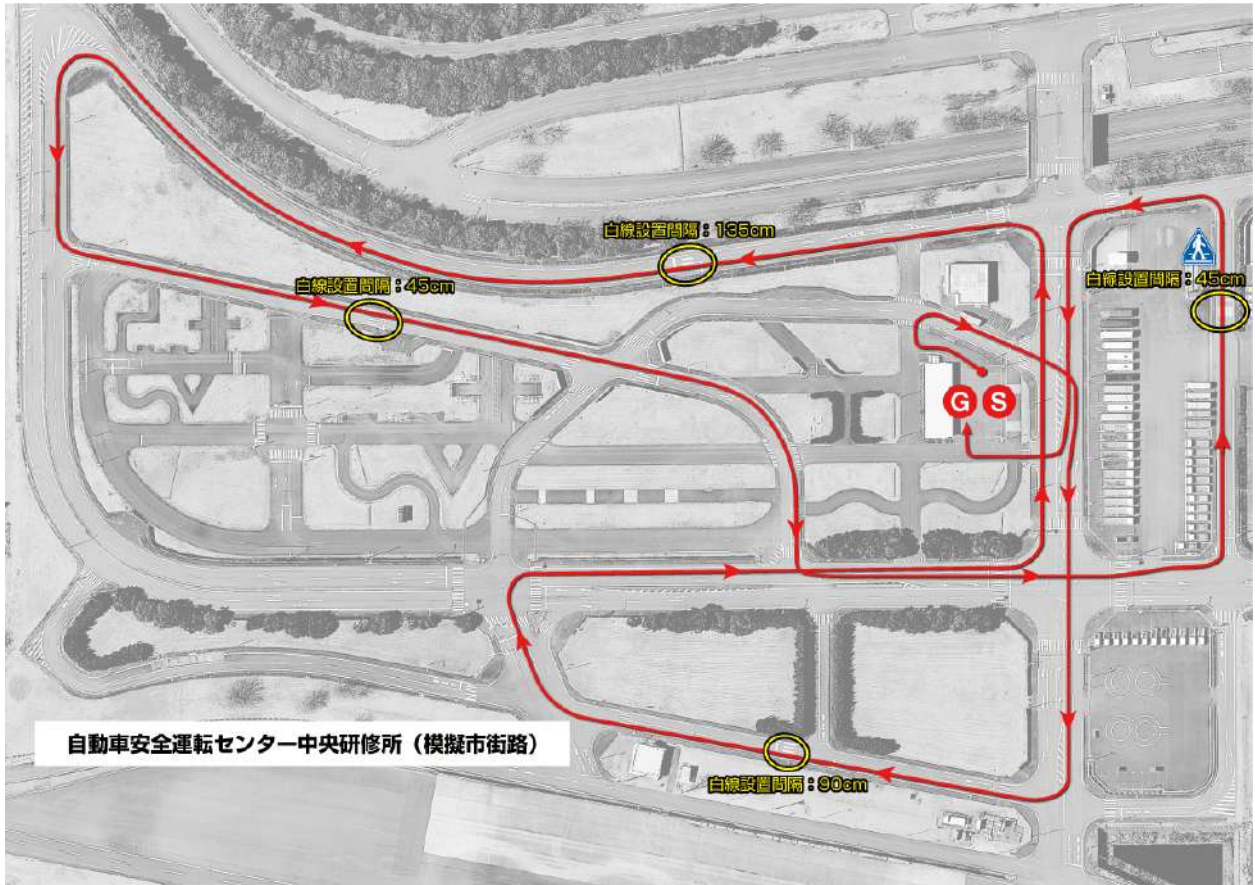
<実験 1 : 走行コース 1 >



<実験 1 : 走行コース 2 >



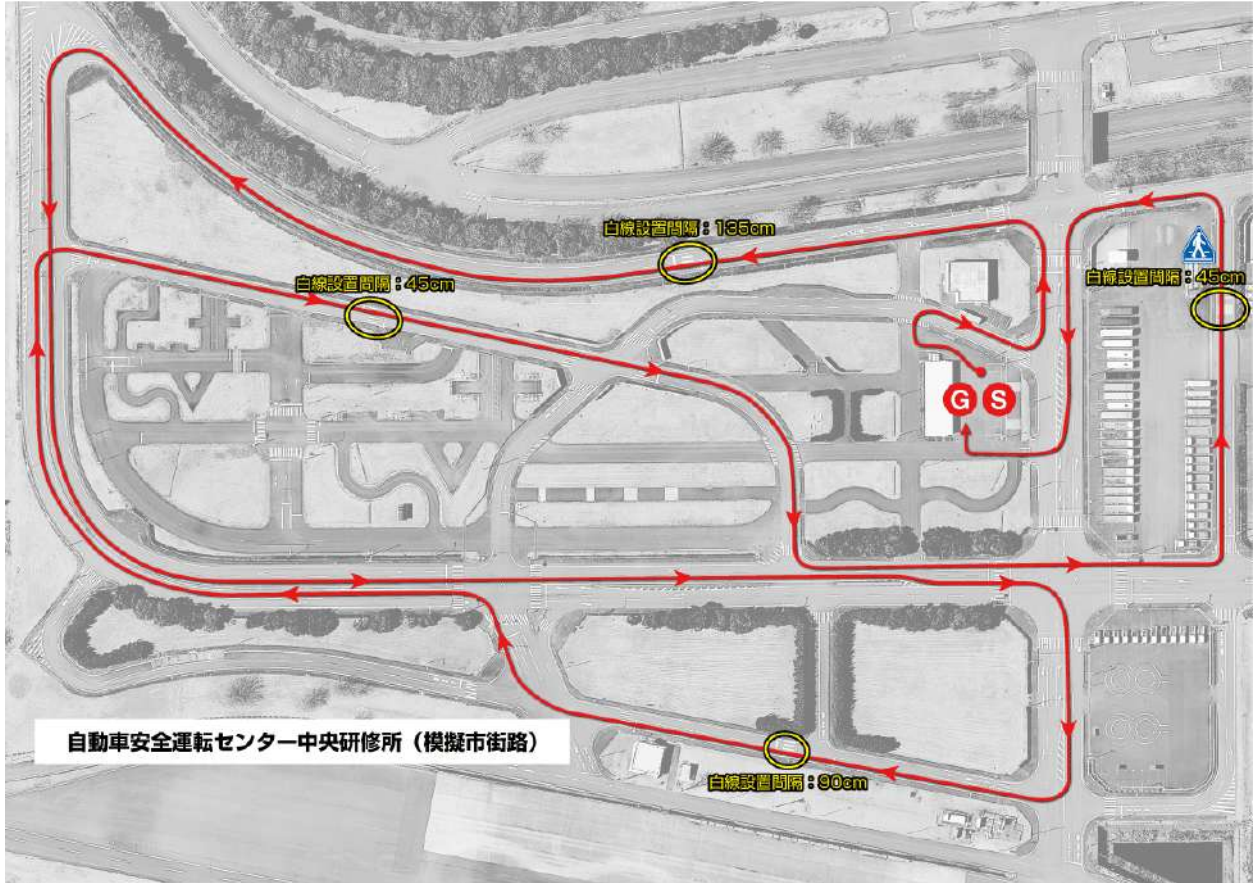
<実験 1 : 走行コース 3 >



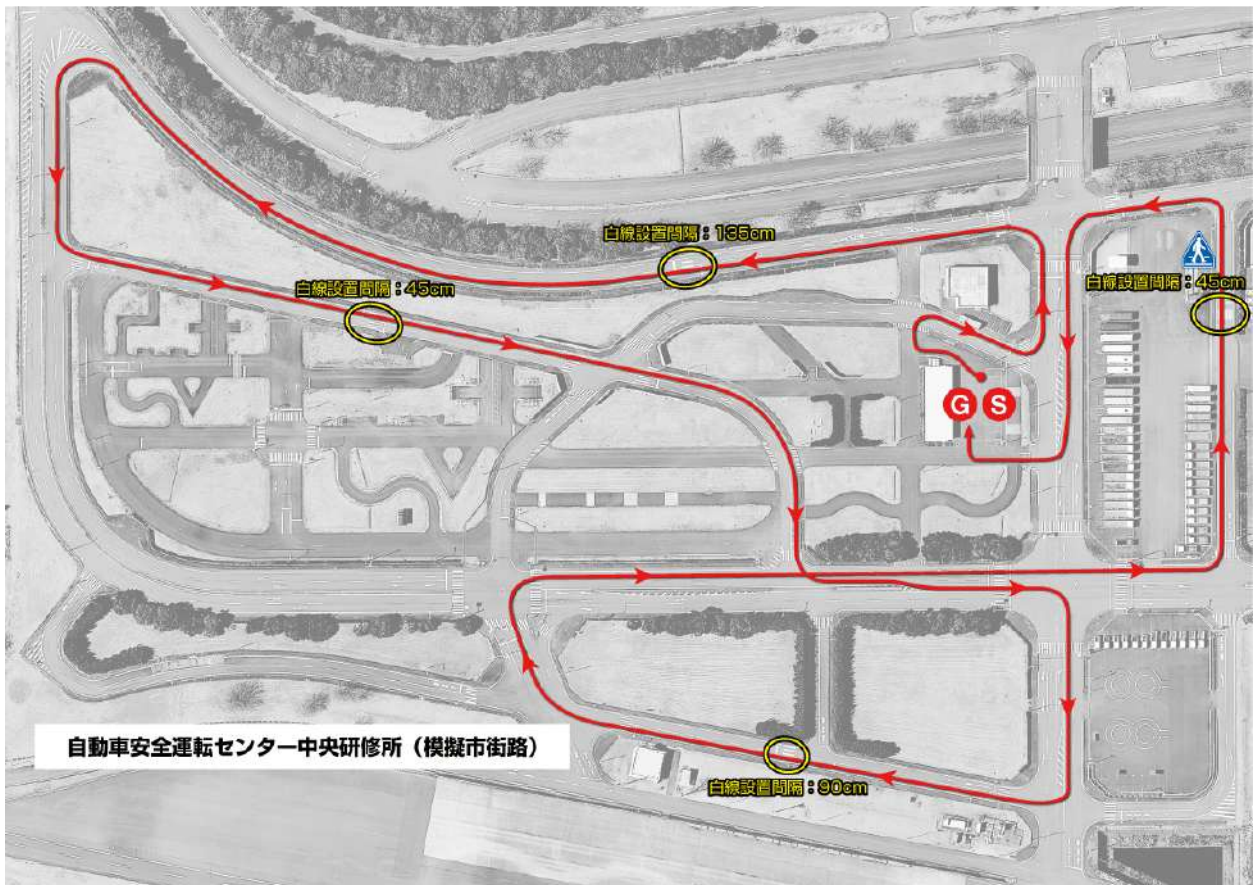
<実験 1 : 走行コース 4 >



<実験 1 : 走行コース 5 >



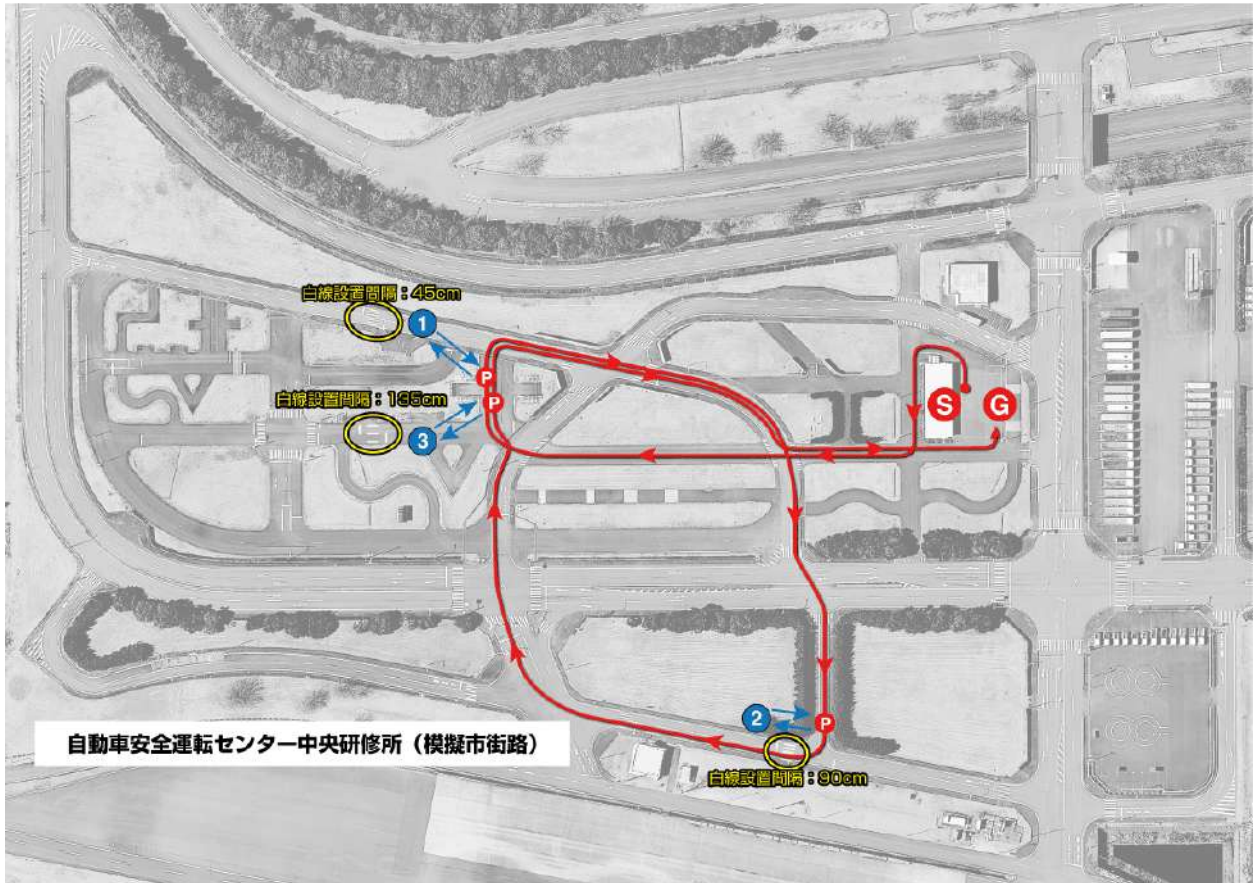
<実験 1 : 走行コース 6 >



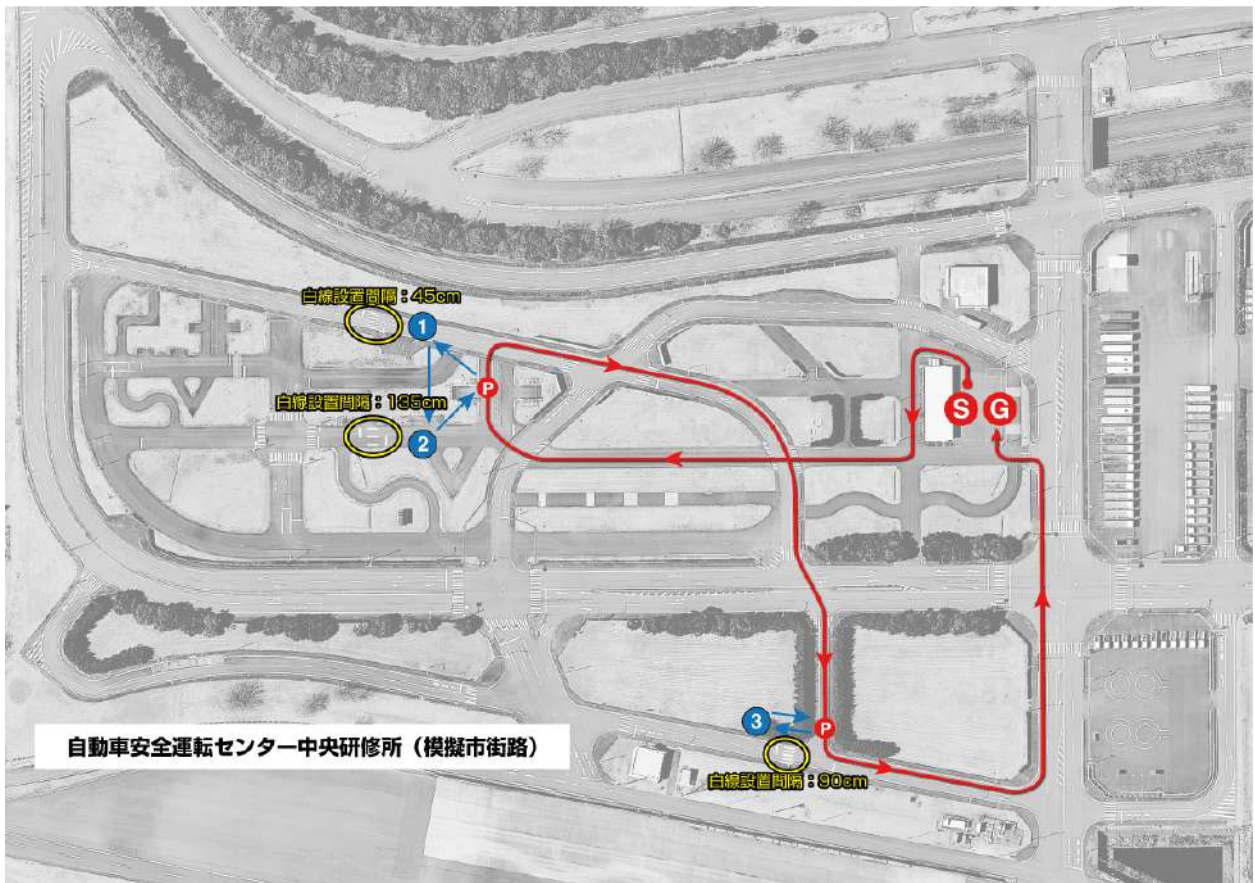
# 卷 末 資 料 5

歩行コース（実験2）

<実験2：歩行コース1>

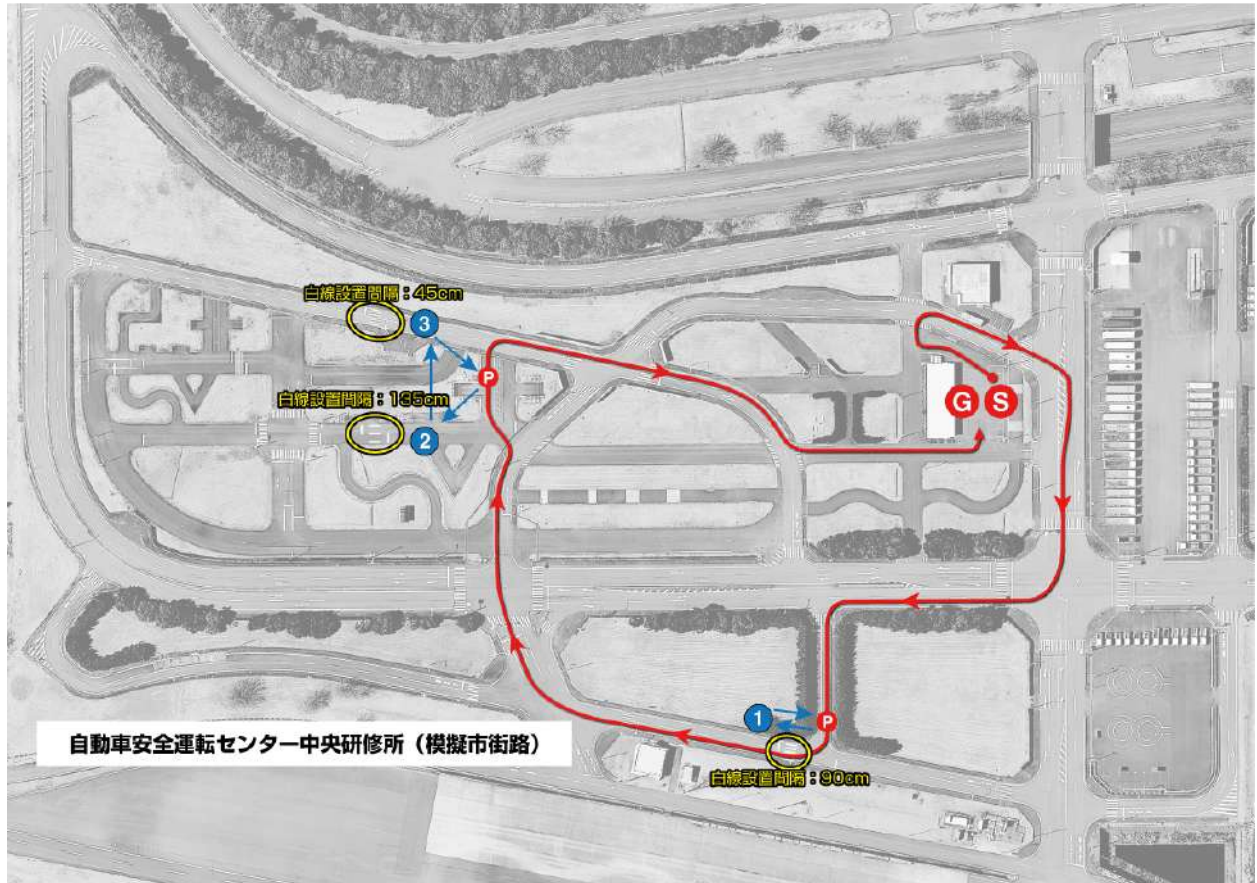


<実験2：歩行コース2>

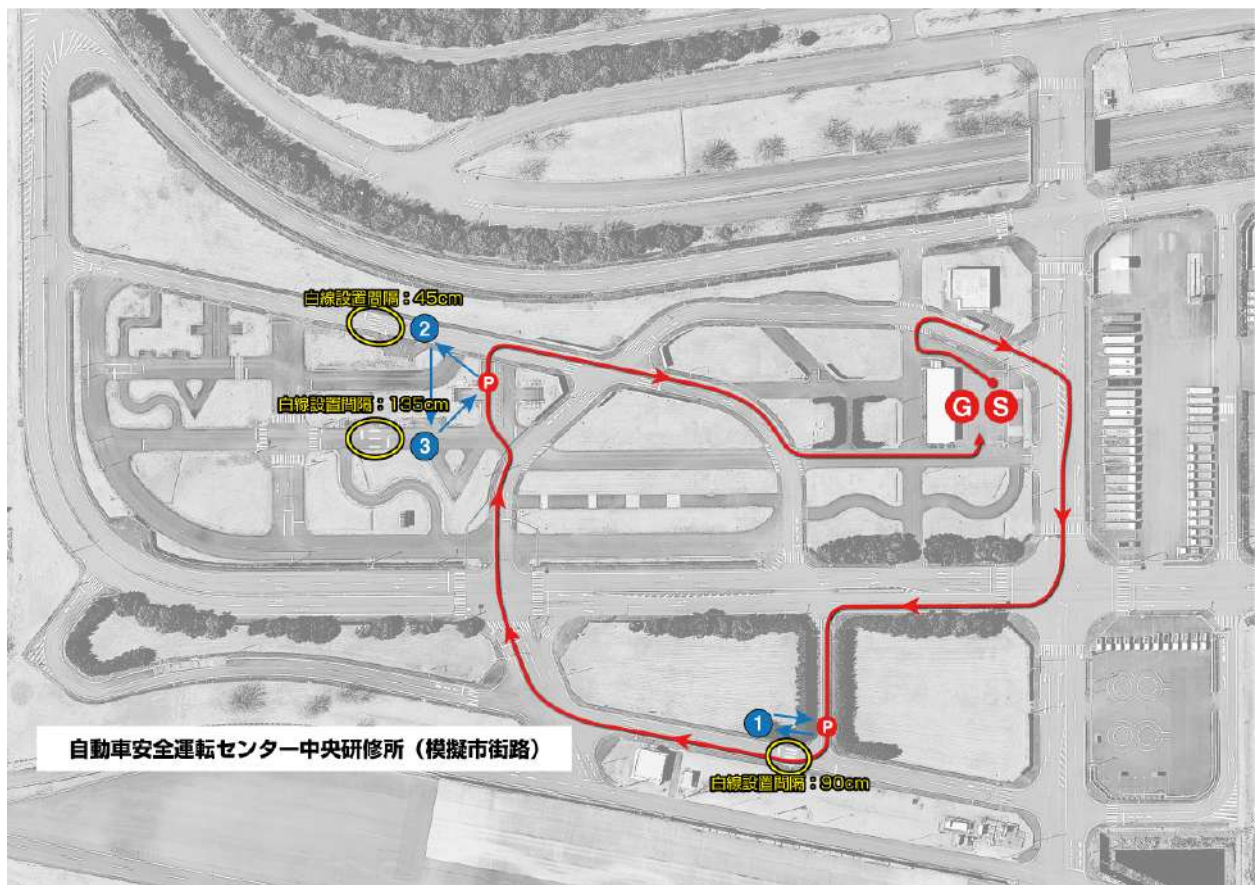




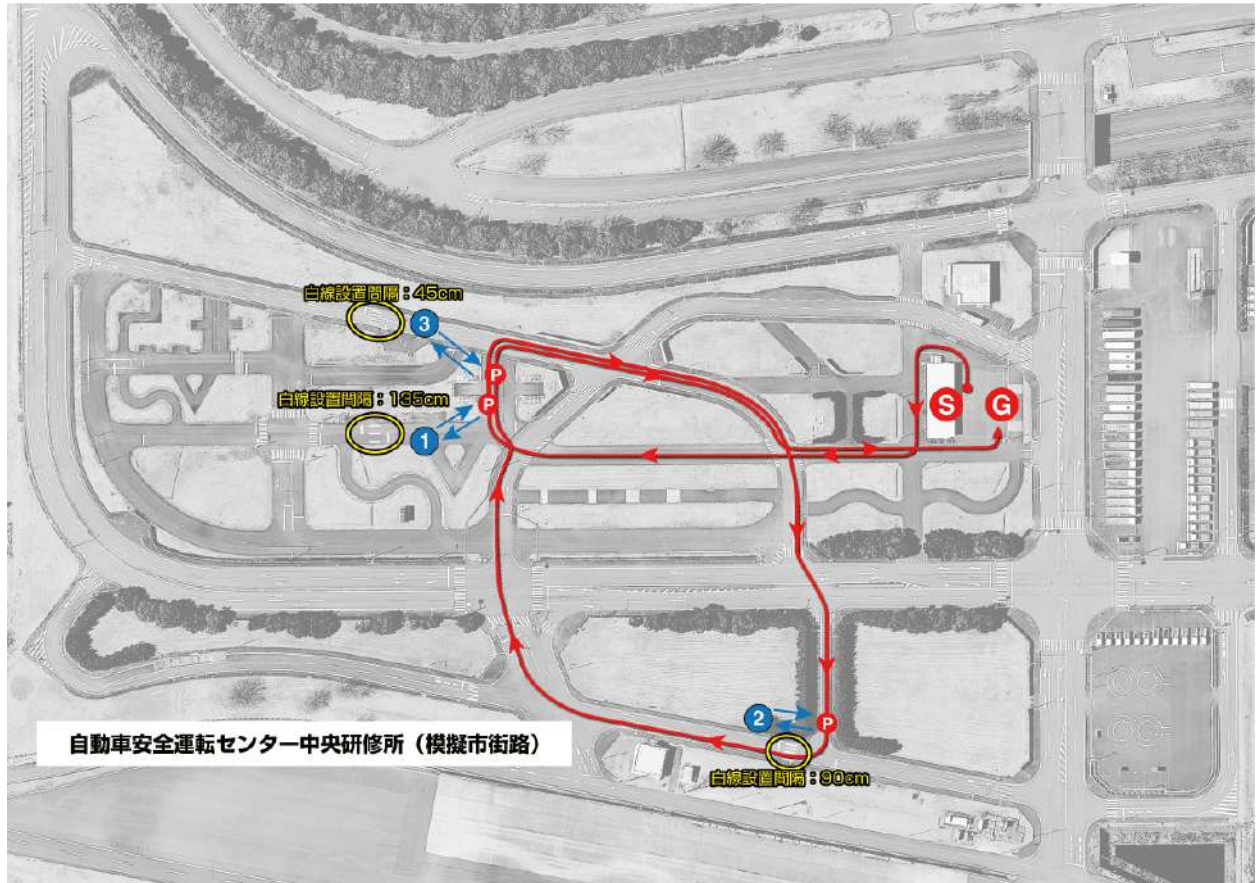
＜実験 2：歩行コース 3＞



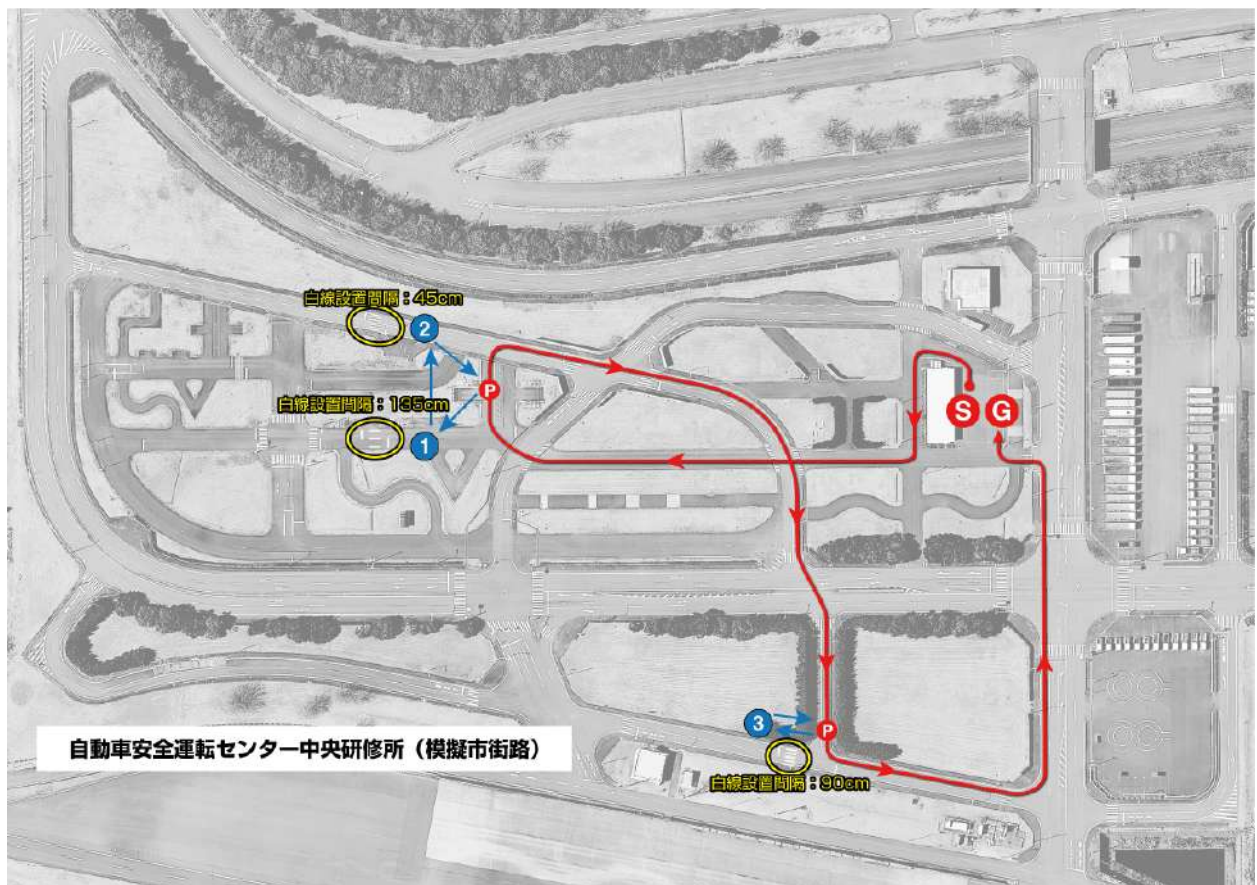
＜実験 2：歩行コース 4＞



<実験2：歩行コース5>



<実験2：歩行コース6>



# 巻末資料 6

## 自動車運転者からの視認性等の検証（実験1）の結果

- ・ 白線設置間隔が異なる横断歩道の認知（問1） 巻末資料6-1～6-2
- ・ コース上の道路標示等の認知（問2） 巻末資料6-2～6-3
- ・ 横断歩道標示等の分かりやすさ（問3-1～3-4） 巻末資料6-3～6-7
- ・ 横断歩道標示等の感じ方（問3-1～3-4） 巻末資料6-7～6-11
- ・ その他の設問（問4～10） 巻末資料6-12～6-17

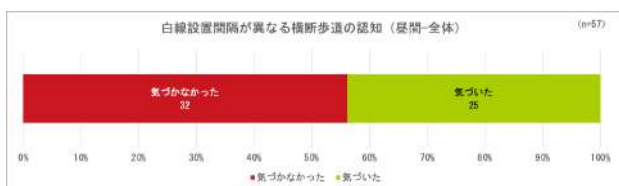
## ■実験結果の比較について

「白線設置間隔が異なる横断歩道の認知」及び「コース上の道路標示等の認知」については、以下の要領で実験結果を比較。

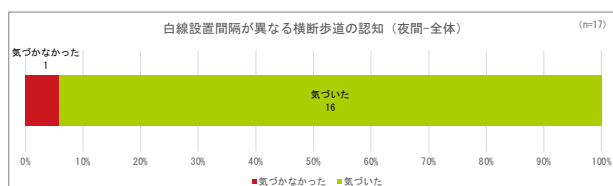
昼間と夜間	実験参加者全体の結果を昼間と夜間で比較。夜間の実験は昼間の実験参加者の一部が参加したものであり、横断歩道標示が初見ではない状態であったことを踏まえ、全体の結果のみ比較。
普通自動車と大型貨物車	横断歩道標示が初見であった昼間の実験結果を用いて、普通自動車を運転した実験参加者の記録と、大型貨物車を運転した実験参加者の記録を比較。
高齢層と非高齢層	非高齢層（20歳～64歳）及び高齢層（65歳以上）を区分して実験参加者の募集を行った普通自動車について、横断歩道標示が初見であった昼間の実験結果を用いて記録を比較。
男性と女性	性別を区分して実験参加者の募集を行った普通自動車について、横断歩道標示が初見であった昼間の実験結果を用いて記録を比較。

## 白線設置間隔が異なる横断歩道の認知（問1）

### <昼間と夜間の実験結果の比較>



<昼間-全体>



<夜間-全体>

### <普通自動車と大型貨物車の実験結果の比較>



<昼間-普通自動車>

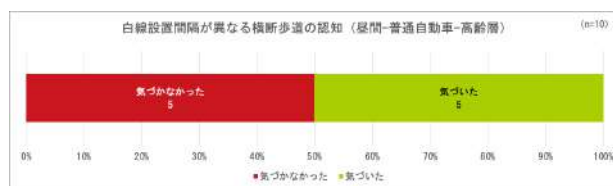


<昼間-大型貨物車>

### <非高齢層と高齢層の実験結果の比較>

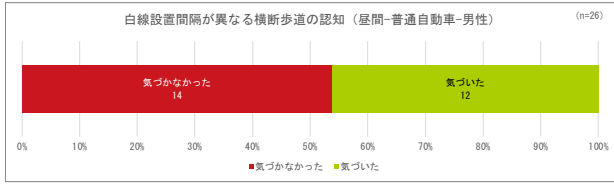


<昼間-普通自動車-非高齢層>

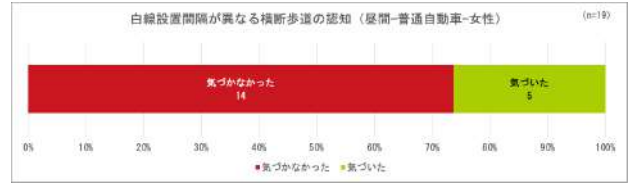


<昼間-普通自動車-高齢層>

## ＜男性と女性の実験結果の比較＞



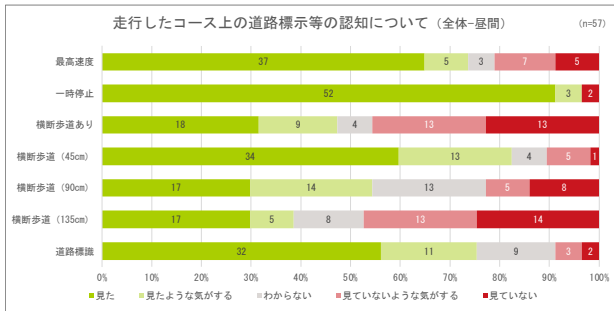
＜昼間-普通自動車-男性＞



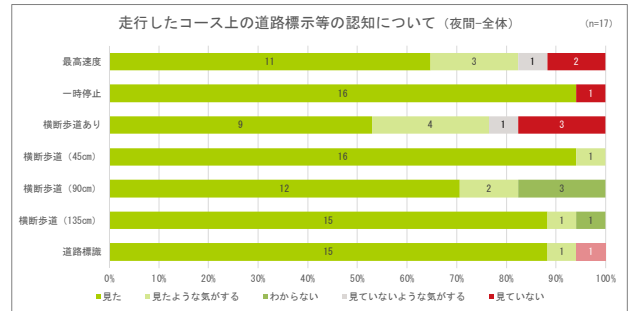
＜昼間-普通自動車-女性＞

## コース上の道路標示等の認知 (問2)

### ＜昼間と夜間の実験結果の比較＞

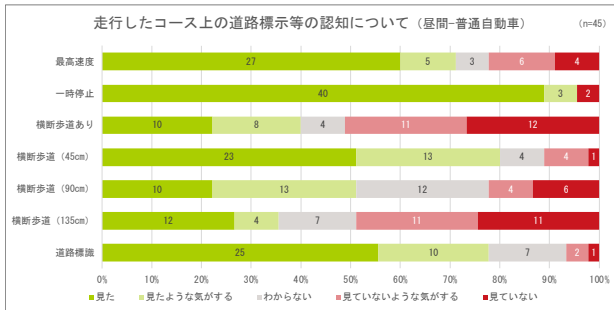


＜昼間-全体＞

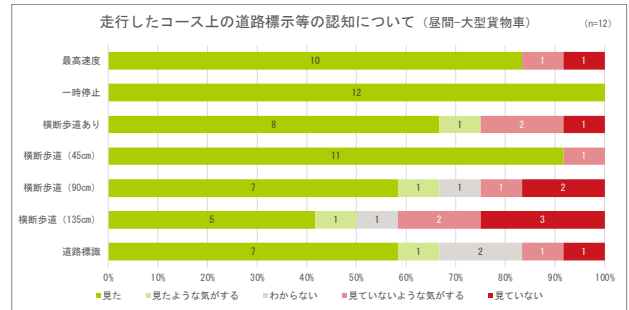


＜夜間-全体＞

### ＜普通自動車と大型貨物車の実験結果の比較＞

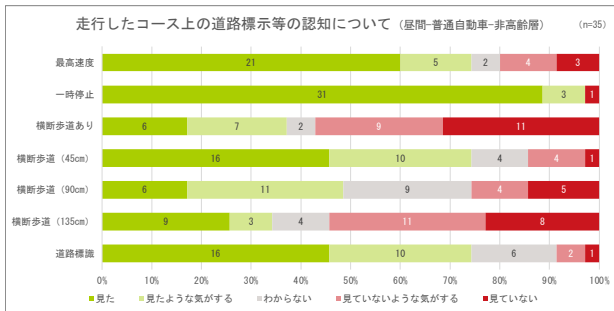


＜昼間-全体＞

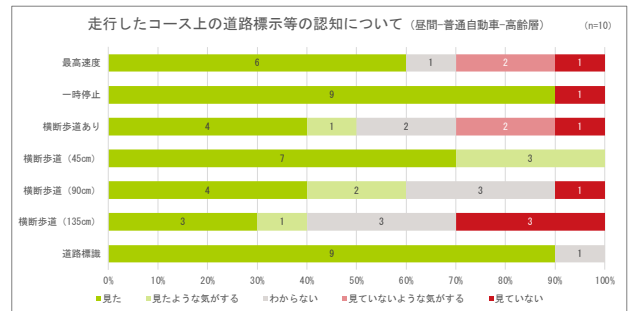


＜夜間-全体＞

### ＜高齢層と非高齢層の実験結果の比較＞

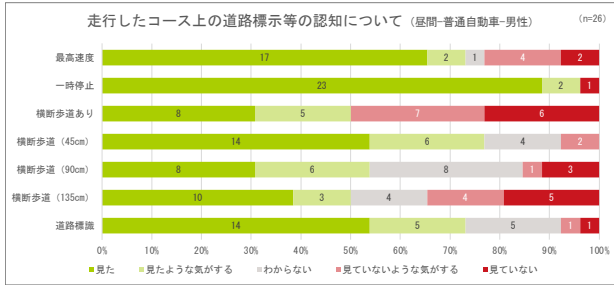


＜昼間-普通自動車-非高齢層＞

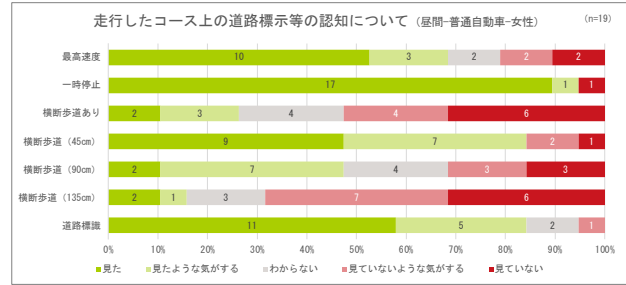


＜昼間-普通自動車-高齢層＞

## ＜男性と女性の実験結果の比較＞



＜昼間-普通自動車-男性＞

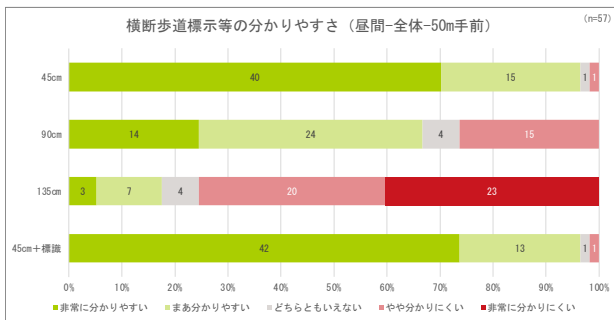


＜昼間-普通自動車-女性＞

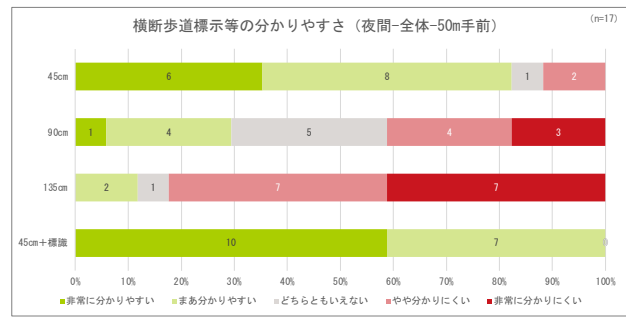
## 横断歩道標示等の分かりやすさ（問3-1～問3-4）

昼間と夜間の別の実験結果を比較。年齢層別、性別別の結果は、実験参加者の応募時に区分した普通自動車のみ結果を用いて比較。

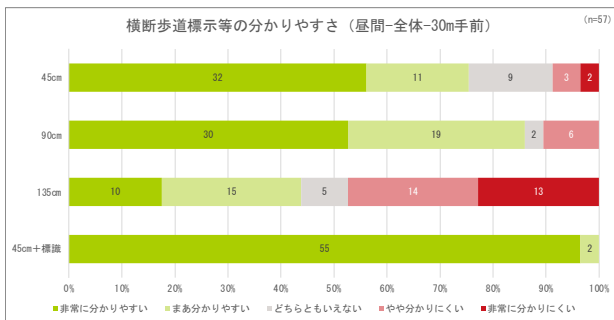
## ＜横断歩道標示等の分かりやすさに関する昼間と夜間の実験結果の比較＞（全体）



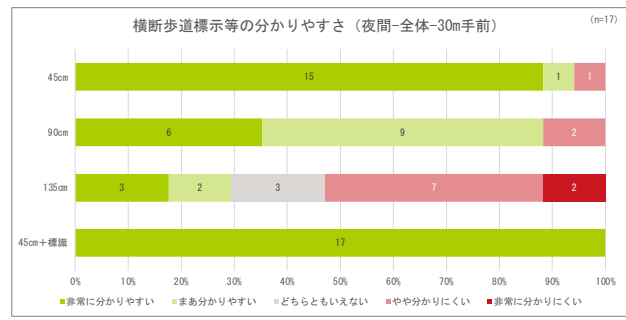
＜昼間-全体-50m手前＞



＜夜間-全体-50m手前＞



＜昼間-全体-30m手前＞

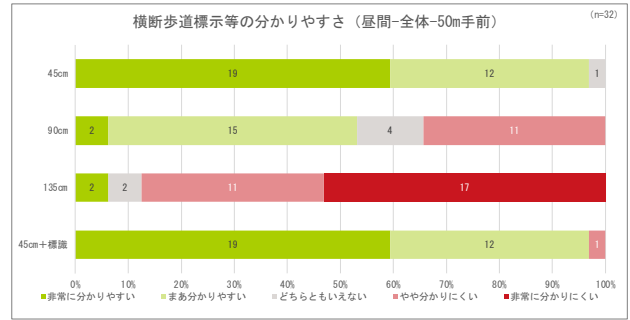
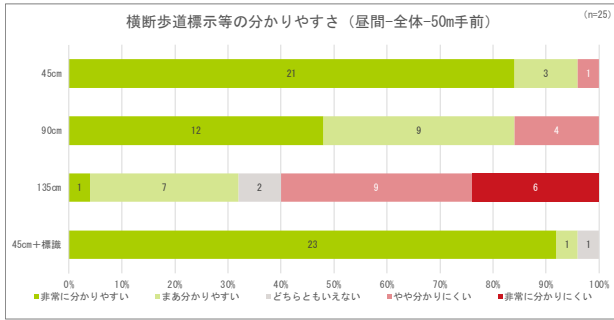


＜夜間-全体-30m手前＞

＜横断歩道標示等の分かりやすさに関する昼間と夜間の実験結果の比較＞（全体）

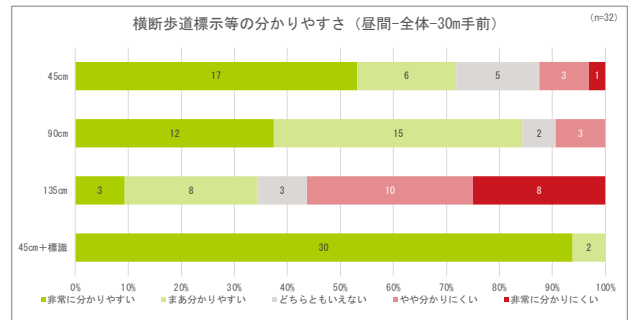
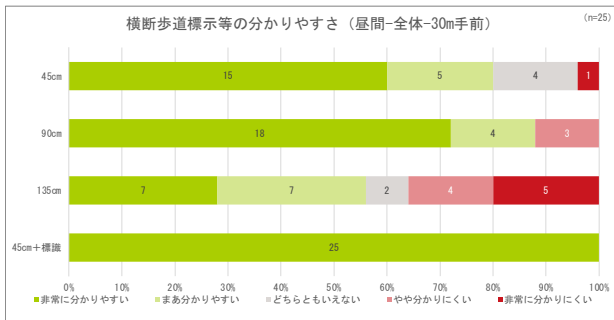
白線設置間隔が異なる横断歩道の設置に  
気づいていたグループ

白線設置間隔が異なる横断歩道の設置に  
気づいていなかったグループ



＜昼間-全体-50m 手前＞

＜夜間-全体-50m 手前＞

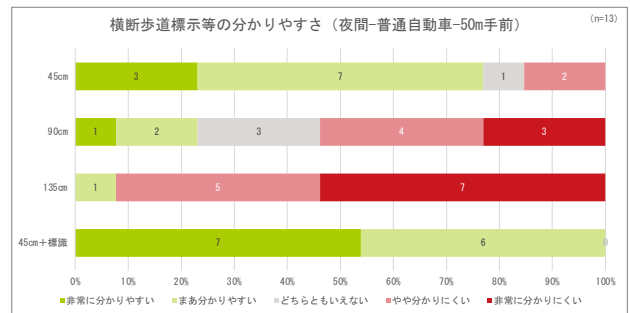
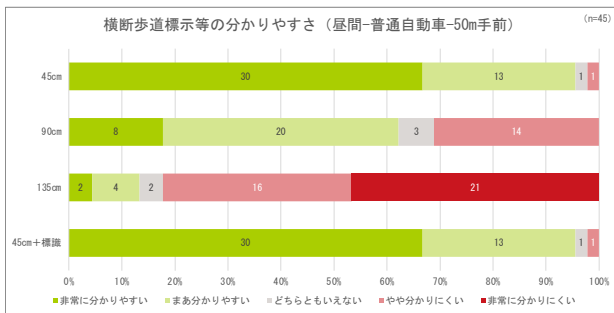


＜昼間-全体-30m 手前＞

＜夜間-全体-30m 手前＞

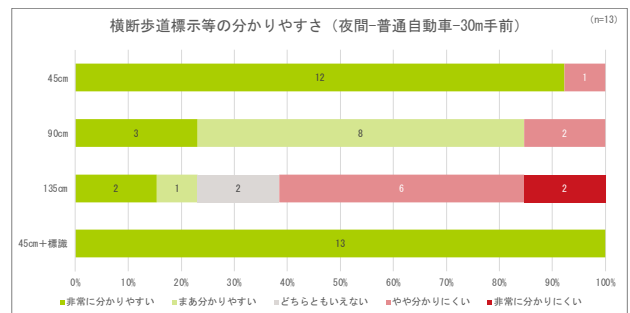
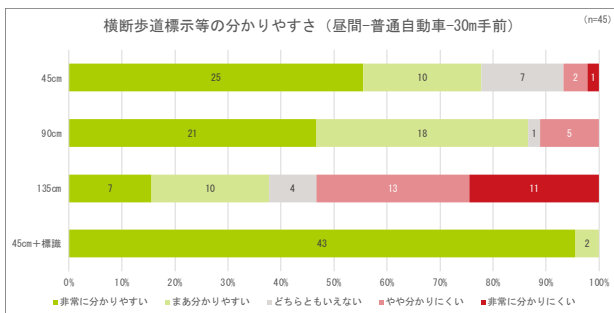
※ 白線の設置間隔が異なる横断歩道の設置に気づいていたグループ、気づいていなかったグループ別での傾向を把握するため、全体-昼間のデータを用いて集計

＜横断歩道標示等の分かりやすさに関する昼間と夜間の実験結果の比較＞（普通自動車）



＜昼間-普通自動車-50m 手前＞

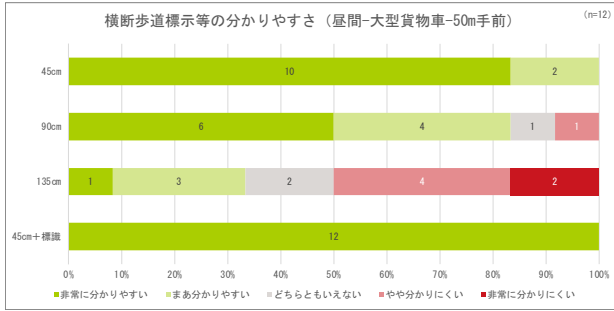
＜夜間-普通自動車-50m 手前＞



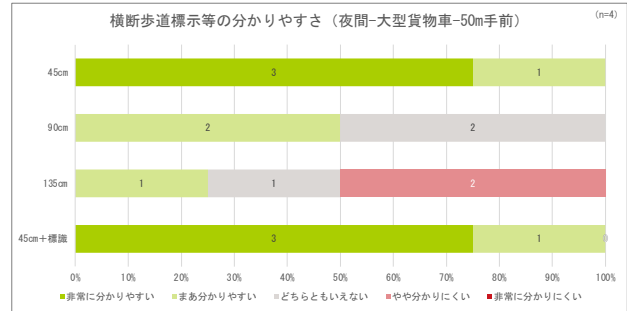
＜昼間-普通自動車-30m 手前＞

＜夜間-普通自動車-30m 手前＞

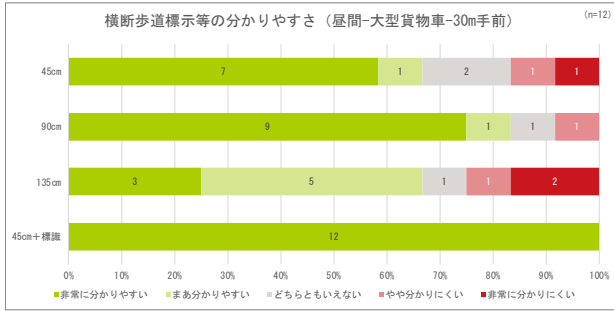
＜横断歩道標示等の分かりやすさに関する昼間と夜間の実験結果の比較＞（大型貨物車）



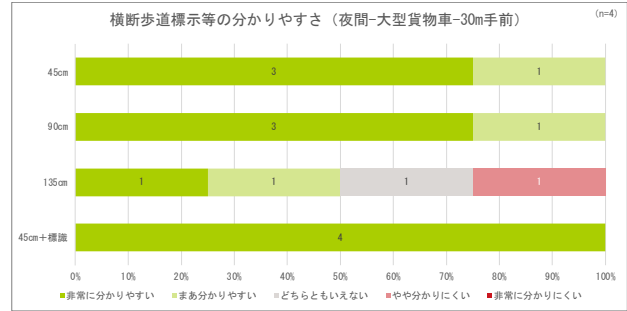
＜昼間-大型貨物車-50m 手前＞



＜夜間-大型貨物車-50m 手前＞

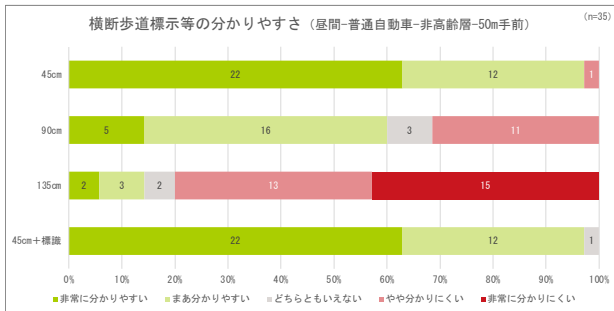


＜昼間-大型貨物車-30m 手前＞

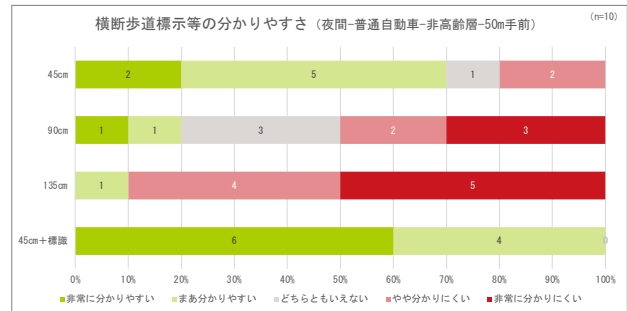


＜夜間-大型貨物車-30m 手前＞

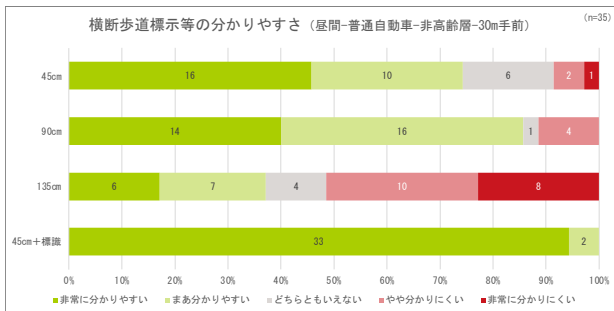
＜横断歩道標示等の分かりやすさに関する昼間と夜間の実験結果の比較＞（非高齢層）



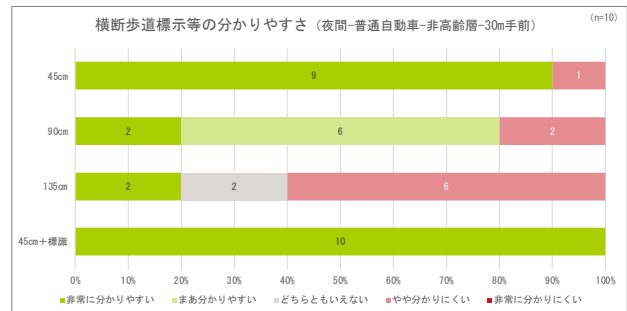
＜昼間-普通自動車-非高齢層-50m 手前＞



＜夜間-普通自動車-非高齢層-50m 手前＞



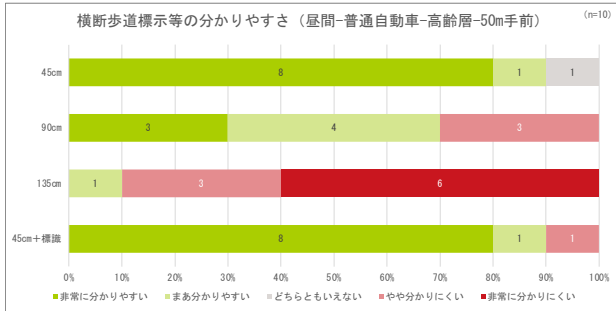
＜昼間-普通自動車-非高齢層-30m 手前＞



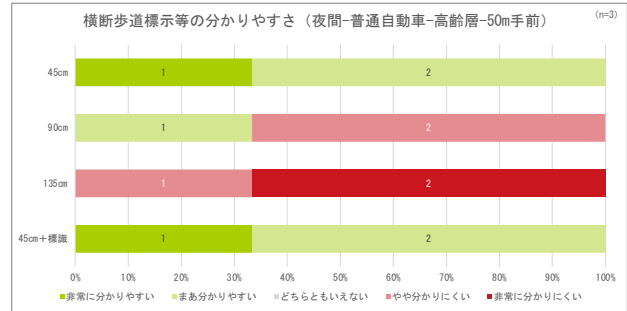
＜夜間-普通自動車-非高齢層-30m 手前＞



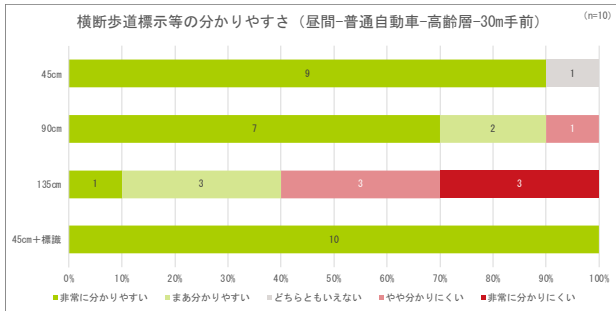
＜横断歩道標示等の分かりやすさに関する昼間と夜間の実験結果の比較＞（高齢層）



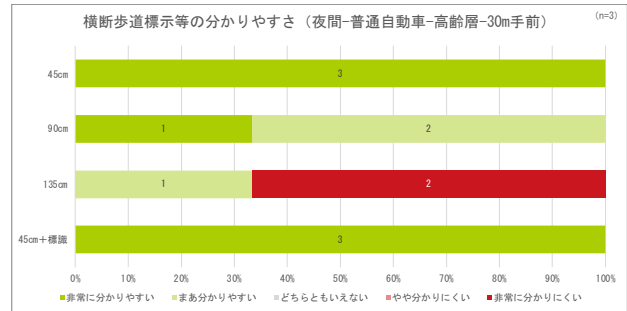
＜昼間-普通自動車-高齢層-50m 手前＞



＜夜間-普通自動車-高齢層-50m 手前＞

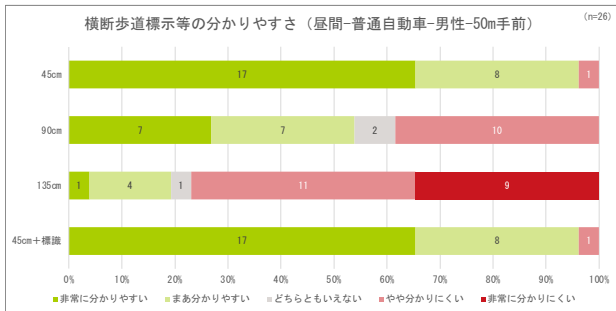


＜昼間-普通自動車-高齢層-30m 手前＞

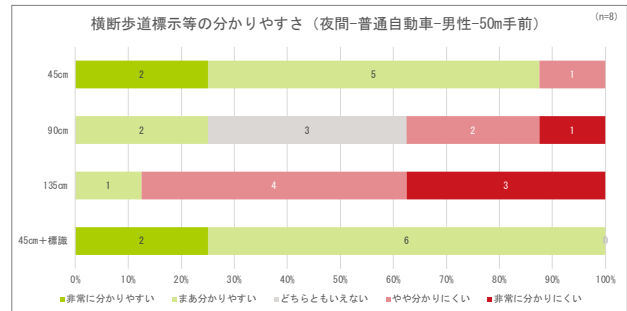


＜夜間-普通自動車-高齢層-30m 手前＞

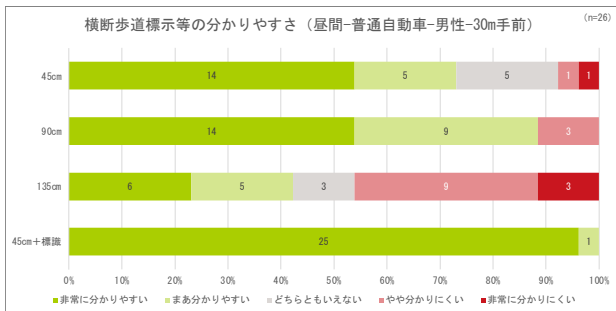
＜横断歩道標示等の分かりやすさに関する昼間と夜間の実験結果の比較＞（男性）



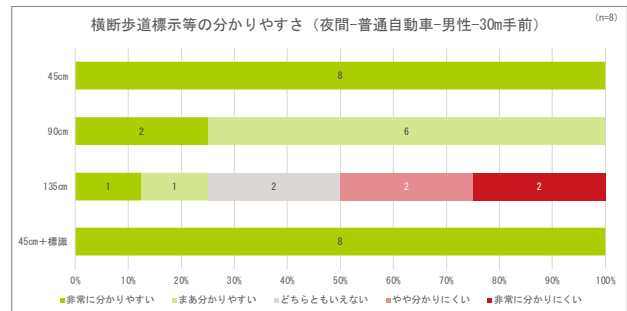
＜昼間-普通自動車-男性-50m 手前＞



＜夜間-普通自動車-男性-50m 手前＞

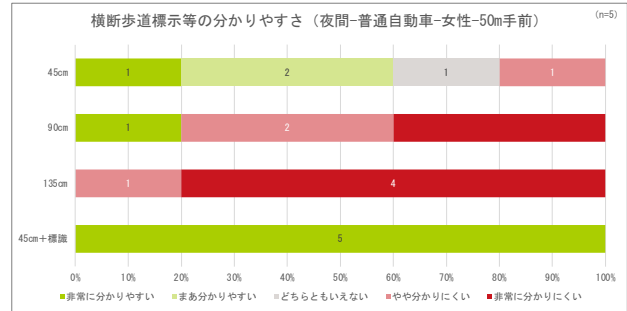
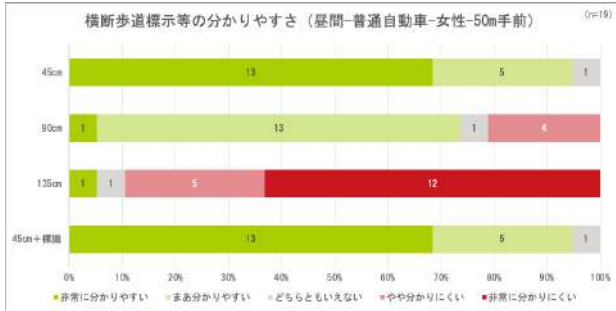


＜昼間-普通自動車-男性-30m 手前＞



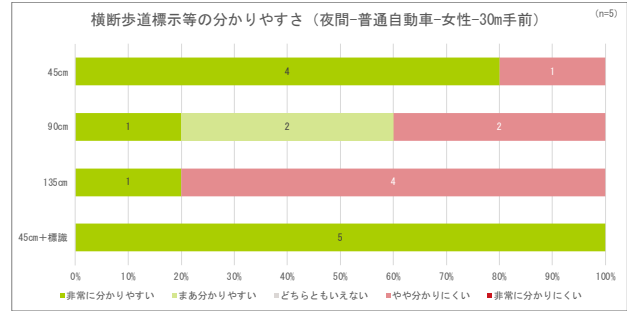
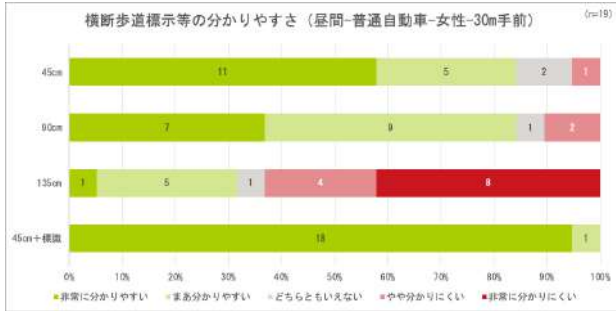
＜夜間-普通自動車-男性-30m 手前＞

＜横断歩道標示等の分かりやすさに関する昼間と夜間の実験結果の比較＞（女性）



＜昼間-普通自動車-女性-50m 手前＞

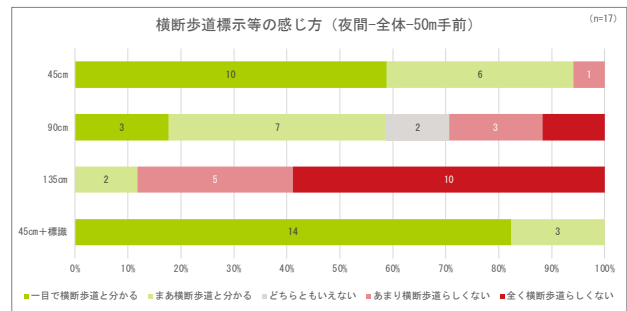
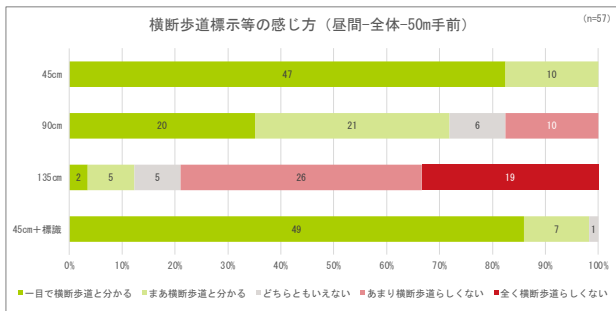
＜夜間-普通自動車-女性-50m 手前＞



＜昼間-普通自動車-女性-30m 手前＞

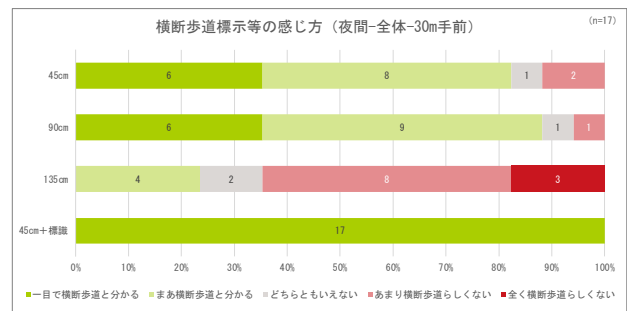
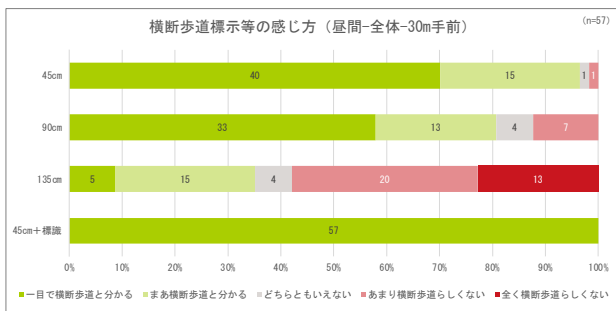
＜夜間-普通自動車-女性-30m 手前＞

＜横断歩道標示等の感じ方に関する昼間と夜間の実験結果の比較＞（全体）



＜昼間-全体-50m 手前＞

＜夜間-全体-50m 手前＞

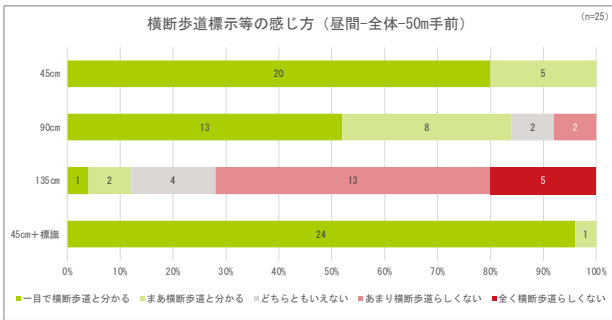


＜昼間-全体-30m 手前＞

＜夜間-全体-30m 手前＞

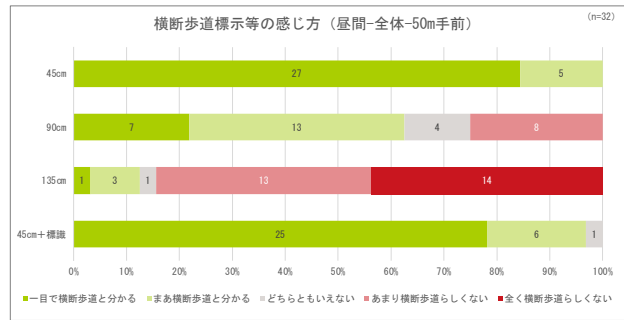
＜横断歩道標示等の感じ方に関する昼間と夜間の実験結果の比較＞（全体）

白線設置間隔が異なる横断歩道の設置に  
気づいていたグループ

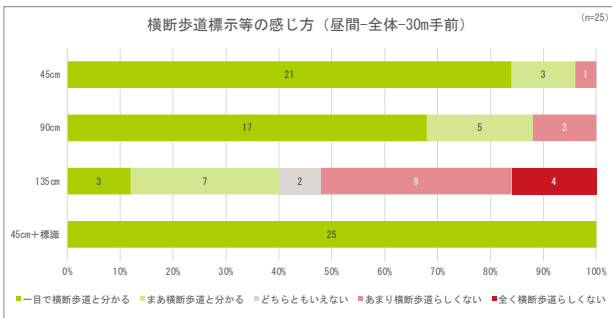


＜昼間-全体-50m 手前＞

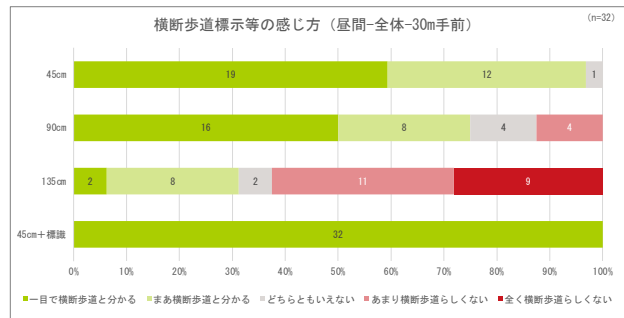
白線設置間隔が異なる横断歩道の設置に  
気づいていなかったグループ



＜夜間-全体-50m 手前＞



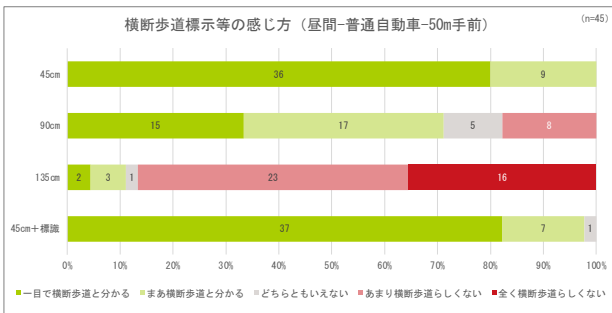
＜昼間-全体-30m 手前＞



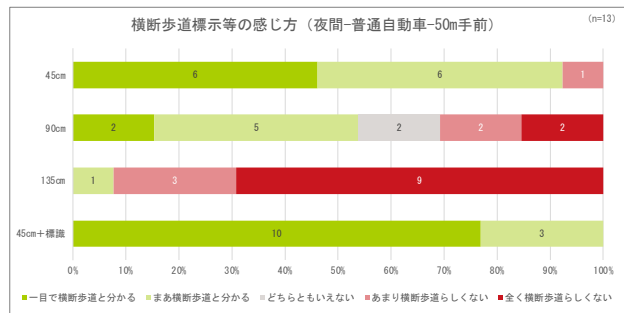
＜夜間-全体-30m 手前＞

※ 白線の設置間隔が異なる横断歩道の設置に気づいていたグループ、気づいていなかったグループ別での傾向を把握するため、全体-昼間のデータを用いて集計

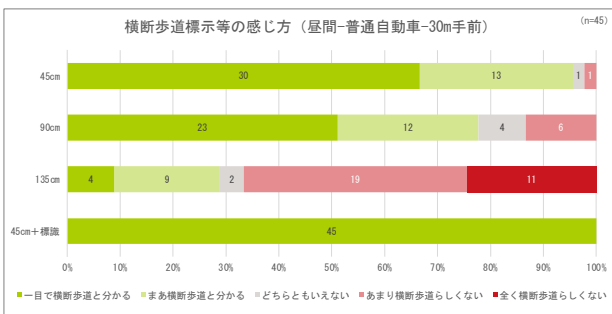
＜横断歩道標示等の感じ方に関する昼間と夜間の実験結果の比較＞（普通自動車）



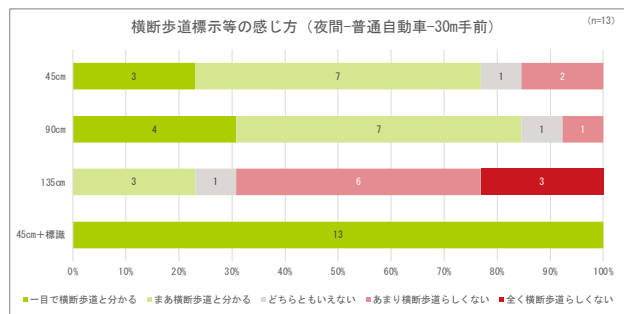
＜昼間-普通自動車-50m 手前＞



＜夜間-普通自動車-50m 手前＞

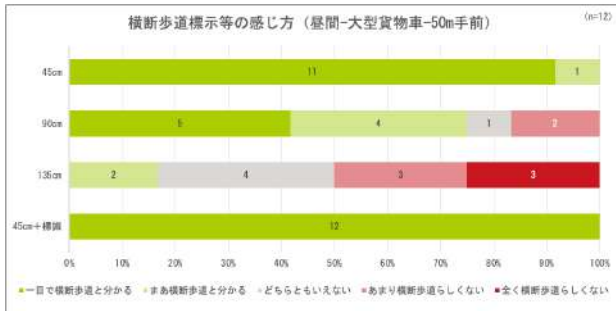


＜昼間-普通自動車-30m 手前＞

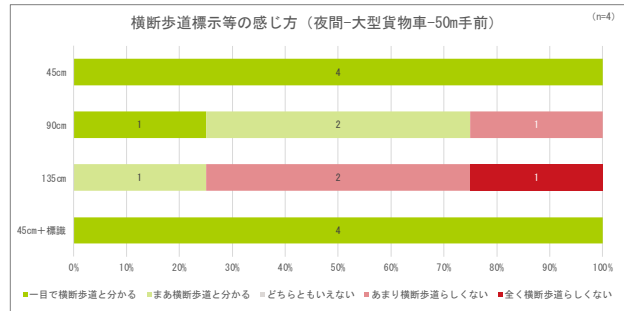


＜夜間-普通自動車-30m 手前＞

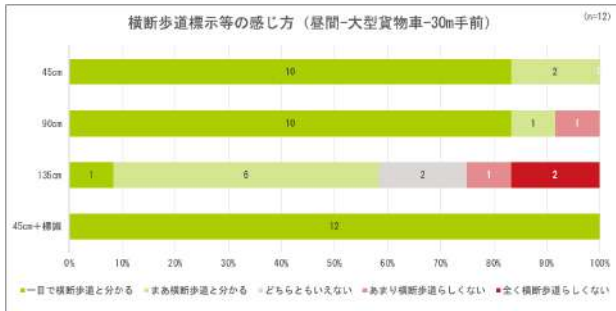
## <横断歩道標示等の感じ方に関する昼間と夜間の実験結果の比較> (大型貨物車)



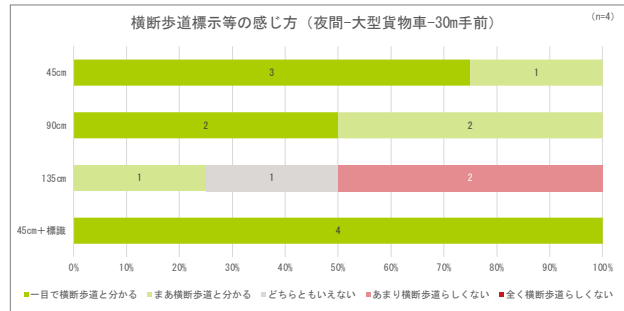
<昼間-大型貨物車-50m 手前>



<夜間-大型貨物車-50m 手前>

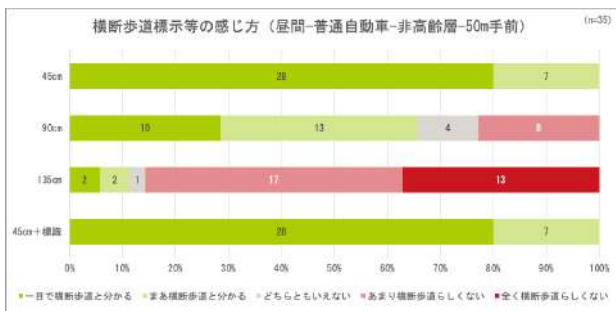


<昼間-大型貨物車-30m 手前>

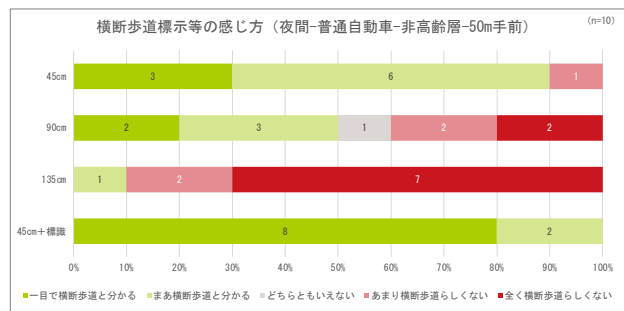


<夜間-大型貨物車-30m 手前>

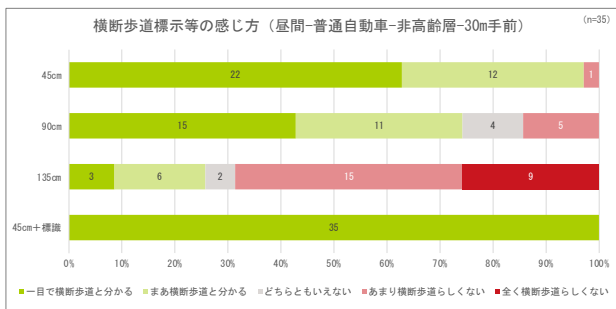
## <横断歩道標示等の感じ方に関する昼間と夜間の実験結果の比較> (非高齢層)



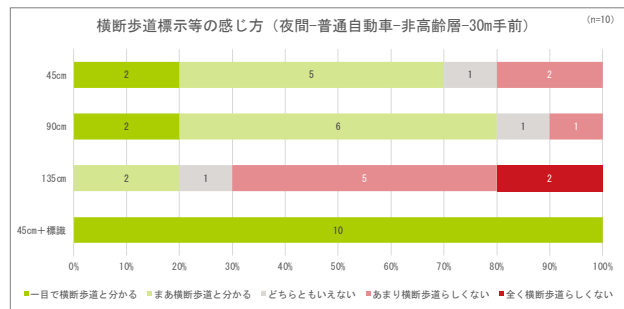
<昼間-普通自動車-非高齢層-50m 手前>



<夜間-普通自動車-非高齢層-50m 手前>

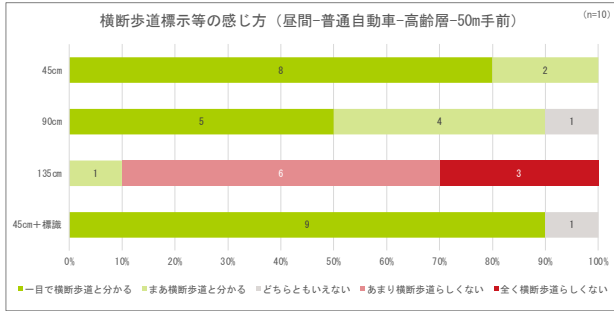


<昼間-普通自動車-非高齢層-30m 手前>

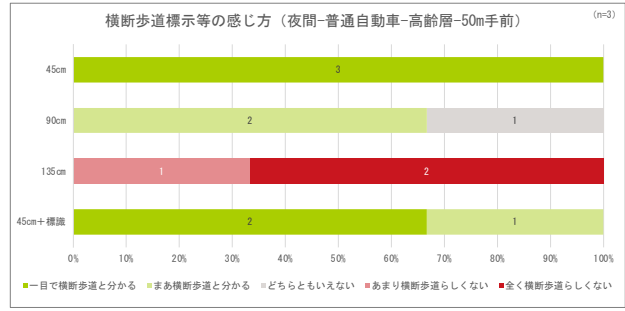


<夜間-普通自動車-非高齢層-30m 手前>

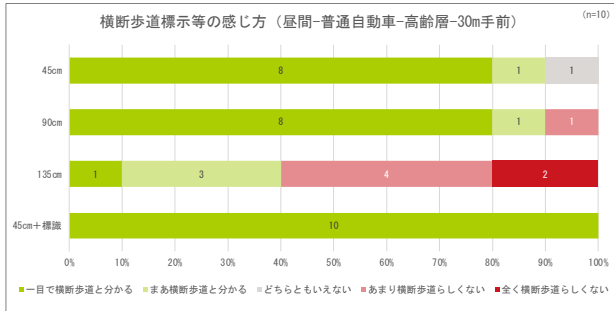
## <横断歩道標示等の感じ方に関する昼間と夜間の実験結果の比較> (高齢層)



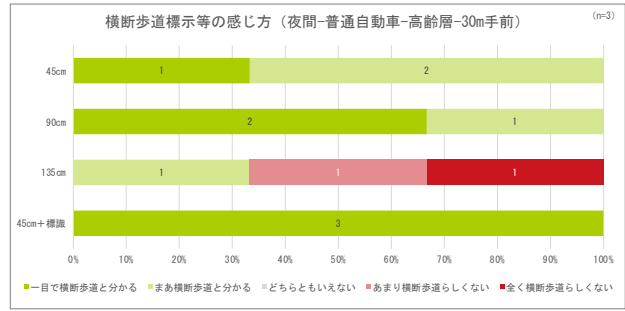
<昼間-普通自動車-高齢層-50m 手前>



<夜間-普通自動車-高齢層-50m 手前>

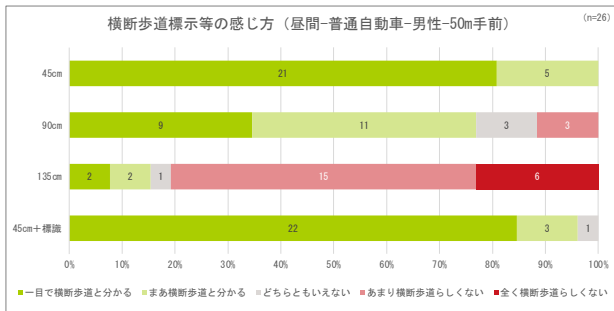


<昼間-普通自動車-高齢層-30m 手前>

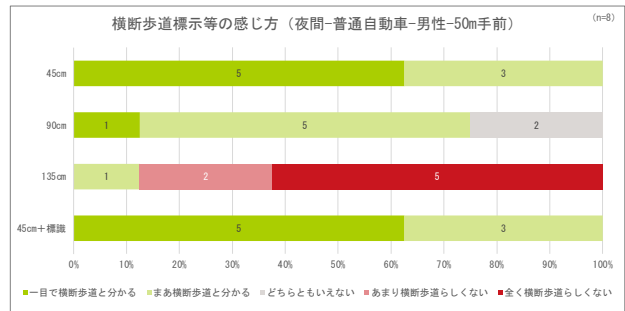


<夜間-普通自動車-高齢層-30m 手前>

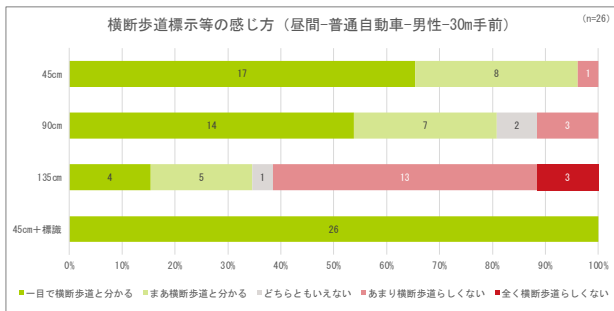
## <横断歩道標示等の感じ方に関する昼間と夜間の実験結果の比較> (男性)



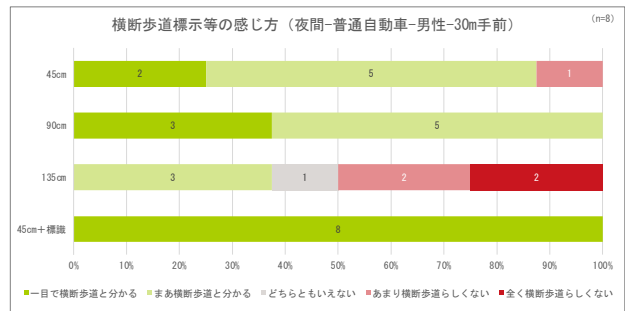
<昼間-普通自動車-男性-50m 手前>



<夜間-普通自動車-男性-50m 手前>

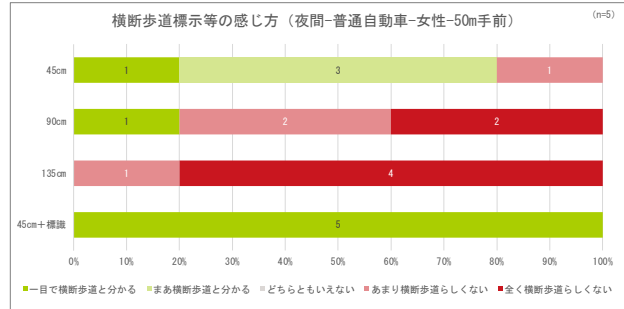
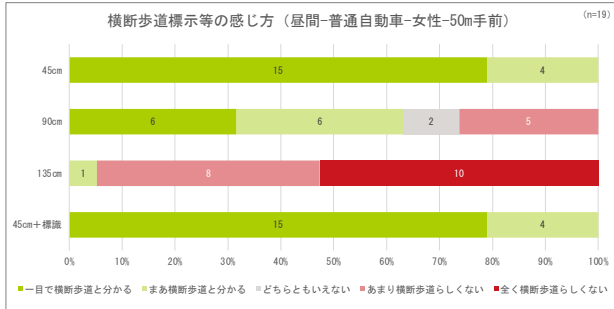


<昼間-普通自動車-男性-30m 手前>



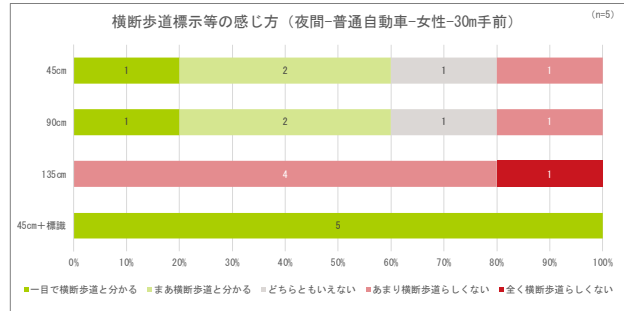
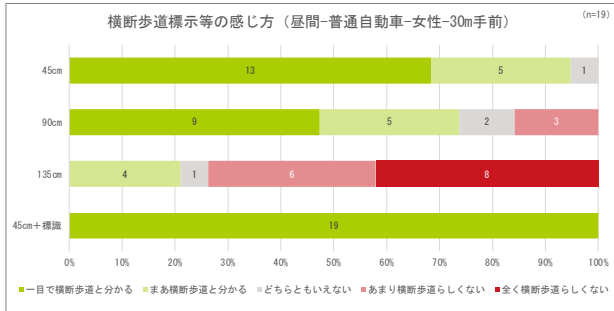
<夜間-普通自動車-男性-30m 手前>

## <横断歩道標示等の感じ方に関する昼間と夜間の実験結果の比較> (女性)



### <昼間-普通自動車-女性-50m手前>

### <夜間-普通自動車-女性-50m手前>

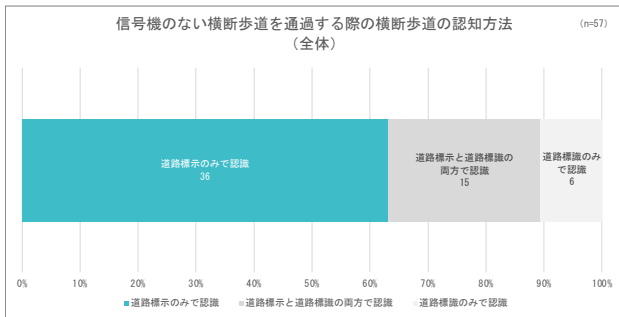


### <昼間-普通自動車-女性-30m手前>

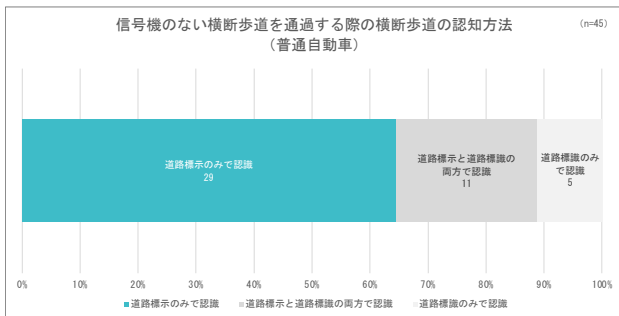
### <夜間-普通自動車-女性-30m手前>

## その他の設問

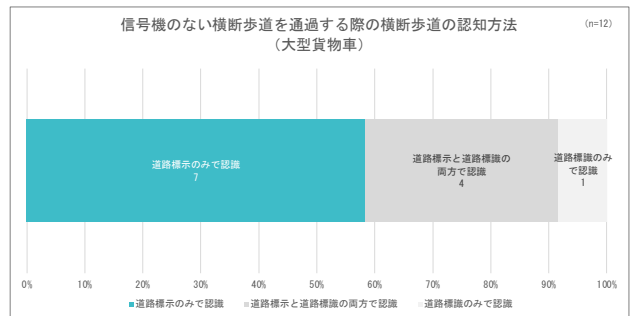
### ●信号機のない横断歩道を通過する際の横断歩道の認知方法（問4）



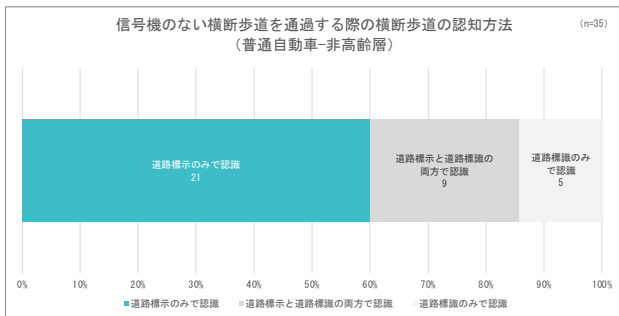
<全体>



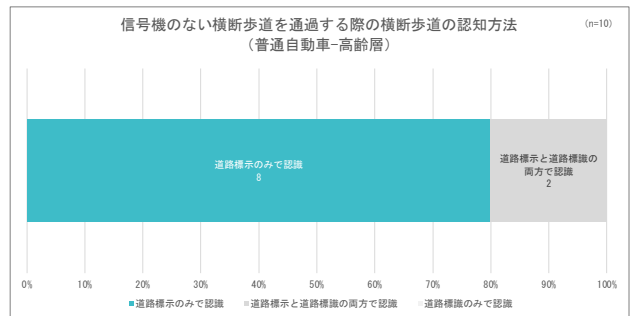
<普通自動車>



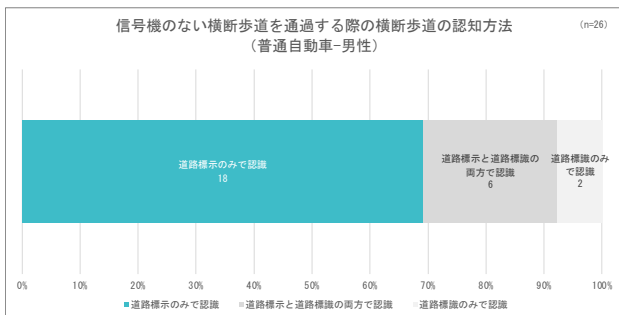
<大型貨物車>



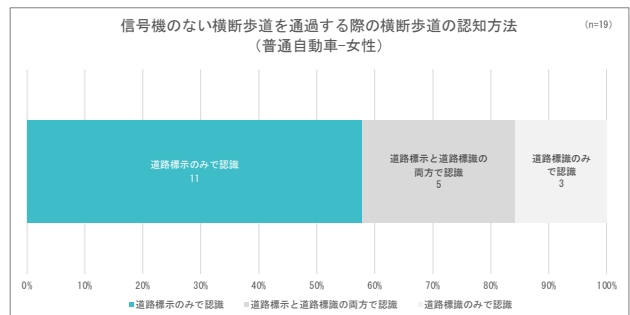
<普通自動車-非高齢層>



<普通自動車-高齢層>

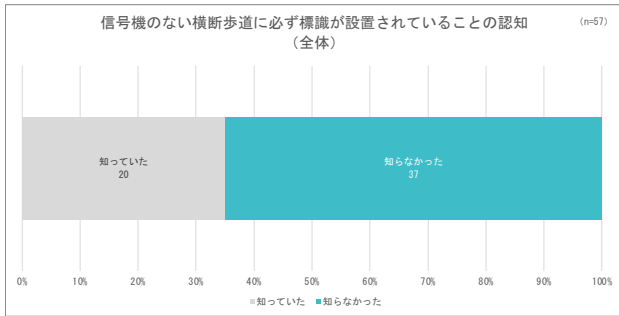


<普通自動車-男性>

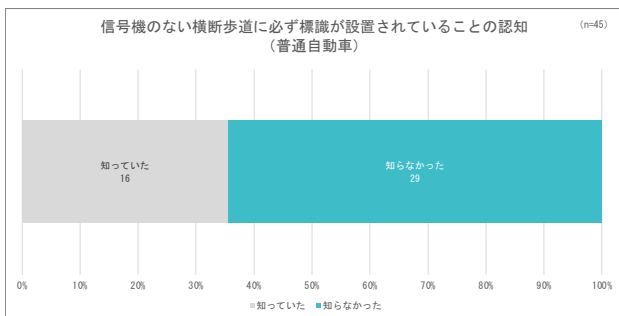


<普通自動車-女性>

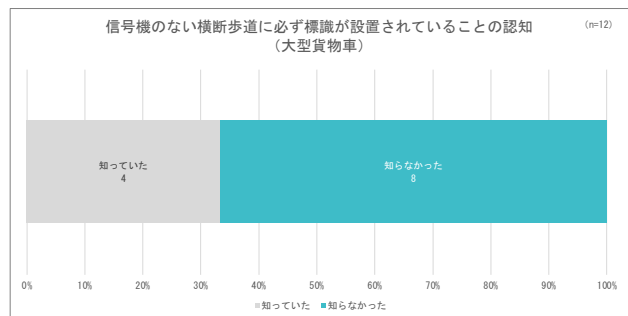
●信号機のない横断歩道に必ず標識が設置されていることの認知（問5）



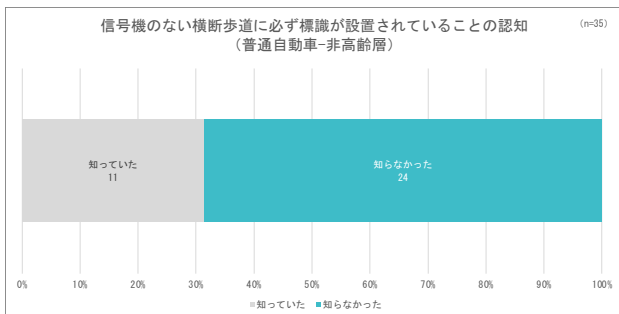
<全体>



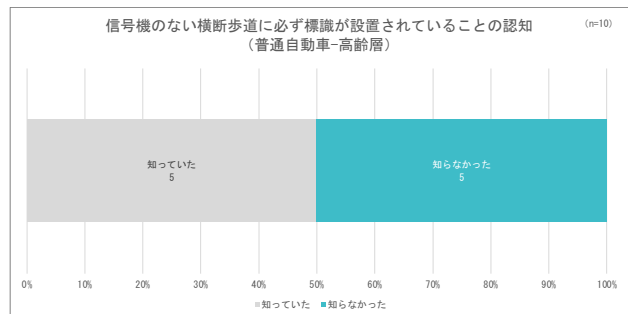
<普通自動車>



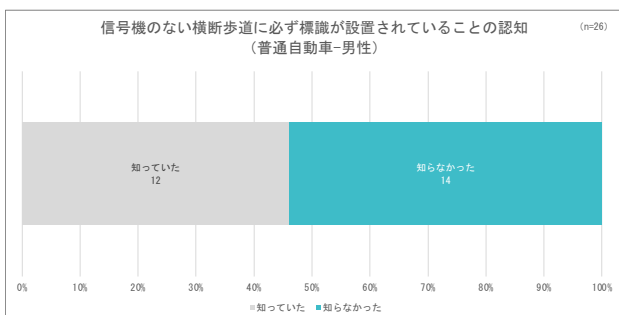
<大型貨物車>



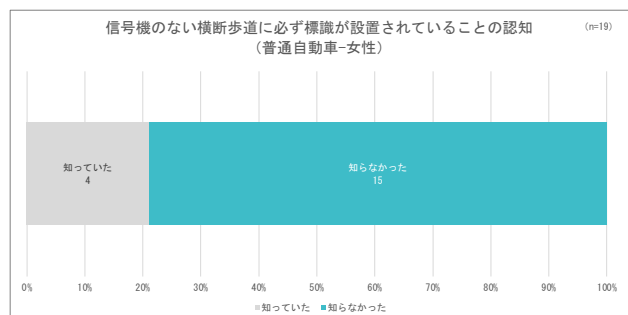
<普通自動車-非高齢層>



<普通自動車-高齢層>



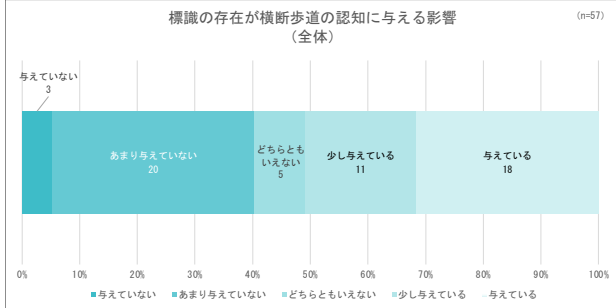
<普通自動車-男性>



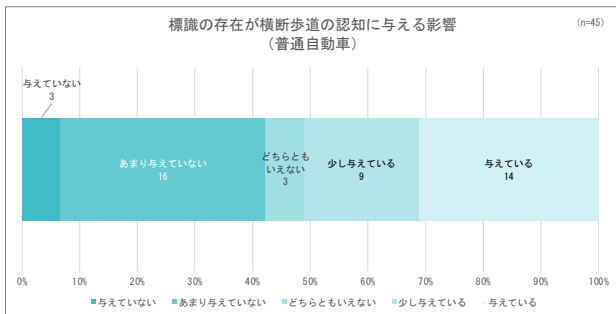
<普通自動車-女性>



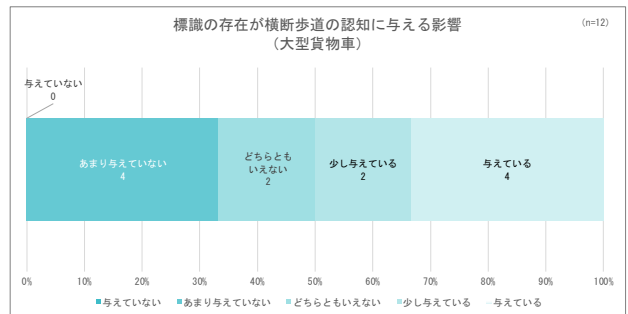
●標識の存在が横断歩道の認知に与える影響（問6）



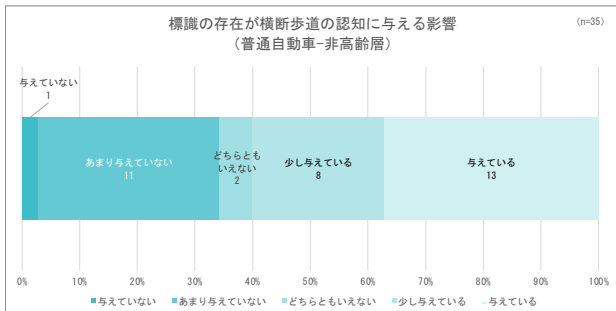
<全体>



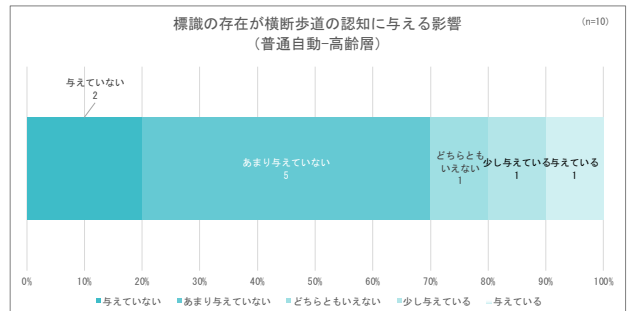
<普通自動車>



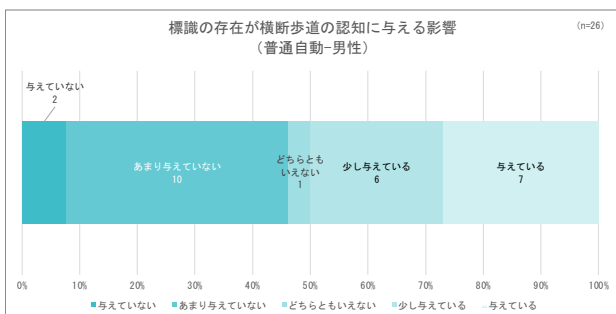
<大型貨物車>



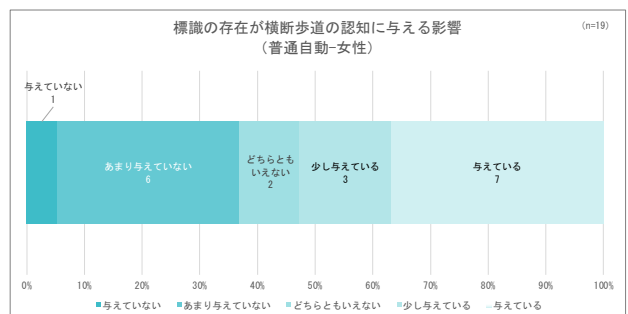
<普通自動車-非高齢層>



<普通自動車-高齢層>

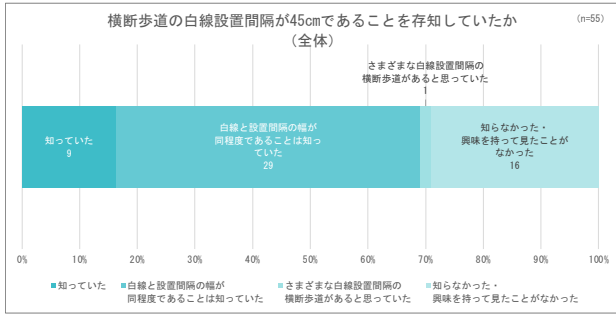


<普通自動車-男性>

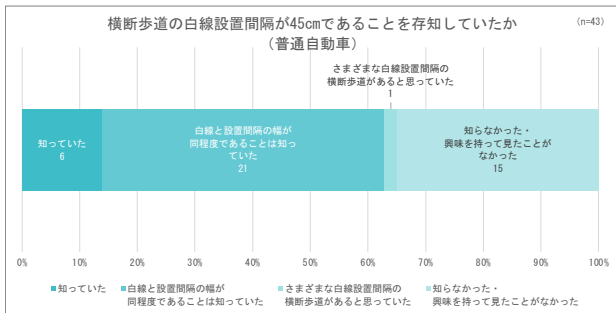


<普通自動車-女性>

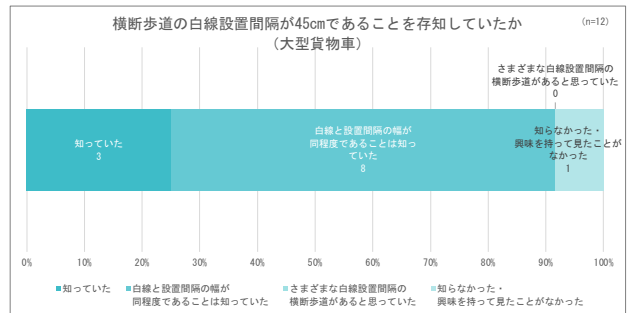
●横断歩道の白線設置間隔が45cmであることを存知していたか（問8）



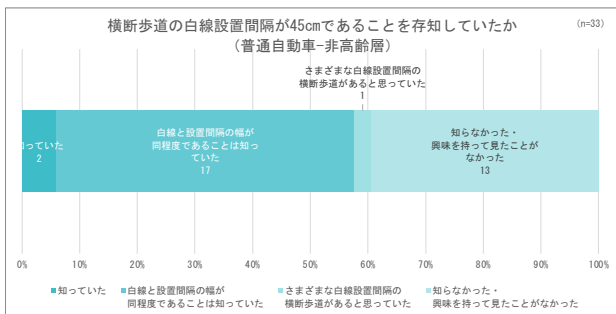
<全体>



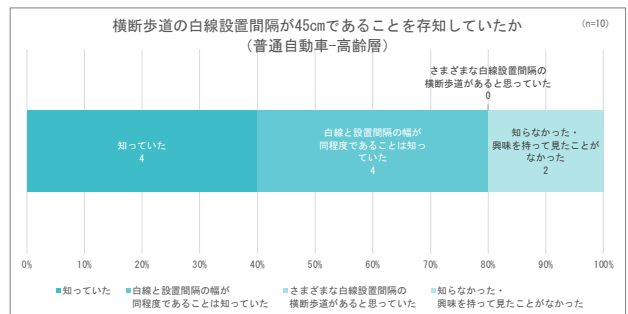
<普通自動車>



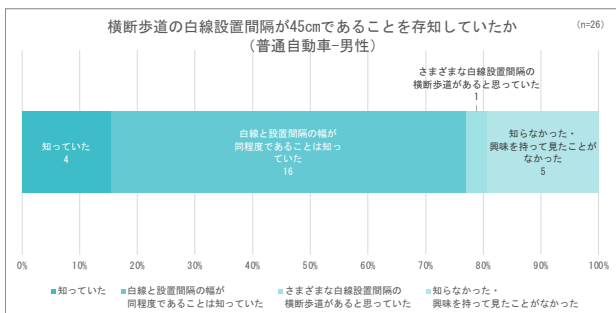
<大型貨物車>



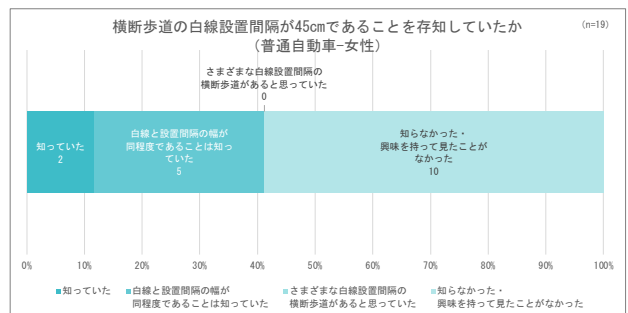
<普通自動車-非高齢層>



<普通自動車-高齢層>

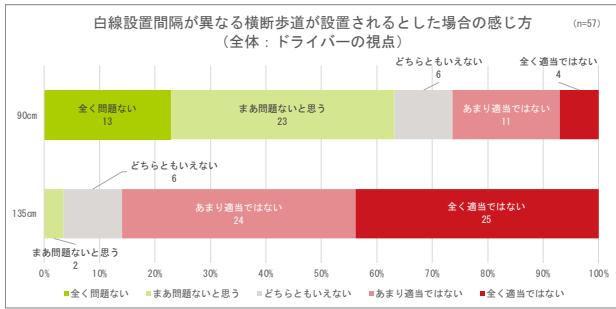


<普通自動車-男性>

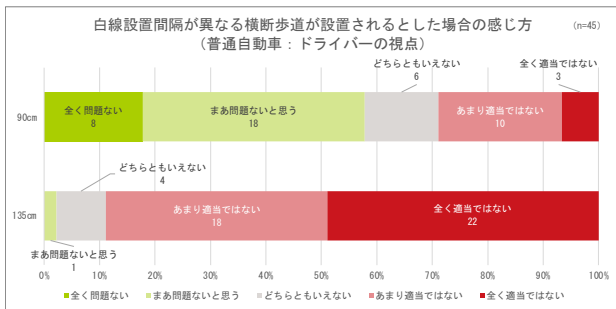


<普通自動車-女性>

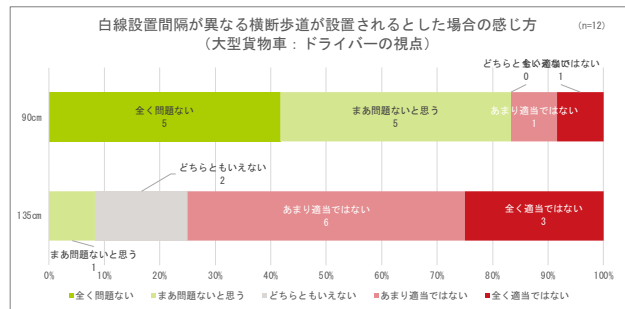
## ●白線設置間隔が異なる横断歩道が設置されとした場合の感じ方（問9）



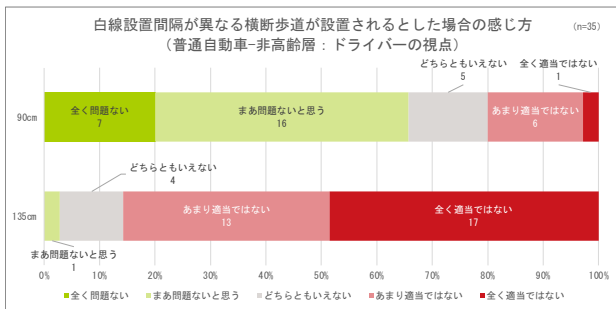
<全体>



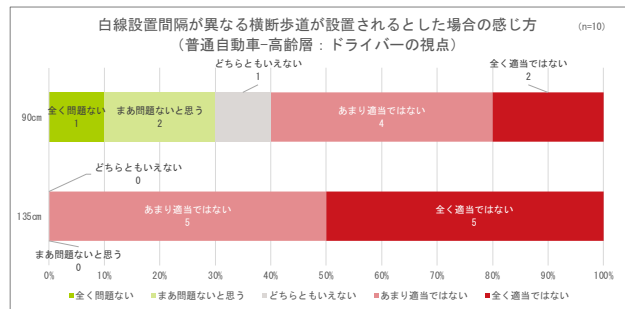
<普通自動車>



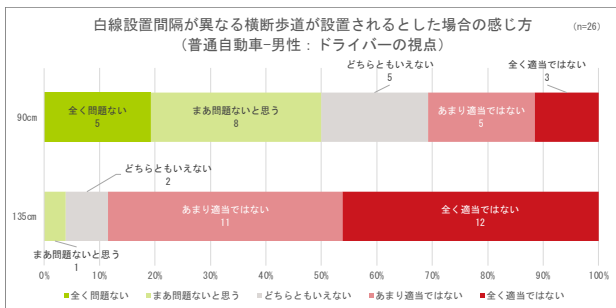
<大型貨物車>



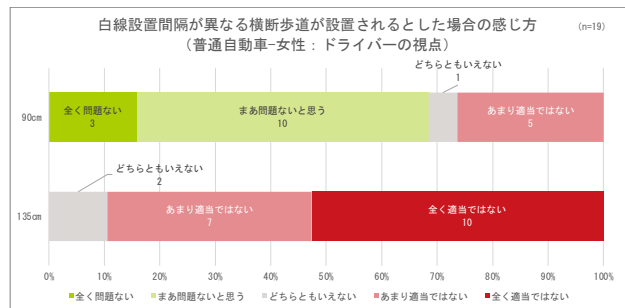
<普通自動車-非高齢層>



<普通自動車-高齢層>

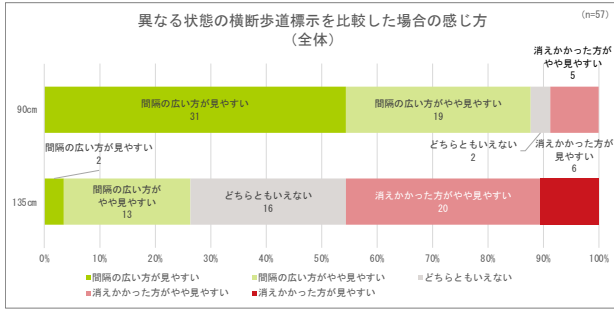


<普通自動車-男性>

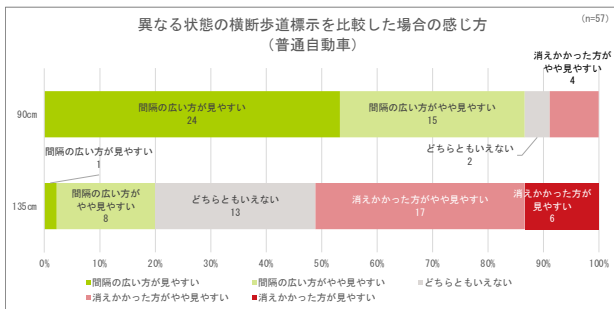


<普通自動車-女性>

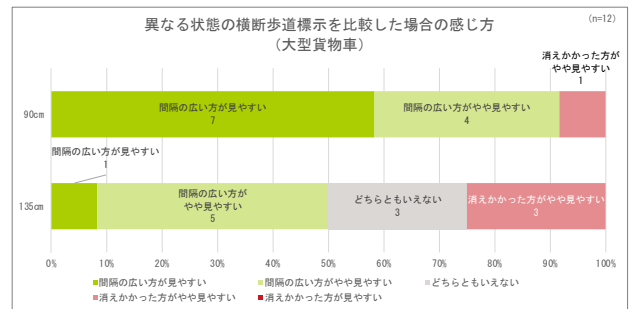
●異なる状態の横断歩道標示を比較した場合の感じ方（問10）



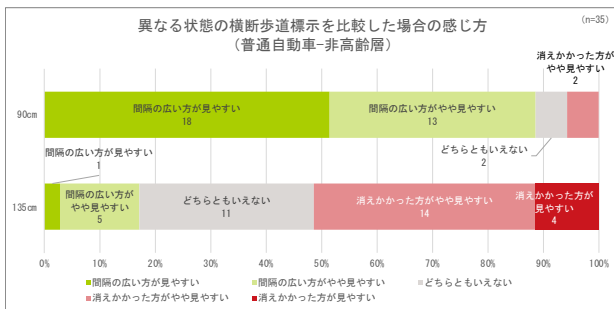
<全体>



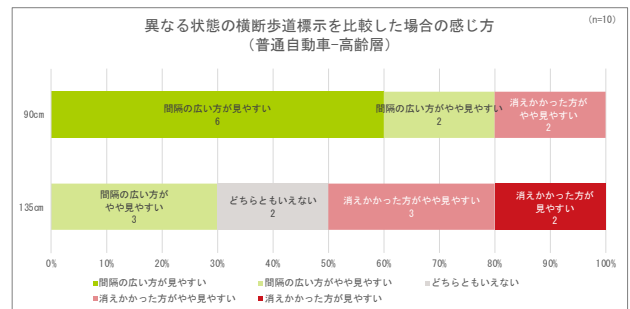
<普通自動車>



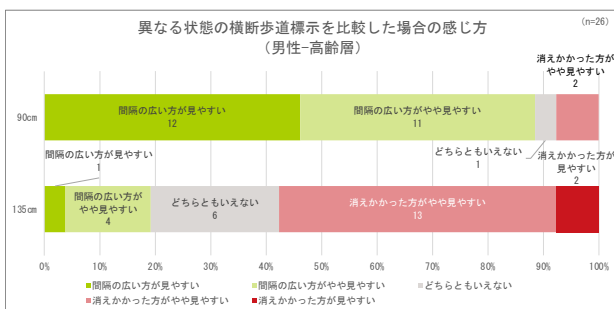
<大型貨物車>



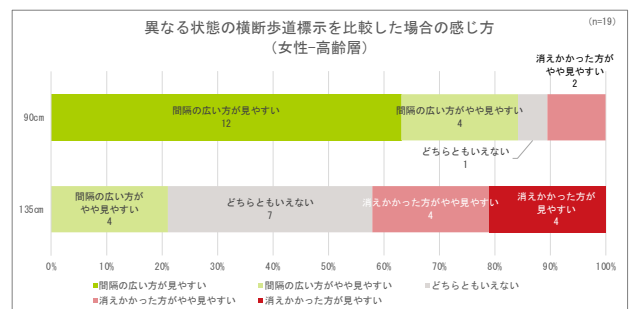
<普通自動車-非高齢層>



<普通自動車-高齢層>



<普通自動車-男性>



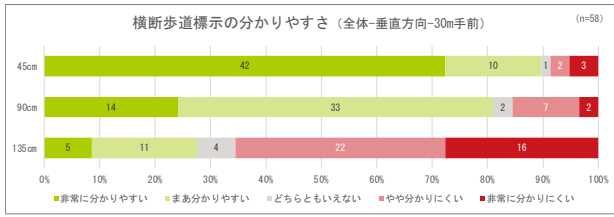
<普通自動車-女性>

# 卷 末 資 料 7

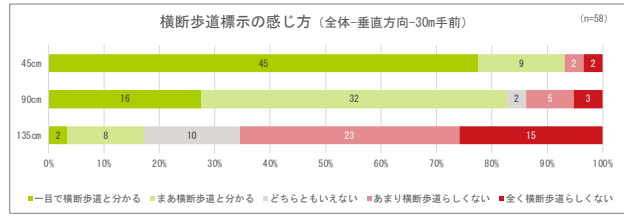
歩行者からの視認性等の検証（実験2）の結果

## 横断歩道標示の分かりやすさ（垂直方向から見た場合）（問1-1～問1-3）

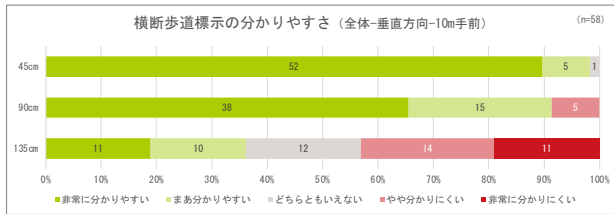
### <全体の実験結果の比較>



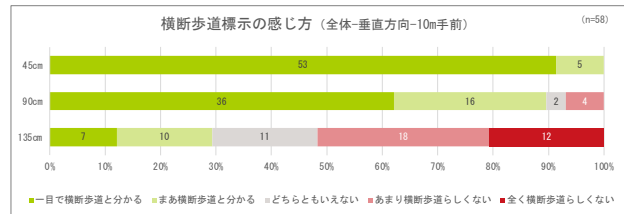
<全体-垂直方向-30m手前>



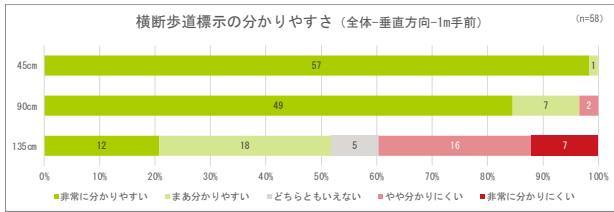
<全体-垂直方向-30m手前>



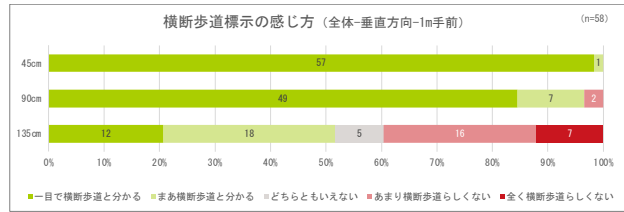
<全体-垂直方向-10m手前>



<全体-垂直方向-10m手前>



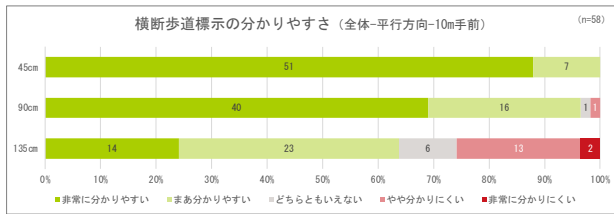
<全体-垂直方向-1m手前>



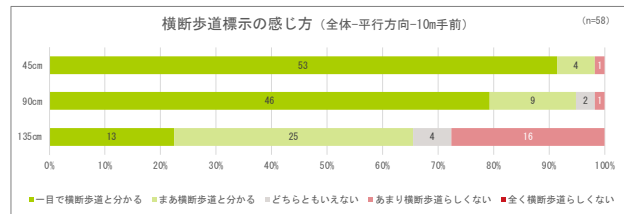
<全体-垂直方向-1m手前>

## 横断歩道標示の分かりやすさと渡りやすさ（平行方向から見た場合）（問1-1～問1-3）

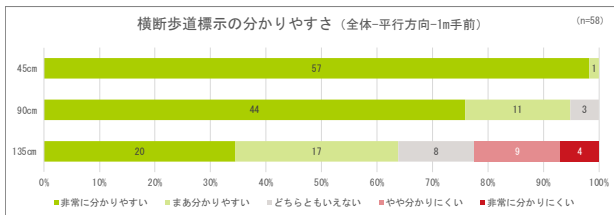
### <全体の実験結果の比較>



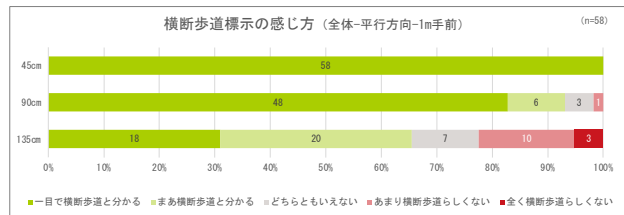
<全体-平行方向-10m手前>



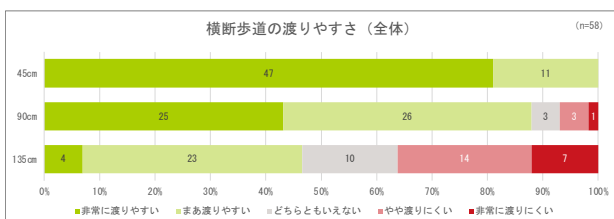
<全体-平行方向-10m手前>



<全体-平行方向-1m手前>



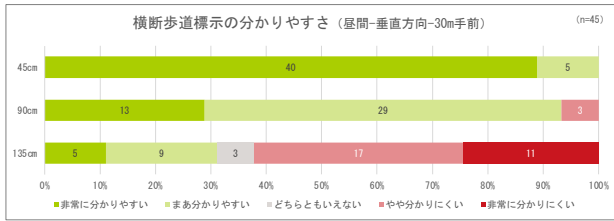
<全体-平行方向-1m手前>



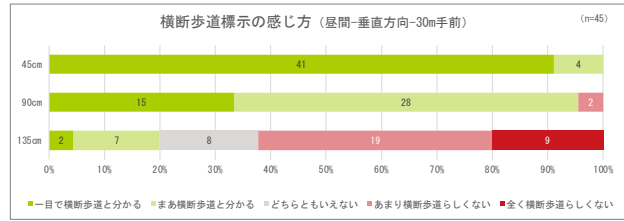
<全体-渡りやすさ>

## 横断歩道標示の分かりやすさ（垂直方向から見た場合）（問1-1～問1-3）

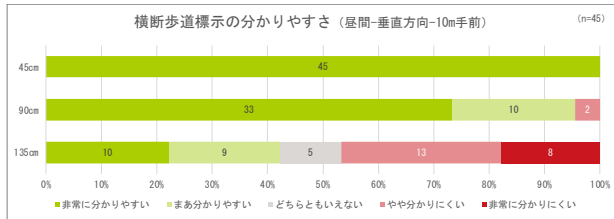
### <昼間の実験結果の比較>



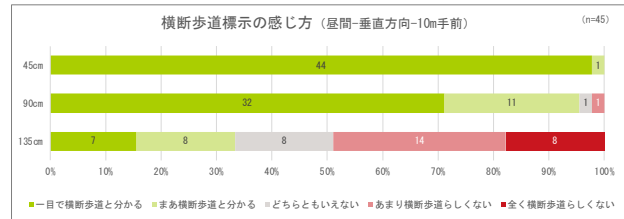
#### <昼間-垂直方向-30m手前>



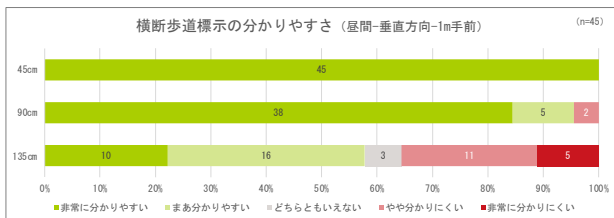
#### <昼間-垂直方向-30m手前>



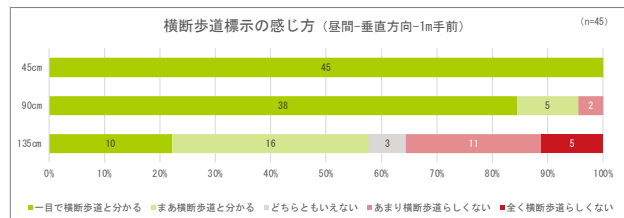
#### <昼間-垂直方向-10m手前>



#### <昼間-垂直方向-10m手前>



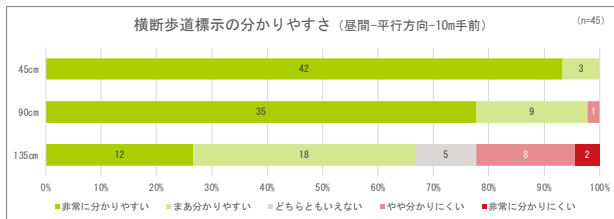
#### <昼間-垂直方向-1m手前>



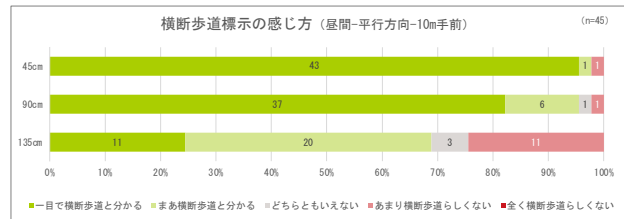
#### <昼間-垂直方向-1m手前>

## 横断歩道標示の分かりやすさと渡りやすさ（平行方向から見た場合）（問1-1～問1-3）

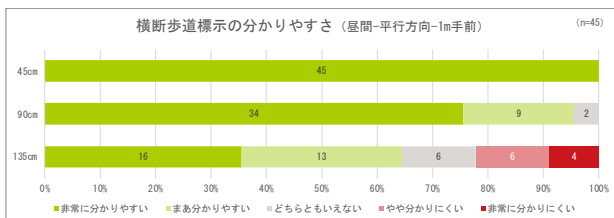
### <昼間の実験結果の比較>



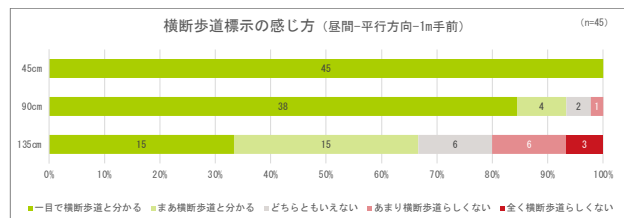
#### <昼間-平行方向-10m手前>



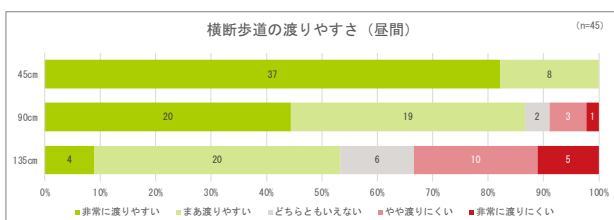
#### <昼間-平行方向-10m手前>



#### <昼間-平行方向-1m手前>



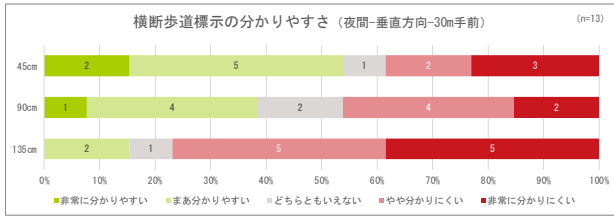
#### <昼間-平行方向-1m手前>



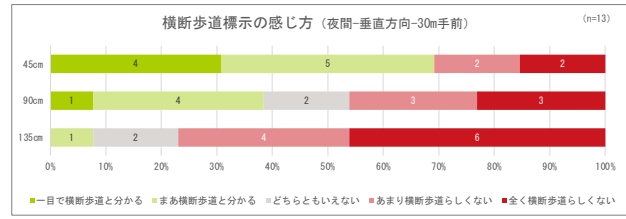
#### <昼間-渡りやすさ>

## 横断歩道標示の分かりやすさ（垂直方向から見た場合）（問1-1～問1-3）

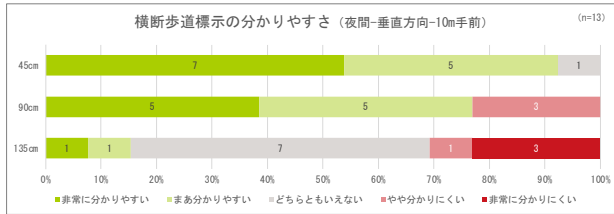
### ＜夜間の実験結果の比較＞



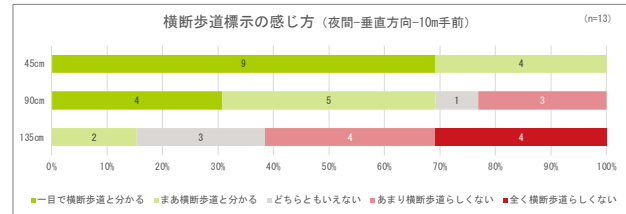
＜夜間-垂直方向-30m手前＞



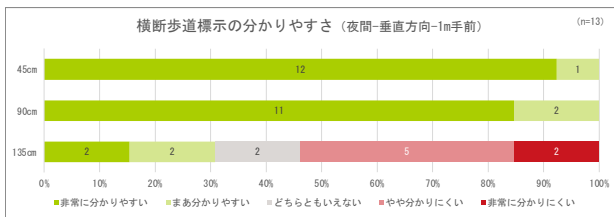
＜夜間-垂直方向-30m手前＞



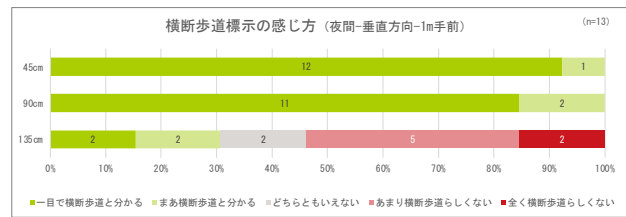
＜夜間-垂直方向-10m手前＞



＜夜間-垂直方向-10m手前＞



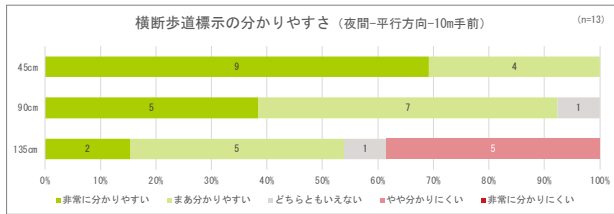
＜夜間-垂直方向-1m手前＞



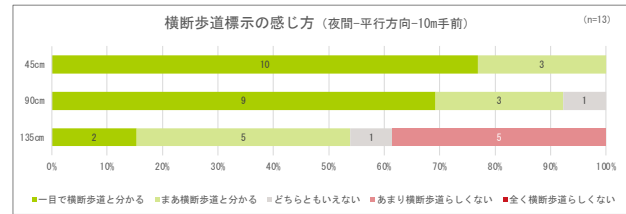
＜夜間-垂直方向-1m手前＞

## 横断歩道標示の分かりやすさと渡りやすさ（平行方向から見た場合）（問1-1～問1-3）

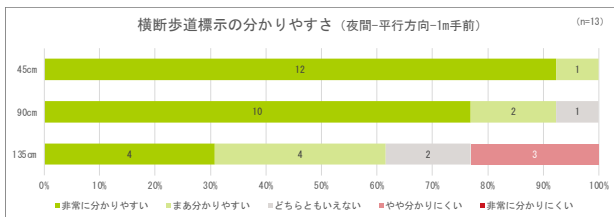
### ＜夜間の実験結果の比較＞



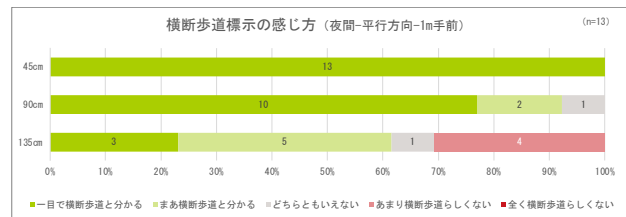
＜夜間-平行方向-10m手前＞



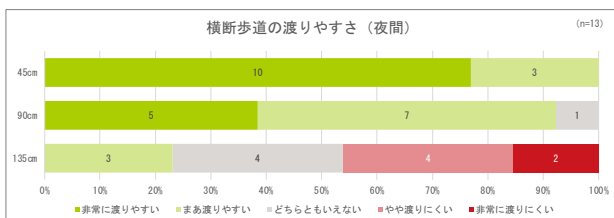
＜夜間-平行方向-10m手前＞



＜夜間-平行方向-1m手前＞



＜夜間-平行方向-1m手前＞

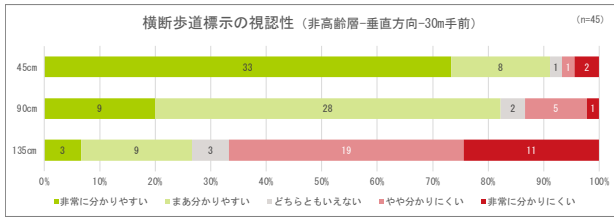


＜夜間-渡りやすさ＞

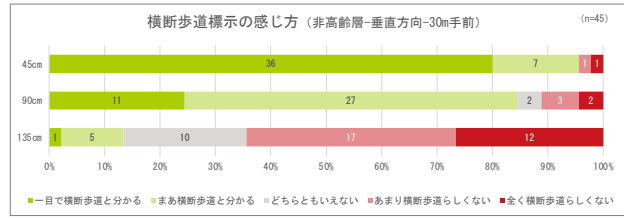


## 横断歩道標示の分かりやすさ（垂直方向から見た場合）（問1-1～問1-3）

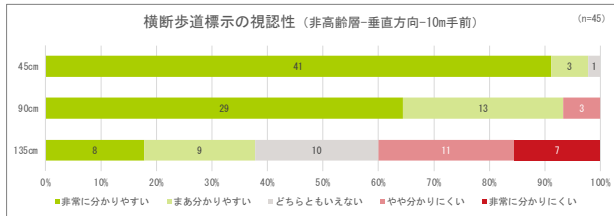
### <非高齢層の実験結果の比較>



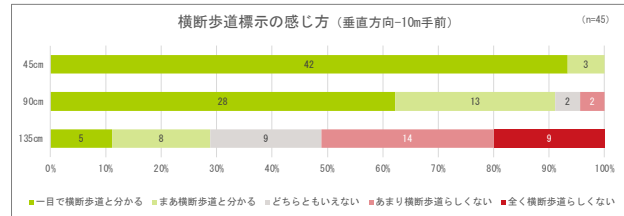
<非高齢層-垂直方向-30m手前>



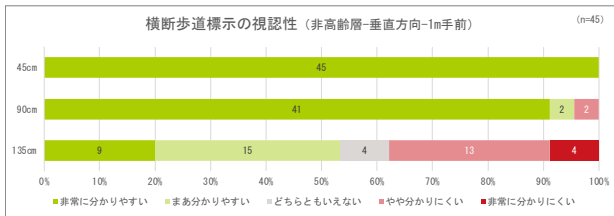
<非高齢層-垂直方向-30m手前>



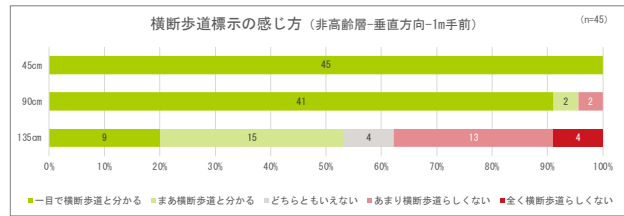
<非高齢層-垂直方向-10m手前>



<非高齢層-垂直方向-10m手前>



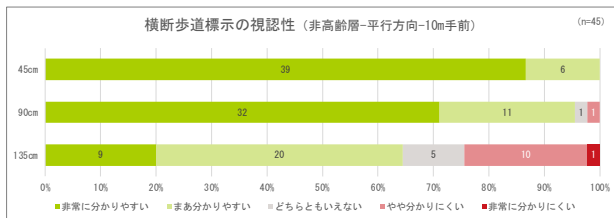
<非高齢層-垂直方向-1m手前>



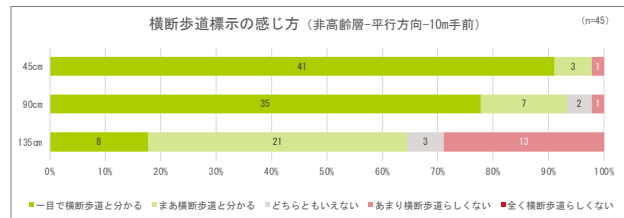
<非高齢層-垂直方向-1m手前>

## 横断歩道標示の分かりやすさと渡りやすさ（平行方向から見た場合）（問1-1～問1-3）

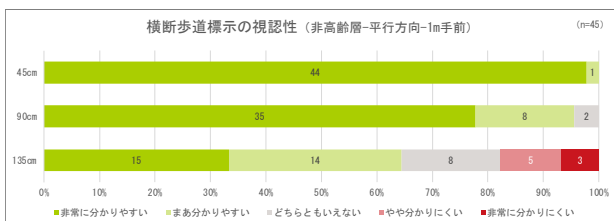
### <非高齢層の実験結果の比較>



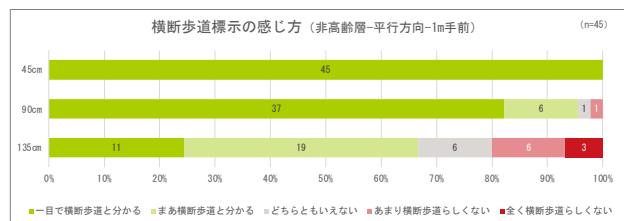
<非高齢層-平行方向-10m手前>



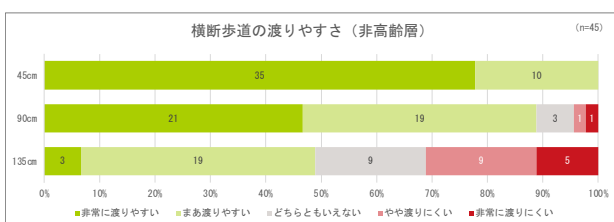
<非高齢層-平行方向-10m手前>



<非高齢層-平行方向-1m手前>



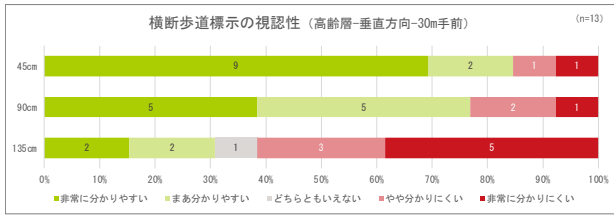
<非高齢層-平行方向-1m手前>



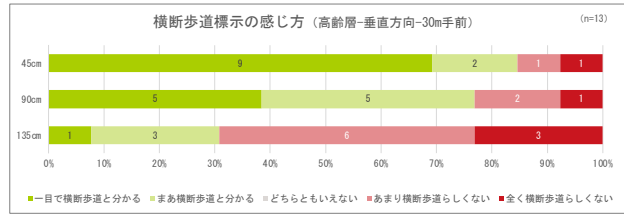
<非高齢層-渡りやすさ>

## 横断歩道標示の分かりやすさ（垂直方向から見た場合）（問1-1～問1-3）

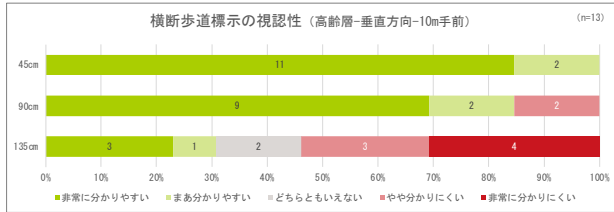
### <高齢層の実験結果の比較>



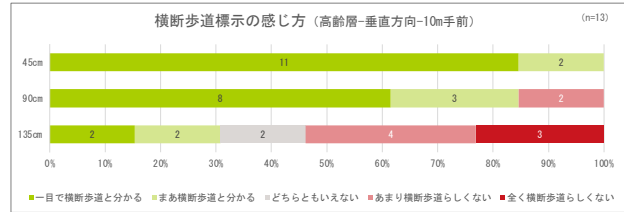
<高齢層-垂直方向-30m手前>



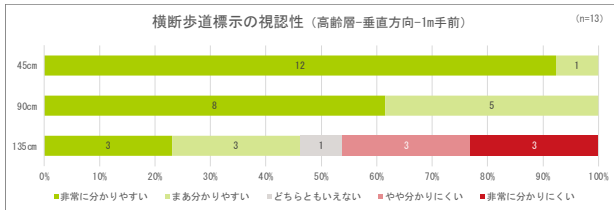
<高齢層-垂直方向-30m手前>



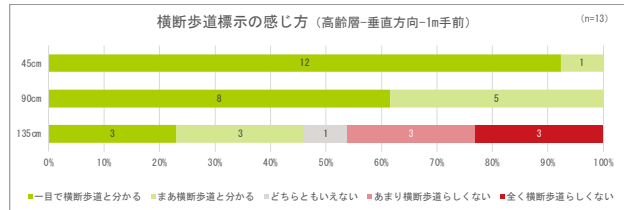
<高齢層-垂直方向-10m手前>



<高齢層-垂直方向-10m手前>



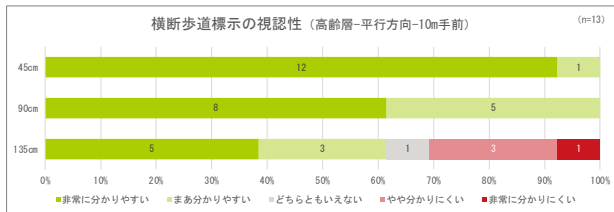
<高齢層-垂直方向-1m手前>



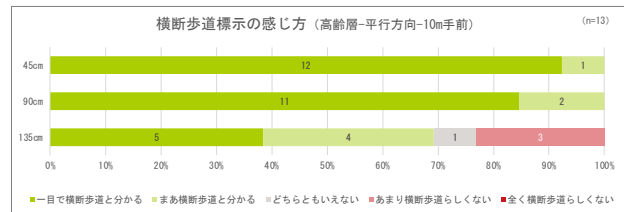
<高齢層-垂直方向-1m手前>

## 横断歩道標示の分かりやすさと渡りやすさ（平行方向から見た場合）（問1-1～問1-3）

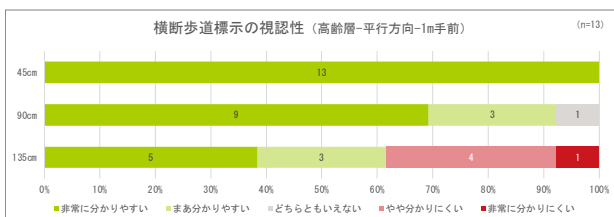
### <高齢層の実験結果の比較>



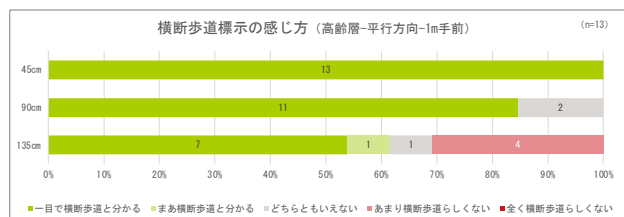
<高齢層-平行方向-10m手前>



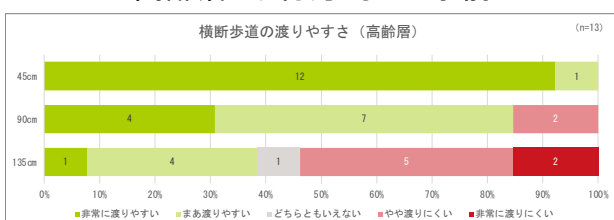
<高齢層-平行方向-10m手前>



<高齢層-平行方向-1m手前>



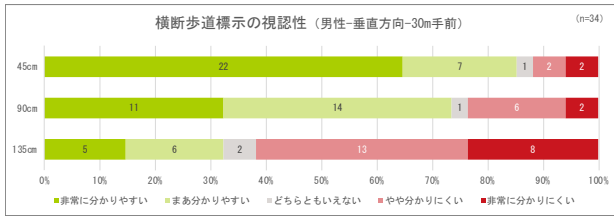
<高齢層-平行方向-1m手前>



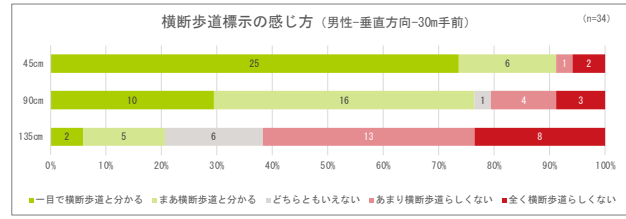
<高齢層-渡りやすさ>

## 横断歩道標示の分かりやすさ（垂直方向から見た場合）（問1-1～問1-3）

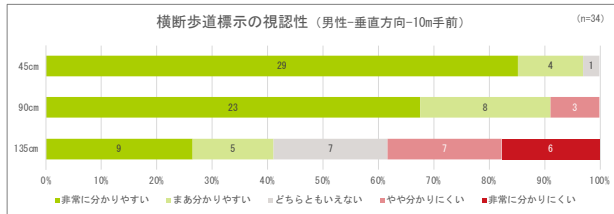
### ＜男性の実験結果の比較＞



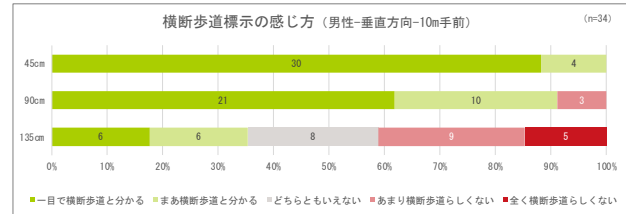
＜男性-垂直方向-30m手前＞



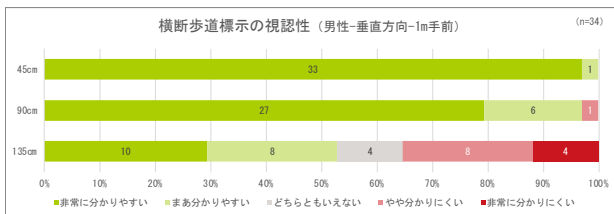
＜男性-垂直方向-30m手前＞



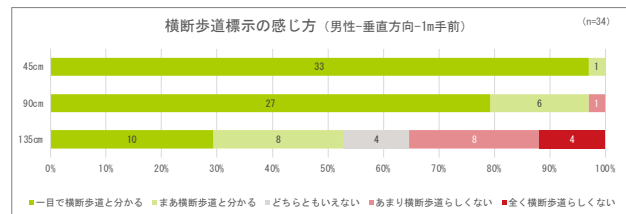
＜男性-垂直方向-10m手前＞



＜男性-垂直方向-10m手前＞



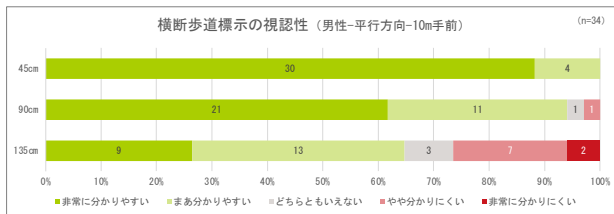
＜男性-垂直方向-1m手前＞



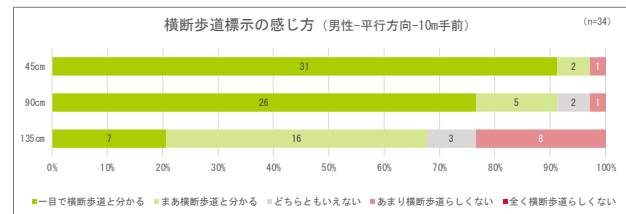
＜男性-垂直方向-1m手前＞

## 横断歩道標示の分かりやすさと渡りやすさ（平行方向から見た場合）（問1-1～問1-3）

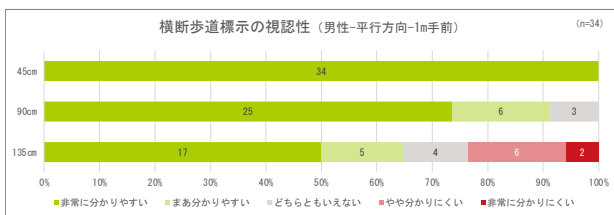
### ＜男性の実験結果の比較＞



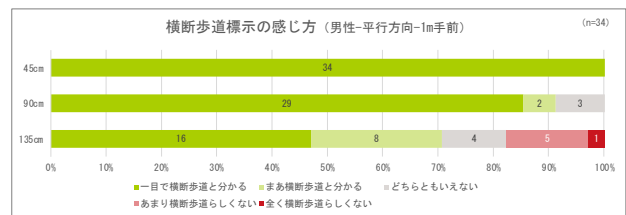
＜男性-平行方向-10m手前＞



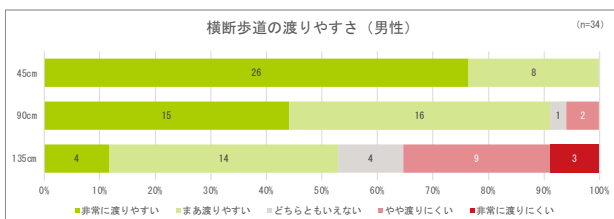
＜男性-平行方向-10m手前＞



＜男性-平行方向-1m手前＞



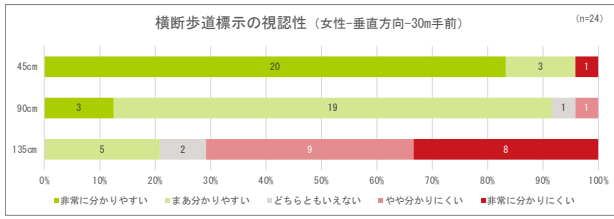
＜男性-平行方向-1m手前＞



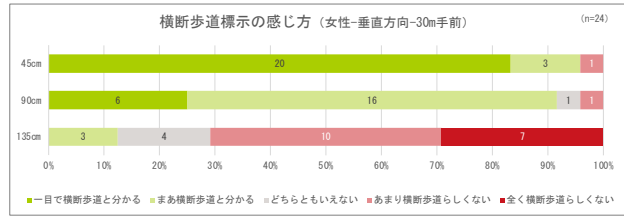
＜男性-渡りやすさ＞

## 横断歩道標示の分かりやすさ（垂直方向から見た場合）（問1-1～問1-3）

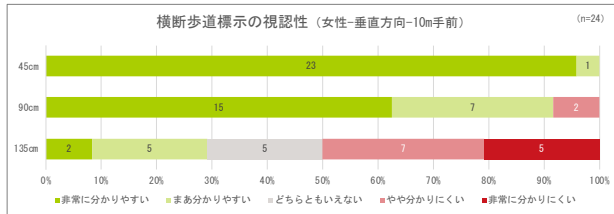
### ＜女性の実験結果の比較＞



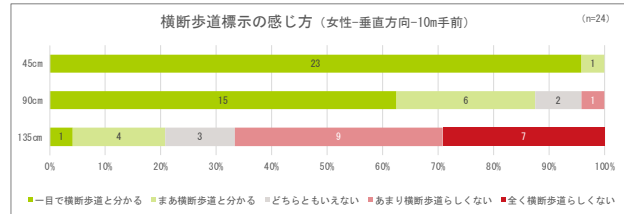
＜女性-垂直方向-30m手前＞



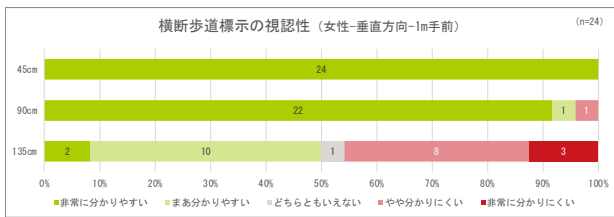
＜女性-垂直方向-30m手前＞



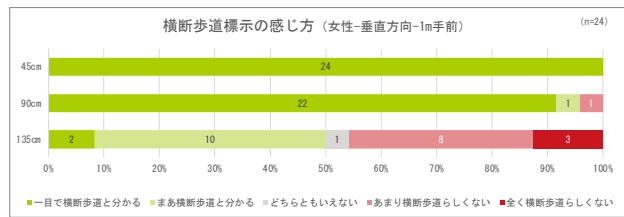
＜女性-垂直方向-10m手前＞



＜女性-垂直方向-10m手前＞



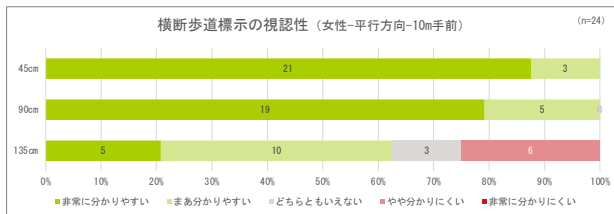
＜女性-垂直方向-1m手前＞



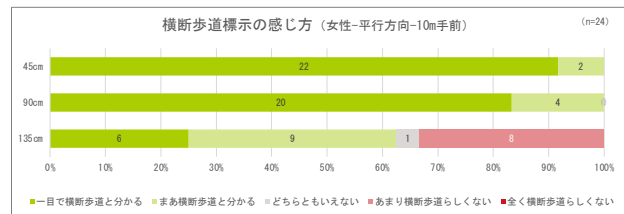
＜女性-垂直方向-1m手前＞

## 横断歩道標示の分かりやすさと渡りやすさ（平行方向から見た場合）（問1-1～問1-3）

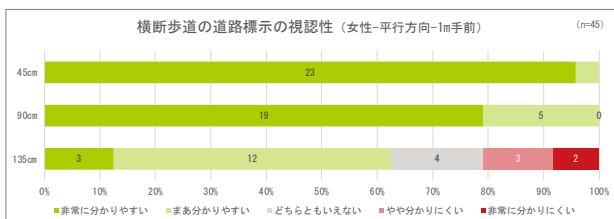
### ＜女性の実験結果の比較＞



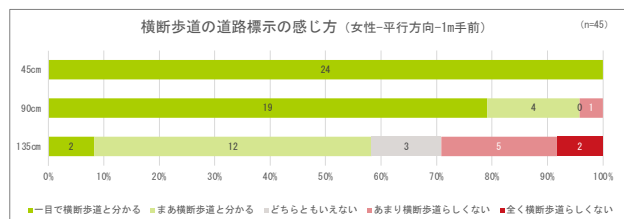
＜女性-平行方向-10m手前＞



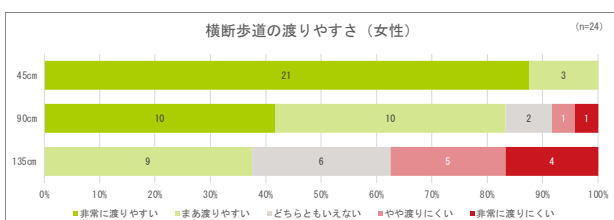
＜女性-平行方向-10m手前＞



＜女性-平行方向-1m手前＞



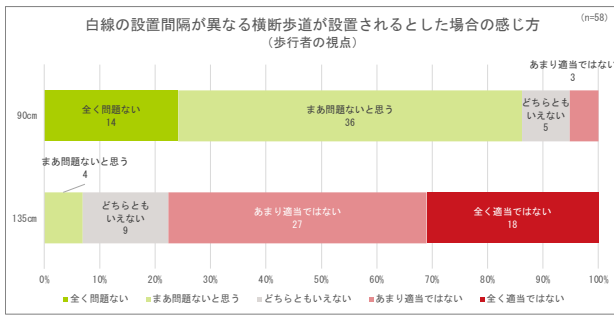
＜女性-平行方向-1m手前＞



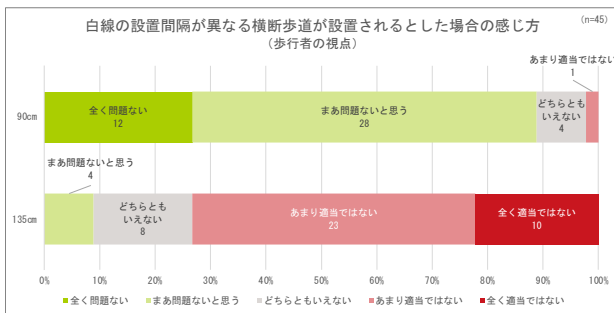
＜女性-渡りやすさ＞

## その他の設問

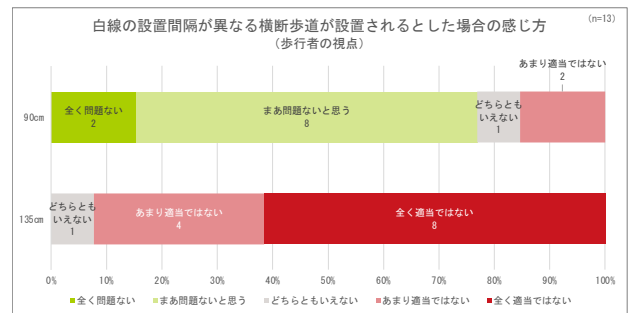
### ●白線設置間隔が異なる横断歩道が設置されとした場合の感じ方（問2）



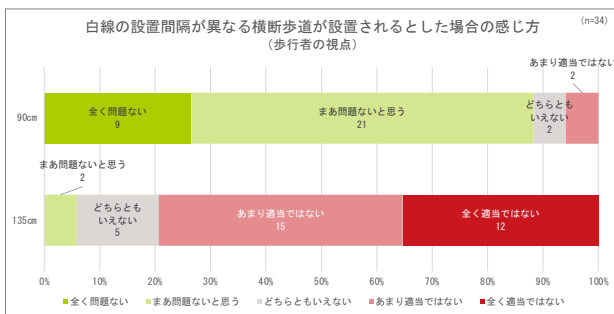
<全体>



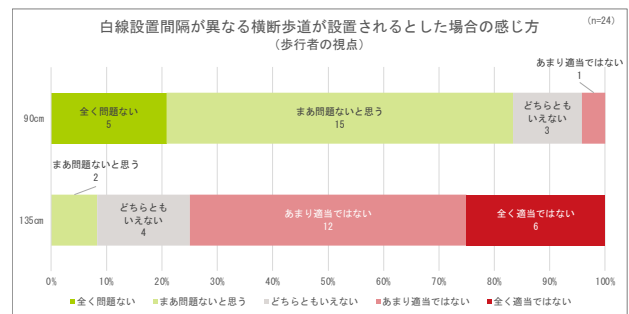
<非高齢層>



<高齢層>



<男性>



<女性>



# 巻末資料 8

横断歩道標示の見え方の違い

走行する車両と横断歩道標示の位置関係

## 横断歩道標示の見え方の違い（ドライバーの視点）

＜普通自動車：50m 手前＞



＜白線設置間隔：45cm＞



＜白線設置間隔：90cm＞



＜白線設置間隔：135cm＞

＜大型貨物車：50m 手前＞



＜白線設置間隔：45cm＞



＜白線設置間隔：90cm＞



＜白線設置間隔：135cm＞

## 横断歩道標示の見え方の違い（ドライバーの視点）

＜普通自動車：30m 手前＞



＜白線設置間隔：45cm＞



＜白線設置間隔：90cm＞



＜白線設置間隔：135cm＞

＜大型貨物車：30m 手前＞



＜白線設置間隔：45cm＞



＜白線設置間隔：90cm＞



＜白線設置間隔：135cm＞



## 横断歩道標示の見え方の違い（歩行者の視点）

<垂直方向：30m 手前>



<白線設置間隔：45cm>



<白線設置間隔：90cm>



<白線設置間隔：135cm>

<垂直方向：10m 手前>



<白線設置間隔：45cm>



<白線設置間隔：90cm>



<白線設置間隔：135cm>

## 横断歩道標示の見え方の違い（歩行者の視点）

<平行方向：10m 手前>



<白線設置間隔：45cm>



<白線設置間隔：90cm>



<白線設置間隔：135cm>

<平行方向：1m 手前>



<白線設置間隔：45cm>



<白線設置間隔：90cm>



<白線設置間隔：135cm>

## 走行する車両と横断歩道標示の位置関係

### <普通自動車>



<白線設置間隔：45cm>



<白線設置間隔：90cm>



<白線設置間隔：135cm>

### <大型貨物車>



<白線設置間隔：45cm>



<白線設置間隔：90cm>



<白線設置間隔：135cm>

# 巻末資料 9

分かりやすい横断歩道標示の施工について

## ■分かりやすい横断歩道標示の施工について

ここでは、本調査研究においては究明されていないが、横断歩道の安全性向上やコスト縮減につながると思われた見解についてまとめて記載する。

### ○横断歩道標示の白線はセンターラインや外側線等と分離させる

実験中、白線設置間隔が 135 cmの横断歩道について、横断歩道の白線とセンターラインの白線がつながり一体化していたため、横断歩道として認識できなかったという意見があった。今回の横断歩道の設置方法は、センターに白線を設置することを基準としていたため、白線は3本となっており、中央の白線が一体化して視認が困難になると、各車線に1本の白線が存在するのみとなり見落としが発生しやすくなると想定される。

これを防ぐためには、横断歩道の手前でセンターラインを止めておくことや、横断歩道の白線がセンターに来ないように調整することが考えられる。



＜図 実験で設置した白線設置間隔 135cm の横断歩道＞

### ○横断歩道標示の白線の本数を多くする

横断歩道標示の設置方法については、白線の設置間隔が 45～50cm であること、他に道路に対して垂直に白線を設置すること等が取り決められているが、どの位置を基準に白線を設置していくかは定められていない。道路幅員と白線設置間隔が同一であったとしても、やり方によっては白線本数が1本程度の増減が発生する。本実験では、視認性について悪い条件になるように白線を設置したため、白線設置間隔が 135 cmの横断歩道標示は白線が3本になっていたが、道路端を基準とすることで白線を4本とすることも可能であった。実験参加者から

も白線が4本であったら白線設置間隔が135cmでも問題なかったのではないかという意見も聞かれた。そのため、コスト縮減よりも視認性を重視する場合は、白線が多くなるように設置方法を検討することが有効かと考えられる。



<図 白線設置間隔が135cmで白線3本の横断歩道（左）と白線4本の横断歩道（右）>

#### ○停止線の視認性を向上させる

横断歩道標示の直前に設置される停止線の視認性を向上させることで、横断歩道の認知性が向上することも考えられる。停止線の幅は「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令」にて30～45cmとされているが、横断歩道の白線設置間隔を広げる場合は、停止線を太くすることも考えられる\*。

※ 道路標識、区画線及び道路標示に関する命令の別表第六の備考 二では、「道路標示の大きさは、図示の寸法（その単位はメートルとする。）を基準とする。ただし、設計速度が六十キロメートル毎時以上の道路に設置する場合又は道路の形状、交通の状況若しくは駐車する車両の態様により特別の必要がある場合には、図示の寸法を拡大し、又は縮小することができる」とされている。

#### ■横断歩道標示のコスト縮減方法について

##### ○横断歩道標示の白線の長さを短くする

横断歩道の白線の長さは原則4m以上とされているが、やむを得ない場合は3mを限度に短くすることは可能である。また、歩道との連続性を保つ場合はこの限りではないとされている。そのため、現地状況が許すのであれば、白線の長さが4m未満の横断歩道を設置することも可能であり、実際に3m程度の横断歩道標示が採用されているケースもある。

### ○タイヤ通過部分を避けての白線設置

白線の摩滅は、主に車両が白線上を通過することで進行していく。そのため、特にトラック等のタイヤが通過する位置を外して白線を設置することで、横断歩道標示の摩滅の進行を抑えることが可能になると考えられる。

### ○耐久性のある白線塗料の採用

横断歩道標示の白線の塗料には高輝度のものや滑り止めの機能のあるもの等、様々な製品がある。通常の水線塗料よりも高耐久の塗料も開発されており、それらを使用することで当初の工事費用は割高となるが、ライフサイクルコストを低減させることが可能になると考えられる。

### ○撤去しても差し支えないと思われる場所の横断歩道標示の撤去

大きな4差路交差点等では4本の横断歩道が設置されている。一方で単路部や細街路との交差点にある横断歩道は主道路に1本の横断歩道があれば十分な場合が多いが、主道路に2本の横断歩道が設置されているケース等もある。このような場合は、現地の歩行者交通量や地元住民の意見等も考慮したうえで、1本を撤去することも可能であると思われる。

# 卷 末 資 料 10

標示工事について

# 標示工事について

## 路面標示の目的・役割

### 路面標示は交通安全施設

- 車両の通行区分の明確化
- 交通法規の遵守を援助
- 車や人の交通の流れの円滑化



**交通事故の防止・減少を図る**



## 路面標示の解説

規定標示の設置の根拠は、「道路法」及び道路交通法「交通法」などに規定される。  
その様式、設置者の区分、設置場所等は「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令」「標識令」に規定される。

標識令に規定される「区画線」と「道路標示」のほか、交通の安全と円滑の確保のために用いられる**法定外の路面標示**があり、これらを総称して**路面標示**という。

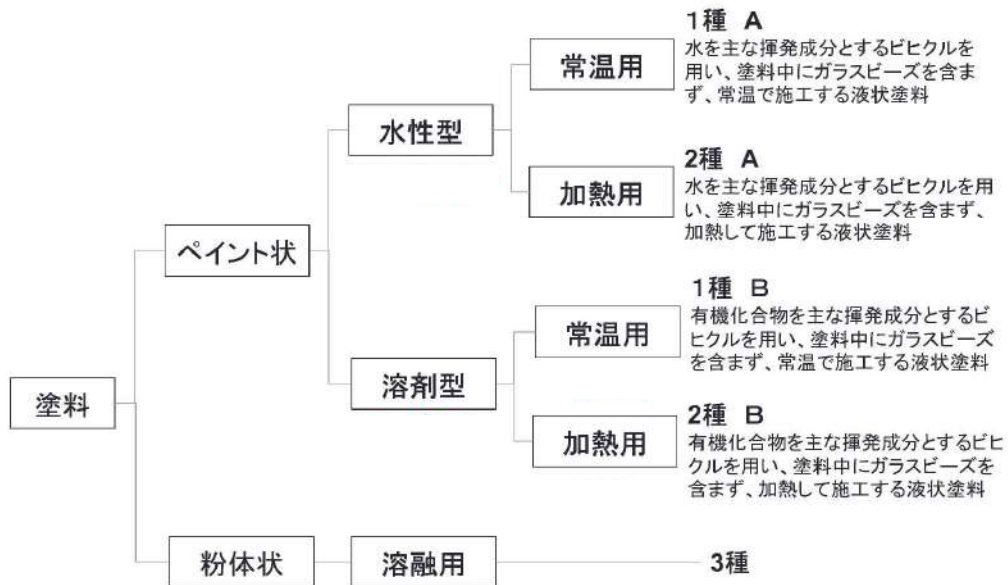
1. 「区画線」 **道路管理者**が設置する。  
(国、県、市町村、高速道路各社)  
白：中央線、外側線、境界線等
2. 「道路標示」 **都道府県公安委員会**が設置する。  
道路標示は「規制標示」と「指示標示」からなる。

規制標示黄：はみ禁、駐停車禁止等  
指示標示白：横断歩道、停止線等

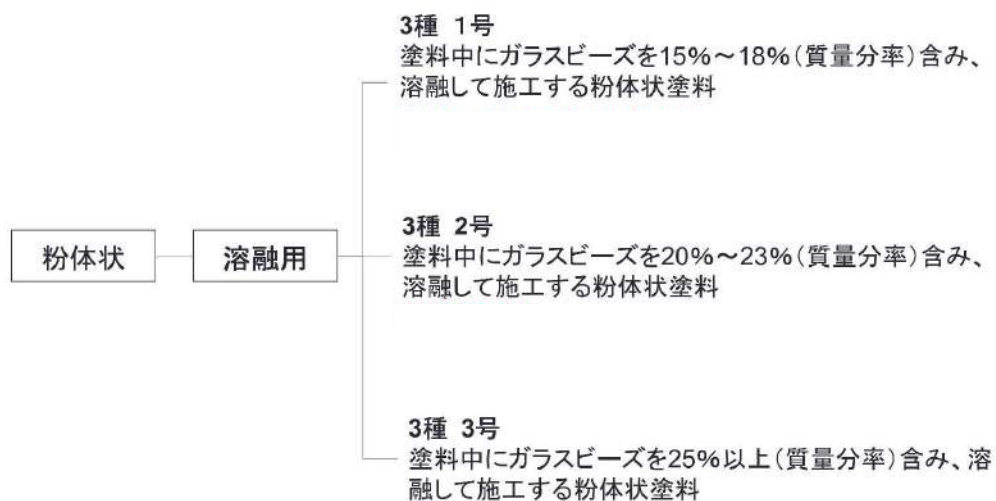
## 路面標示用材料について



## 路面標示用塗料の分類(JIS K 5665 1・2種)



## 路面標示用塗料の分類(JIS K 5665 3種)



## 施工方法（常温 1種）

常温で使用できるペンキ  
ローラー、刷毛でも塗装可能



エアレスハンドペイントマーカ―



15cm巾施工



45cm巾施工

乾燥性が悪い（5分から15分程度）

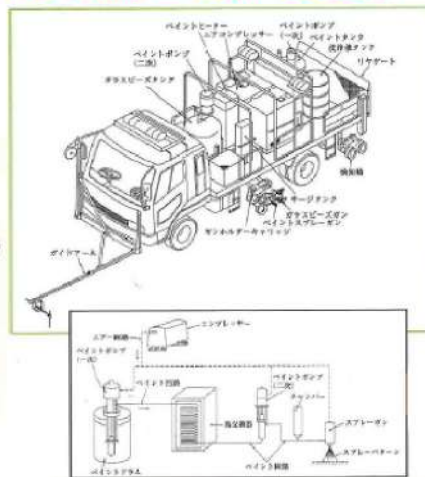
## 施工方法（加熱 2種）

塗料の粘度が高いため熱交換機を通して50～80℃  
に加熱して塗装するため、専用の施工機が必要。

暖めると：粘度が下がる  
（溶剤が少なくても塗装できる）  
→塗膜を厚くできる



常温式（塗料を加熱しない）も施工可能



## 施工方法（加熱2種）



塗布パターン



## 施工方法（溶融3種）

熱可塑性であるため粉体を  
180～220℃に溶融して施工する。



- " 乾燥性が非常に早く交通開放ができる。
- " 作業車に搭載した溶解槽で塗料を攪拌しながら加熱溶融する。

## 施工方法（溶融3種）

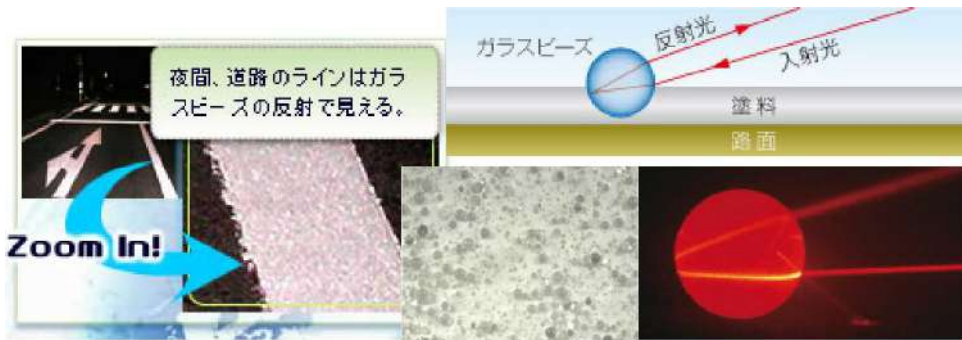


" 下地処理としてプライマー（接着剤）を使用する。

## 施工方法（溶融3種）



## ガラスビーズ (JIS R 3301 1号)



ガラスビーズは、入射光を光源の方向へと返す“光の再帰反射特性”を持っています。  
 車の夜間走行において、路面の塗料に埋め込まれたガラスビーズにヘッドライトの光が入ると、その光はドライバーへと効率よく戻っていきます。そのため、路面標示が発光しているかのように鮮明に見えるのです。

## 路面標示消去



## 作図



## 車間確認標示施工



## 車線境界線施工



## 車道外側線施工





# 卷 末 資 料 11

関連法令等

## ○道路交通法（抜粋）

（定義）

第二条 この法律において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

一～三 （略）

四 横断歩道 道路標識又は道路標示（以下「道路標識等」という。）により歩行者の横断の用に供するための場所であることが示されている道路の部分という。

四の二 自転車横断帯 道路標識等により自転車の横断の用に供するための場所であることが示されている道路の部分という。

五～二十三 （略）

2～3 （略）

（公安委員会の交通規制）

第四条 都道府県公安委員会（以下「公安委員会」という。）は、道路における危険を防止し、その他交通の安全と円滑を図り、又は交通公害その他の道路の交通に起因する障害を防止するため必要があると認めるときは、政令で定めるところにより、信号機又は道路標識等を設置し、及び管理して、交通整理、歩行者若しくは遠隔操作型小型車（遠隔操作により道路を通行しているものに限る。）（次条から第十三条の二までにおいて「歩行者等」という。）又は車両等の通行の禁止その他の道路における交通の規制をすることができる。この場合において、緊急を要するため道路標識等を設置するいとまがないとき、その他道路標識等による交通の規制をすることが困難であるときは、公安委員会は、その管理に属する都道府県警察の警察官の現場における指示により、道路標識等の設置及び管理による交通の規制に相当する交通の規制をすることができる。

2～5 （略）

（横断の方法）

第十二条 歩行者等は、道路を横断しようとするときは、横断歩道がある場所の付近においては、その横断歩道によつて道路を横断しなければならない。

2 歩行者等は、交差点において道路標識等により斜めに道路を横断することができることとされている場合を除き、斜めに道路を横断してはならない。

（横断の禁止の場所）

第十三条 歩行者等は、車両等の直前又は直後で道路を横断してはならない。ただし、横断歩道によつて道路を横断するとき、又は信号機の表示する信号若しくは警察官等の手信号等に従つて道路を横断するときは、この限りでない。

2 歩行者等は、道路標識等によりその横断が禁止されている道路の部分においては、道路を横断してはならない。

（横断歩道等における歩行者等の優先）

第三十八条 車両等は、横断歩道又は自転車横断帯（以下この条において「横断歩道等」という。）に接近する場合には、当該横断歩道等を通過する際に当該横断歩道等によりその道路の前方を横断しようとする歩行者又は自転車（以下この条において「歩行者等」という。）がないことが明らかなる場合を除き、当該横断歩道等の直前（道路標識等による停止線が設けられているときは、その停止線の直前。以下この項において同じ。）で停止することができような速度で進行しなければならない。この場合において、横断歩道等によりその道路の前方を横断し、又は横断しようとする歩行者等があるときは、当該横断歩道等の直前で一時停止し、かつ、その通行を妨げないようにしなければならない。

2 車両等は、横断歩道等（当該車両等が通過する際に信号機の表示する信号又は警察官等の手信号等により当該横断歩道等による歩行者等の横断が禁止されているものを除く。次項において同じ。）又はその手前の直前で停止している車両等がある場合において、当該停止している車両等の側方を通過してその前方に出ようとするときは、その前方に出る前に一時停止しなければならない。

3 車両等は、横断歩道等及びその手前の側端から前に三十メートル以内の道路の部分においては、第三十条第三号の規定に該当する場合のほか、その前方を進行している他の車両等（特定小型原動機付自転車等を除く。）の側方を通過してその前方に出てはならない。

（横断歩道のない交差点における歩行者の優先）

第三十八条の二 車両等は、交差点又はその直前で横断歩道の設けられていない場所において歩行者が道路を横断しているときは、その歩行者の通行を妨げてはならない。

## ○道路交通法施行令（抜粋）

（公安委員会の交通規制）

第一条の二 法第四条第一項の規定により都道府県公安委員会（以下「公安委員会」という。）が信号機又は道路標識若しくは道路標示を設置し、及び管理して交通の規制をするときは、歩行者、車両又は路面電車がその前方から見やすいように、かつ、道路又は交通の状況に必要と認める数のものを設置し、及び管理してしなければならない。

2 （略）

3 法第四条第一項の規定により公安委員会が横断歩道又は自転車横断帯（以下「横断歩道等」という。）を設けるときは、道路標識及び道路標示を設置してするものとする。ただし、次の各号に掲げる場合にあつては、それぞれ当該各号に定めるところによることができる。

一 横断歩道等を設けようとする場所に信号機が設置されている場合 道路標示のみを設置すること。

二 横断歩道等を設けようとする道路の部分が舗装されていないため、又は積雪その他の理由により第一項の規定に適合する道路標示の設置又は管理が困難である場合 内閣府令で定めるところにより、道路標識のみを設置すること。

4～5 （略）

## ○道路交通法施行規則（抜粋）

（舗装されていない道路の部分等に横断歩道等を設ける場合における道路標識の設置）

第二条の二 令第三条第二号の規定による道路標識の設置は、次に掲げる方法により行われなければならない。

一 道路標識は、歩道と車道の区別のない道路の部分に横断歩道又は自転車横断帯（以下この条において「横断歩道等」という。）を設けようとする場合にあっては当該横断歩道等の左右の側端上の当該道路の路端に近接した位置に、歩道と車道の区別のある道路の部分に横断歩道等を設けようとする場合にあっては当該横断歩道等の左右の側端を当該車道に接する歩道上に延長した線上の当該歩道の車道寄りの路端に近接した位置に、それぞれ設置すること。

二 道路標識の設置には、柱を用い、かつ、その柱の接地部分が、前号の位置にあることとなるようにすること。

三 道路標識の標示板は、当該横断歩道等の左右の側端又はその延長線に沿い、かつ、その表面が当該横断歩道等の外方に向くこととなるようにすること。

## ○道路標識、区画線及び道路標示に関する命令（抜粋）

第一章 道路標識

（分類）

第一条 道路標識は、本標識及び補助標識とする。

2 本標識は、案内標識、警戒標識、規制標識及び指示標識とする。

（種類等）

第二条 道路標識の種類、設置場所等は、別表第一のとおりとする。

### 別表第一（第二条関係・抜粋）

種類	番号	表示する意味	設置場所
横断歩道	(407 —A・B)	交通法第二条第一項第四号に規定する横断歩道であること。	横断歩道を設ける場所の必要な地点における路端
自転車横断帯	(407 の2)	交通法第二条第一項第四号の二に規定する自転車横断帯であること。	自転車横断帯を設ける場所の必要な地点における路端
横断歩道・自転車横断帯	(407 の3)	近接して設けられた交通法第二条第一項第四号に規定する横断歩道及び同項第四号の二に規定する自転車横断帯であること。	横断歩道及び自転車横断帯を近接して設ける場所の必要な地点における路端

(様式)

第三条 道路標識の様式は、別表第二のとおりとする。

別表第二 (第三条関係・抜粋)  
指示標識

<p>本標識板及び柱の規格</p>	
<p>横断歩道 (407-A)</p>	<p>横断歩道 (407-B)</p>
<p>自転車横断帯 (407の2)</p>	<p>横断歩道・自転車横断帯 (407の3)</p>

第二章 区画線

(種類及び設置場所)

第五条 区画線の種類及び設置場所は、別表第三のとおりとする。

別表第三 (第五条関係・抜粋)

種類	番号	設置場所
歩行者横断指導線	(104)	歩行者の車道の横断を指導する必要がある場所

(様式)

第六条 区画線の様式は、別表第四のとおりとする。

別表第四 (第六条関係・抜粋)

歩行者横断指導線 (104)		
記号	色彩	記号
	白	
<p>(石又はこれに類するものによる場合)</p>		
記号	色彩	記号
	白	

第七条 (略)

(様式)

第十条 道路標示の様式は、別表第六のとおりとする。

別表第六 (第十条関係・抜粋)  
指示標示

記号	色彩
<p>横断歩道 (201)</p>	白

$\phi 1 = \phi 2 = 0.45 \sim 0.5$

第三章 道路標示

(分類)

第八条 道路標示の分類は、規制標示及び指示標示とする。

(種類等)

第九条 道路標示の種類、設置場所等は、別表第五のとおりとする。

別表第五 (第九条関係・抜粋)


指示標示

種類	番号	表示する意味	設置場所
横断歩道	(201)	交通法第二条第一項第四号に規定する横断歩道であること。	横断歩道を設ける場所
斜め横断可	(201の2)	交通法第十二条第二項の道路標示により、歩行者等が交差点において斜めに道路を横断することができることとする。と。	歩行者等が斜めに道路を横断することができることとする交差点の必要な地点
自転車横断帯	(201の3)	交通法第二条第一項第四号の二に規定する自転車横断帯であること。	自転車横断帯を設ける場所

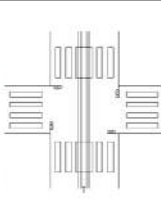
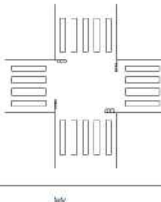
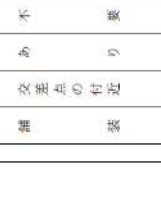
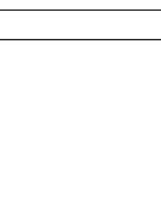
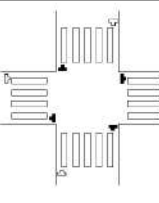
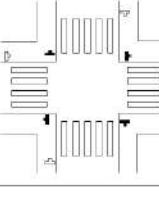

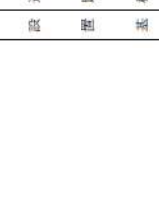

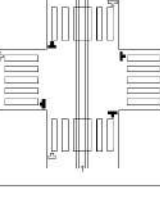
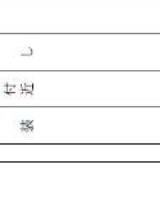
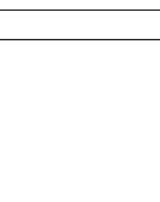

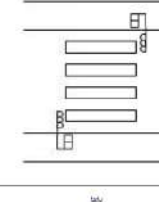


自転車横断帯（201の3）	
記号	色彩
	白

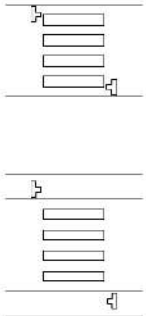

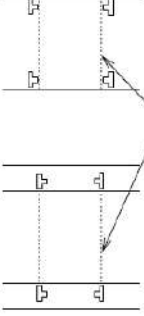
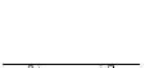
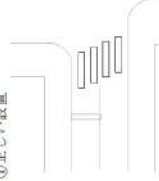
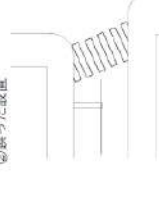
斜め横断可（201の2）	
記号	色彩
<p>一 時間を指定して行う場合</p> <p>又は</p>	白
<p>二 終日行う場合</p> <p>(一)</p> <p>又は</p> <p>(二)</p> <p>又は</p>	

○交通規制基準（抜粋）

第6 横断歩道	
規制目的	歩行者の横断場所を指定するとともに、車両等に対して歩行者保護の義務を課して、横断歩行者の安全を確保する。
根拠等	法第2条第1項第4号 標識 407-A・B 標示 201 
適用	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 信号機が設置されている交差点 信号機が設置されている交差点については、原則として各流出部に横断歩道を設置するものとする。ただし、次のいずれかに該当する場所については、原則として設置しないものとする。 (1) 横断歩行者数が極めて少ない場所 (2) 横断歩道橋等の立体横断施設のある場所の直近部 (3) 車道幅員が3.5メートル以下の場所、歩行者の滞留スペースのない場所等横断歩道の設置が適当でない場所</li> <li>2 信号機が設置されていない交差点 信号機が設置されていない交差点については、原則として車道幅員が3.5メートル以上、次のいずれかに該当する場所に横断歩道を設置するものとする。 (1) 交通量及び横断歩行者が多く、歩行者の安全を確保する必要がある場所 (2) 公道に多数の人が利用する劇団、公共施設等がある場所 (3) 駅、学校等に通じる場所、バス停留所付近等特に必要な場所</li> <li>3 準路 準路については、原則として次のいずれかに該当する場所に横断歩道を設置するものとする。 (1) 車道幅員が5.5メートル以上で、横断歩行者が多く歩行者の安全を確保する必要がある場所 (2) 信号機が設置されている場所</li> </ol>
対象	歩行者及び車両等
基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 次のいずれかに該当する場所については、原則として設置しないものとする。 (1) 勾配の急な成若しくは坂の直上付近又は見通しのきかない道路のまがりかど及びその付近 (2) 高速自動車国道等の出発と一般道路の取付け部付近その他横断歩道を設置することにより交通の危険が生じおそれのある場所</li> <li>2 横断歩道の間隔は、市街地においては、おおむね100メートル以上、非市街地においては、おおむね200メートル以上とする。ただし、通学・通勤、高齢者、身体障害者等の横断する場所や商店街等で歩行者の横断が特に多い場所においては、設置間隔を短縮することができる。</li> <li>3 歩道や歩道橋等で横断距離が長くなる場合は、交通量の設置や横断歩道付近の視覚横断防止のための防護柵等の設置がなされるように努めること。</li> <li>4 歩行者の安全を確保するため、横断歩道と隣接する歩道等の設置、歩道の切り下げ、滞留スペース等の設置がなされるように努めること。</li> <li>5 夜間における道路標識等の視認性を高め、横断歩行者の安全を確保するため、道路照明等の設置がなされるように努めること。</li> </ol>
設置場所	横断歩道を設ける場所の必要な地点における路端
設置基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 横断歩道を設ける場合には、次に示すところにより、道路標識「横断歩道(407-A・B)」及び道路標示「横断歩道(01)」を設置するものとする。</li> </ol>

※交通規制基準：警察庁交通局，2021.4.，<https://www.npa.go.jp/laws/notification/koutuu/kisci/kisci20211130.pdf>  
(2021.2.13閲覧)


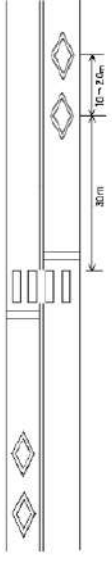
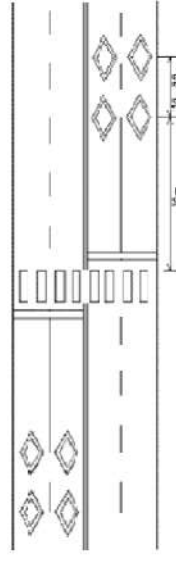
設置する場所の状況の別	表示の方法	図 例	
		横断歩道	道路標識
建築交差点の別	あり なし		
備表	あり なし		
備表	あり なし		
備表	あり なし		
備表	あり なし		
備表	あり なし		
備表	あり なし		
備表	あり なし		

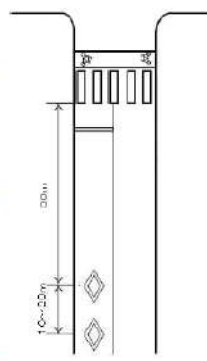
設置基準	設置方法	留意事項	設置場所
<p>①歩車道の区別がある道路</p>  <p>②歩車道の区別がない道路</p> 	<p>①歩車道の区別がある道路</p>  <p>②歩車道の区別がない道路</p>  <p>※原則第2条の2に定める「横断歩道の左右の側面」</p>	<p>歩道標識「横断歩道(407-A)」(設置用)は、発着源、幼稚園、小学校等の付近に設けられる横断歩道及び主として学童、児童の通学、通園のため利用される横断歩道に、道路標識「横断歩道(407-A)」(一般用)は、その他の横断歩道に用いるものとする。</p> <p>一方通行路又は非舗装路において、右側の路側に設置する道路標識「横断歩道(407-A・B)」には、記号が左向きのもを用いるものとする。</p> <p>中乗機がない道路(車道幅員がおおむね3メートル未満の道路)に設置する場合には、両面式を用いることができる。</p> <p>なお、この場合はできる限りオーバーハング方式を用いるものとする。</p>	<p>歩道標識が設置されている場合は、道路標識のみを設置すること(令第1条の2第3項)とされているが、この信号機には、いわゆる1灯式信号機も含まれる。ただし、交差道路の1方向のみに信号機を設置(丁字路の突き当たる道路のみ赤点線の1灯式信号機を設置)している場合は、対面する信号機のない道路には道路標識を併設すること。</p> <p>横断歩道を設ける場所</p>
<p>①正しい設置</p>  <p>②誤った設置</p> 	<p>1. 舗装された道路に横断歩道を設置する場合は、原則として、横断歩道(交差点の出入口等にある場合を除く。)の1～5メートル手前に、停止機を設置すること。道路標識「横断歩道(201)」には原則として反射機能を有するインテグレーションキッキング又は反射機能を有するペイントを使用すること。</p> <p>2. 道路の延長方向に対して斜めに設置する必要がある場合は、図例に示すところによること。</p>	<p>1. 道路標識「横断歩道(201)」の幅は、原則として4メートル以上とし、やむを得ず縮小する場合であっても3メートルを限度とする。ただし、歩道と連続性を確保するため歩道幅員と同じ幅とするなど、特に必要がある場合はこの限りでない。</p> <p>2. 原則として側線を省略した道路標識「横断歩道(201)」を設置するものとする。</p> <p>なお、道路標識「斜め横断歩道(201の2)」と併設する場合にも、側線を省略した道路標識「横断歩道(201)」を設置するものとする。</p> <p>道路標識「自転車横断帯(201の3)」を併設する場合は設置方法は、第61「自転車横断帯」の項に示すところによるものとする。</p> <p>4. 道路標識「横断歩道又は自転車横断帯あり(210)」の設置については、第7「横断歩道又は自転車横断帯あり」の項に示すところによるものとする。</p>	<p>道路標識「横断歩道(201)」の項に示すところによるものとする。</p>

設置基準	設置方法	留意事項
<p>1. 舗装された道路に横断歩道を設置する場合は、原則として、横断歩道(交差点の出入口等にある場合を除く。)の1～5メートル手前に、停止機を設置すること。道路標識「横断歩道(201)」には原則として反射機能を有するインテグレーションキッキング又は反射機能を有するペイントを使用すること。</p> <p>2. 道路の延長方向に対して斜めに設置する必要がある場合は、図例に示すところによること。</p>	<p>①正しい設置</p>  <p>②誤った設置</p> 	<p>1. 舗装された道路に横断歩道を設置する場合は、原則として、横断歩道(交差点の出入口等にある場合を除く。)の1～5メートル手前に、停止機を設置すること。道路標識「横断歩道(201)」には原則として反射機能を有するインテグレーションキッキング又は反射機能を有するペイントを使用すること。</p> <p>2. 道路の延長方向に対して斜めに設置する必要がある場合は、図例に示すところによること。</p>


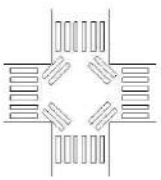
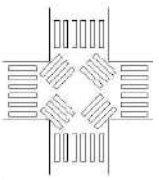


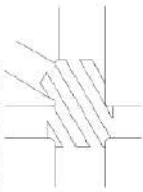
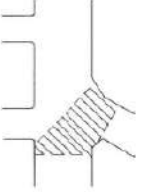

第7 横断歩道又は自転車横断帯あり

規制目的	前方に横断歩道等があることをあらかじめ示すことにより、横断歩道等を横断する歩行者及び自転車の安全を図る。
根拠等	法第4条第1項 標示 210 
対象道路	原則として次のいずれかに該当する道路 1 横断歩道等の設置場所に信号機が設置されていない道路 2 道路又は交通の状況により、横断歩道等の存在がその手前から十分に認識できない道路
対象	車両等
留意事項	1 横断歩道等と一体のものとして設置すること。 2 横断歩道等がその手前から認識できない場合は、横断歩道等の修設、道路標識の改良等安全注意を講ずること。 3 横断歩道等の手前に一時停止規制があるなど、横断歩道等を横断しようとする歩行者等の通行を妨げるおそれがない場合は、道路標示「横断歩道又は自転車横断帯あり(210)」を省略することができる。
設置場所	前方に横断歩道等があることをあらかじめ示す必要がある地点
設置方法	原則として横断歩道等から横30メートル手前の地点に1個、さらに10～20メートルの距離を置いて1個ないし2個を設置するものとする（図例参照）。 なお、片側2車線以上の道路について設置する場合は、原則として各車線ごとに設置するものとする。 図例 道路標示「横断歩道又は自転車横断帯あり(210)」の設置例 ①片側1車線の場合  ②片側2車線の場合 

設置基準	
設置方法	③横断歩道と併して自転車横断帯を設置する場合 

第8 斜め横断可

規制目的	歩行者が交差点において斜めに道路を横断することを指定し、交通の安全と円滑を図る。
根拠等	道路法第201の2 
対象道路	繁華街、駅やバスターミナルの周辺等で、信号機が設置されている水のいづれかに該当する交差点 1 斜め方向への横断目的の歩行者が多い交差点 2 交差点の形状等から歩行者の斜め横断の効果が期待できる交差点
対象	歩行者
留意事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 信号サイクルの決定に当たっては、歩行者が斜めに横断するのに必要な歩行者青時間確保すること。</li> <li>2 斜め横断の歩行者が容易に認識できる歩行者用信号灯器（必ずしも斜め横断専用でなくともよい）を設けること。ただし、時間を限定して行う場合は、斜め横断専用の歩行者用灯器を設け、斜め横断可の指定時間と当該専用灯器の点灯時間を同一にすること。また、全ての歩行者用信号灯器が同色の灯火とならない現象がある場合についても斜め横断専用の灯器を設けること。</li> <li>3 交差点手前のガードレール等の設置ができなくなることから、横断時の歩行者が滞留できる十分なスペースの確保など、歩行者の安全を確保するため必要な道路整備がなされるように努めること。</li> <li>4 1～3の留意事項を踏まえるつつ、歩行者専用指定方式による歩車分離式信号が設置されている交差点では、斜め横断可の実施を積極的に検討すること。</li> </ol>
設置場所	歩行者が斜めに道路を横断することができることとする交差点の必要な地点
設置方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 時間を限定して行う場合は、図例(1)に示すものとする。</li> <li>2 終日におたつて行う場合は、図例(2)に示すものとする。</li> <li>3 原則として側線を省略した道路標示「斜め横断可(201の2)」を設置するものとする。</li> </ol>
道路標識	 
留意事項	<p>図例(1) 時間を限定して行う場合</p> <p>図例(2) 終日行う場合</p> <p>① 標準的な交差点</p>

道路標識	<p>② 変形交差点</p> <p>了 変形五差路等で①によりがたい場合</p>  <p>イ 斜め横断を認める道路の部分限定して行う場合</p> 
留意事項	<p>斜め横断可の指定を行う場合は、歩行者用灯器が斜め横断歩行者から容易に認識できるようにすること。また、斜め横断専用の灯器を設置する場合は、原則別記標識式第一の二の2に定める標識「斜め横断専用」を各専用灯器に附置すること（図例参照）。</p> <p>図例</p> 

令和5年度調査研究報告書

横断歩道の道路標示の見直しに関する調査研究

この著作物の著作権は、自動車安全運転センターに属します。  
無断使用を禁じます。

令和6年3月



自動車安全運転センター調査研究部

〒102-0084 東京都千代田区紀尾井町3番6号紀尾井町パークビル2階

URL <https://www.jsdc.or.jp/library/research/tabid/123/Default.aspx>